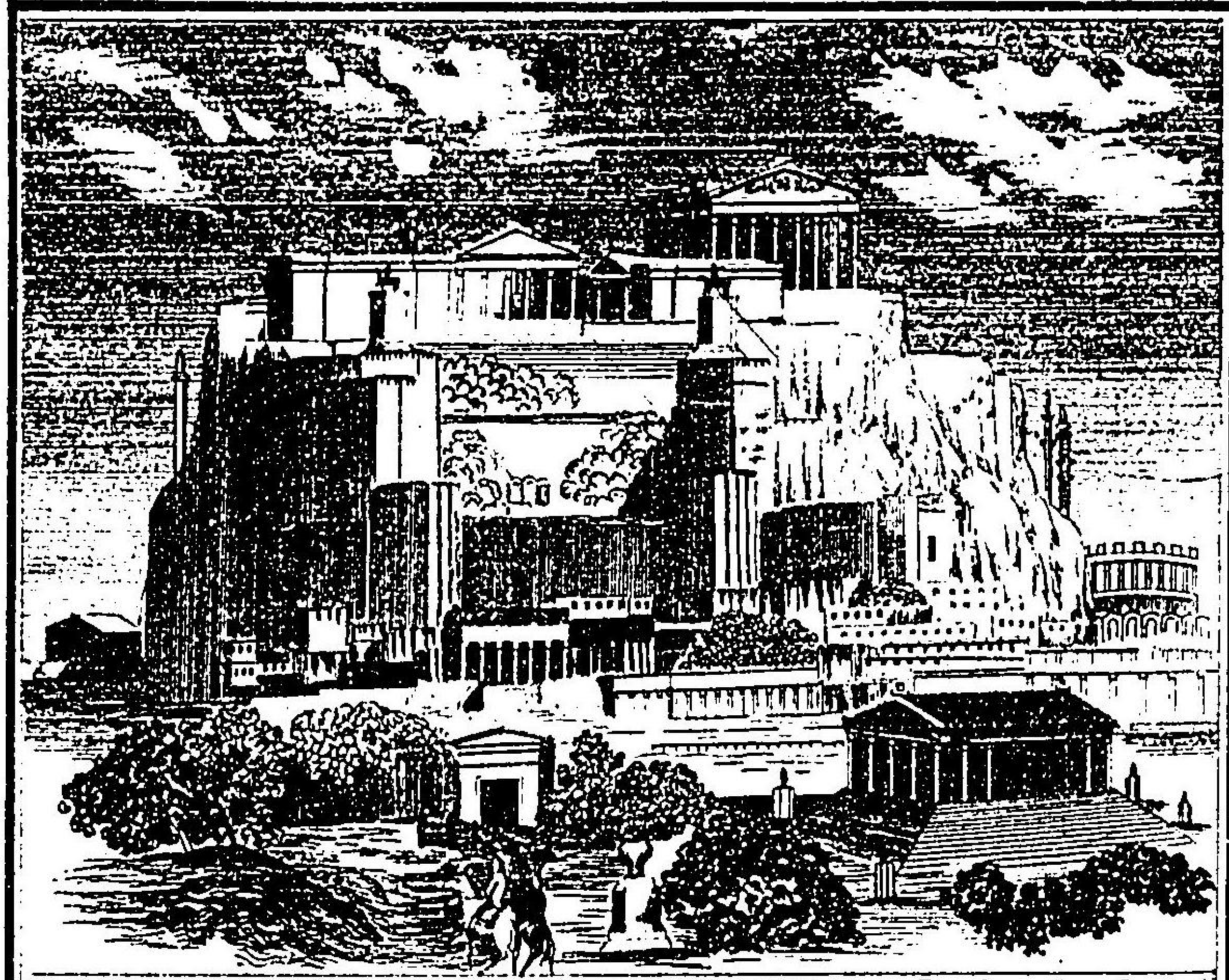
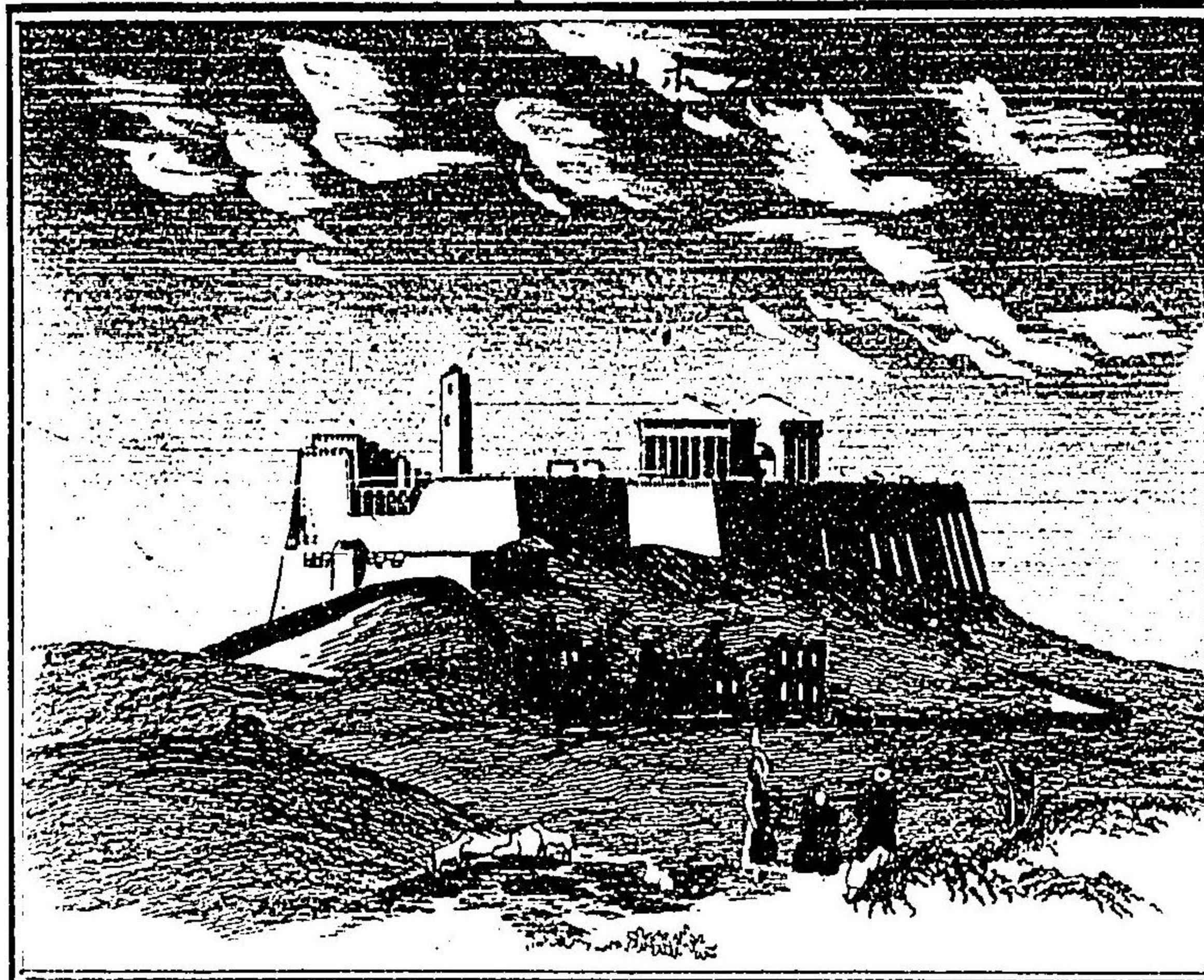


九六 VIEW OF ACROPORIS ON ANCIEN.



光り輝く勝景を眺望得べや而して是は詰つるもの多し且此堂の神像はバルテノンてふ女神あり二百余年の昔まで其まありしが当時彼の土耳其と戦争したる時其山上の火藥庫が破裂せし時此堂もとも破壊し今は只石柱及び二三の小堂遺存せるのみ其他市街を觀るべきは王宮並びに大學校・二三の大寺等とあす當國獨立せし以來・財政未だ盛んのはず歳出は歳入を超過して内外公債多額あり今王位に即きし際英佛魯より借財し其他内債多額にて其利子とても歳出の四分の一に及ぶとが

VIEW OF ACROPORIS MOUNTAIN. 八六



雅典は希臘の首府にして土耳其の首府より西南方海上三百八十英里・ピユリウリス港より鐵路まで六英里の内地もあり人口四萬は過ぎざらず此府は古來數回の兵燹に罹りて市街を大に破壊し名所や古蹟多く破損せり然るに今をき之れを修築改造を以て漸く古昔風光の一斑を見るに至りたり然り而して其位置は原野の中より有るなれど府邊は丘陵起伏して市外を繞り歐洲中勝景都府の一と稱ふ

アクポリスと云ふ山は高き三百五十尺古昔該山嶺上より世界一てう羨麗なる大堂ありて是府の四方數里の遠方より

K

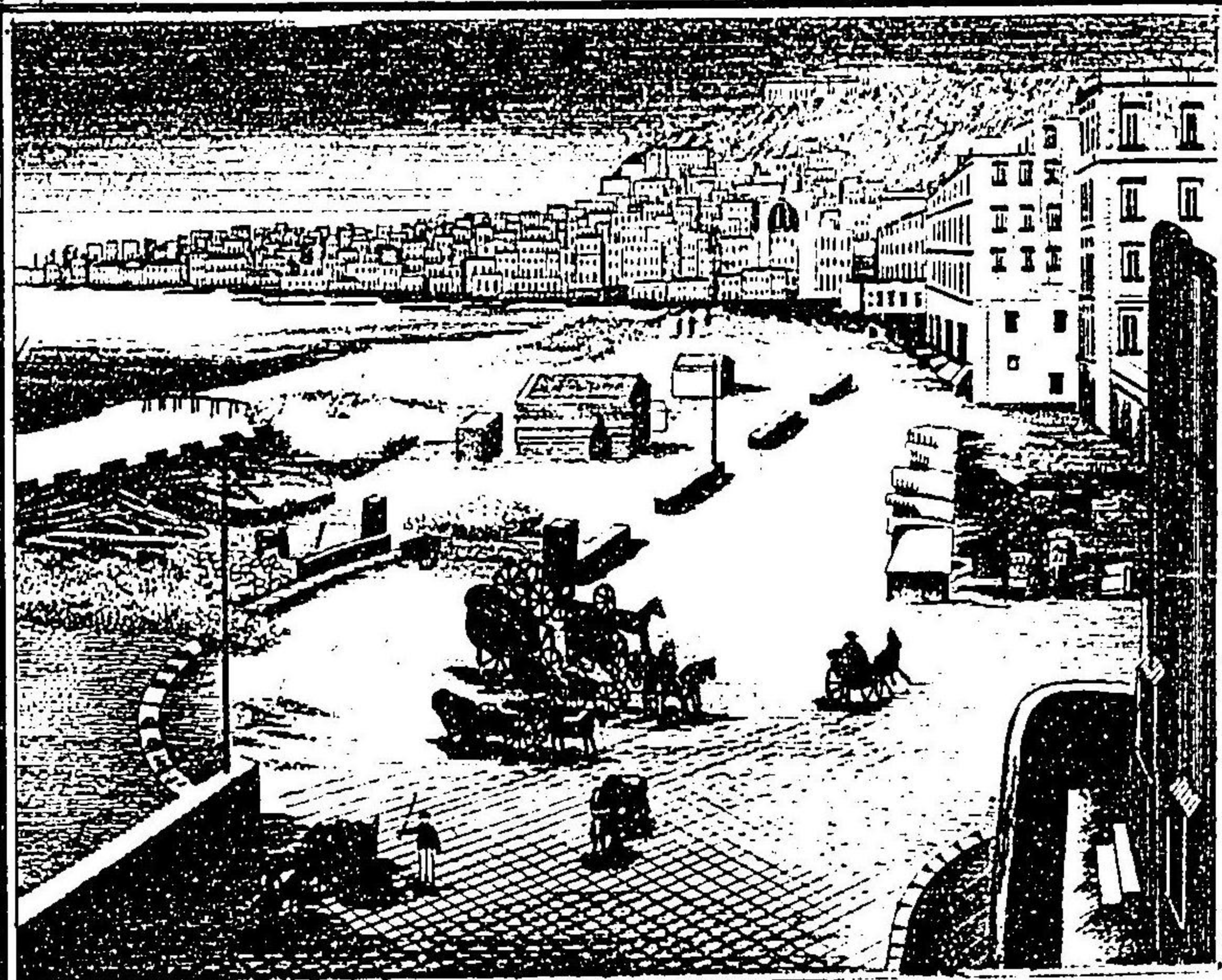
以 太 利 國 之 部

以太利國は歐洲の南部に起りて斜の狀に地中海に突出せる。一大半島國にして西北方は亞爾伯の山脈を帯び佛蘭西や瑞西及埃國の千口ルに境し東北は亞德的海に濱臨し南は地中海面より斗出に遙に亞非利加と相對す海中に細々里圭狀島ありて其面積の總斗は十一万四千九百余方釐り人口二千九百万サンマリノ州は歐洲中最も古き邦にして古昔は自由共和なる獨立でありしが今を去十三年前伊太利と保護友邦の條約をなす面積三十二方英里人口殆ど八千人又亞非利加紅海のアツサツプてふ良港は面積四百二十余英里人口一千二百人是を以太利の屬地也。

地勢は高低交錯し肥瘠甚だ異なり西北部の境取は高峯峻峻重疊し其山脚より東南は一般平坦廣野あり又アペナインの山脈は全國各地に連亘す氣候は緯度の割合に暑氣強く全國の人民過半は耕作や牧畜を以て業とせり其面積の八割と六分九厘は生産地三割六分は耕地也製作事業は國民の

性質甚だ機能にて風韻雅致の技に富めり國産中名高きは穀物麵粉酒油生糸絹布皮革類葡萄橄欖牛羊金銀銅鐵亜鉛也。

当伊太利は今を去る廿五年前までは數國に分裂ありて聯邦ありし其中の重なるものを擧げんは南方那不兒王國細々里島あり北方はサルジニヤ王國やサルジニヤ島とす中部は羅馬法王の所轄せらぎし領地也東北方は只ロンバルド西北方はヴェネチヤ何きも種々の歴史あり一千七百年末に佛蘭西皇帝拿破崙起りし際し手初めはロンバルドとヴェネチヤ二邦を苦むるを席卷し忽ち伊太利を併吞す後ち維納の會議にてロンバルドとヴェネチヤ二邦は埃に屬せしむ其餘は伊太利聯邦を協定したり然る後數年を経ずして聯邦中アルプル山北各國に民權の党興起せり後ち四年を登南部も民權の党起りて以て王は埃の兵を借り貴重無比なる愛國の民權党を征服し慘酷極まる所置をなす以て國聯邦安からず人心益々離散せりサルジニヤ王機に乗じ民權保護の義兵を擧ぐ高名俊傑雄將のガルバルジ氏は羅馬府は共和党の指揮をなすし兩兵合從勇戦す此時埃兵強くして兩兵一時敗北す

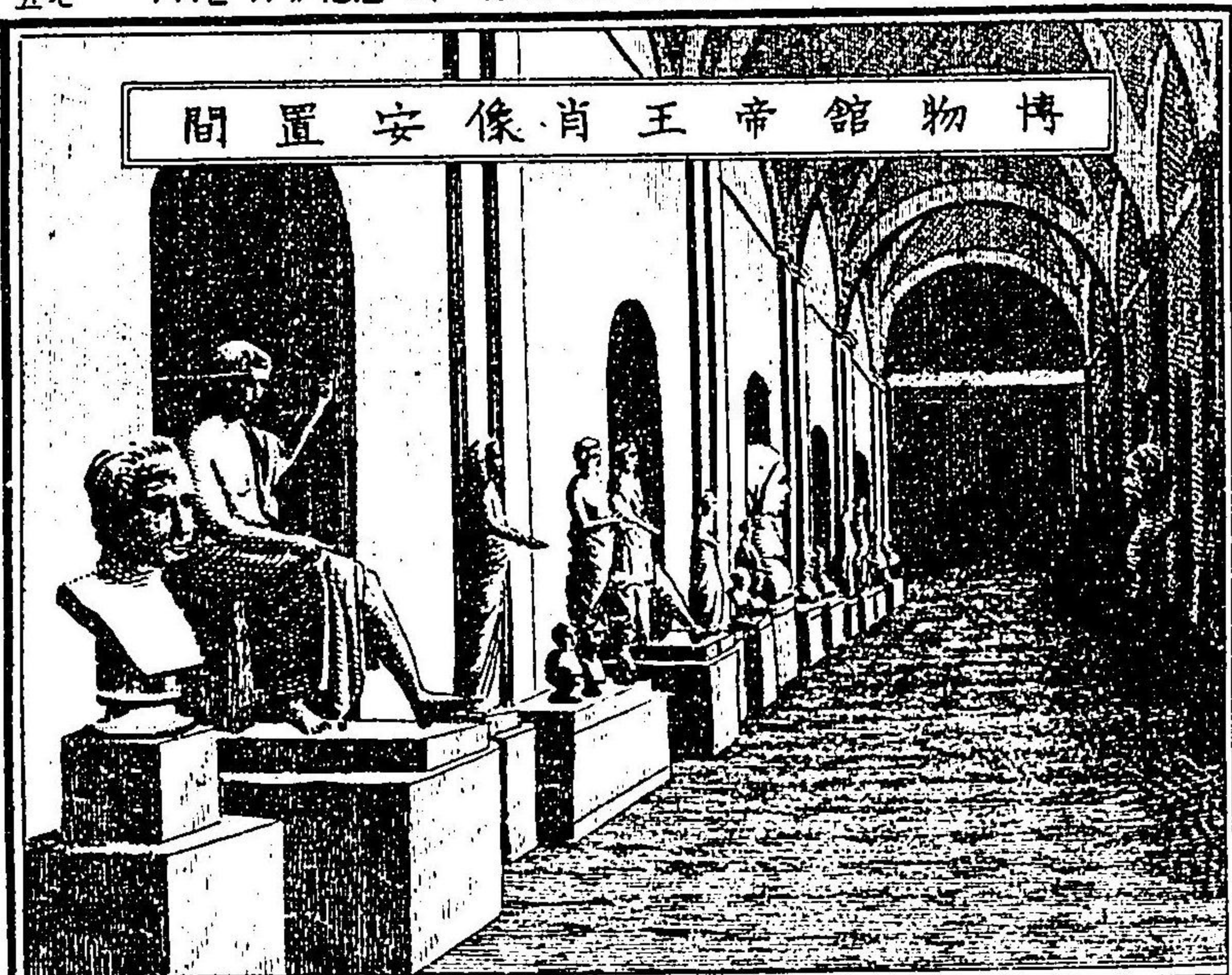


以下記載する名所や古蹟に就て其歴史を追々か話し致すべし。看官諸子よ意を留めて誦讀せよきん事を乞ふ。

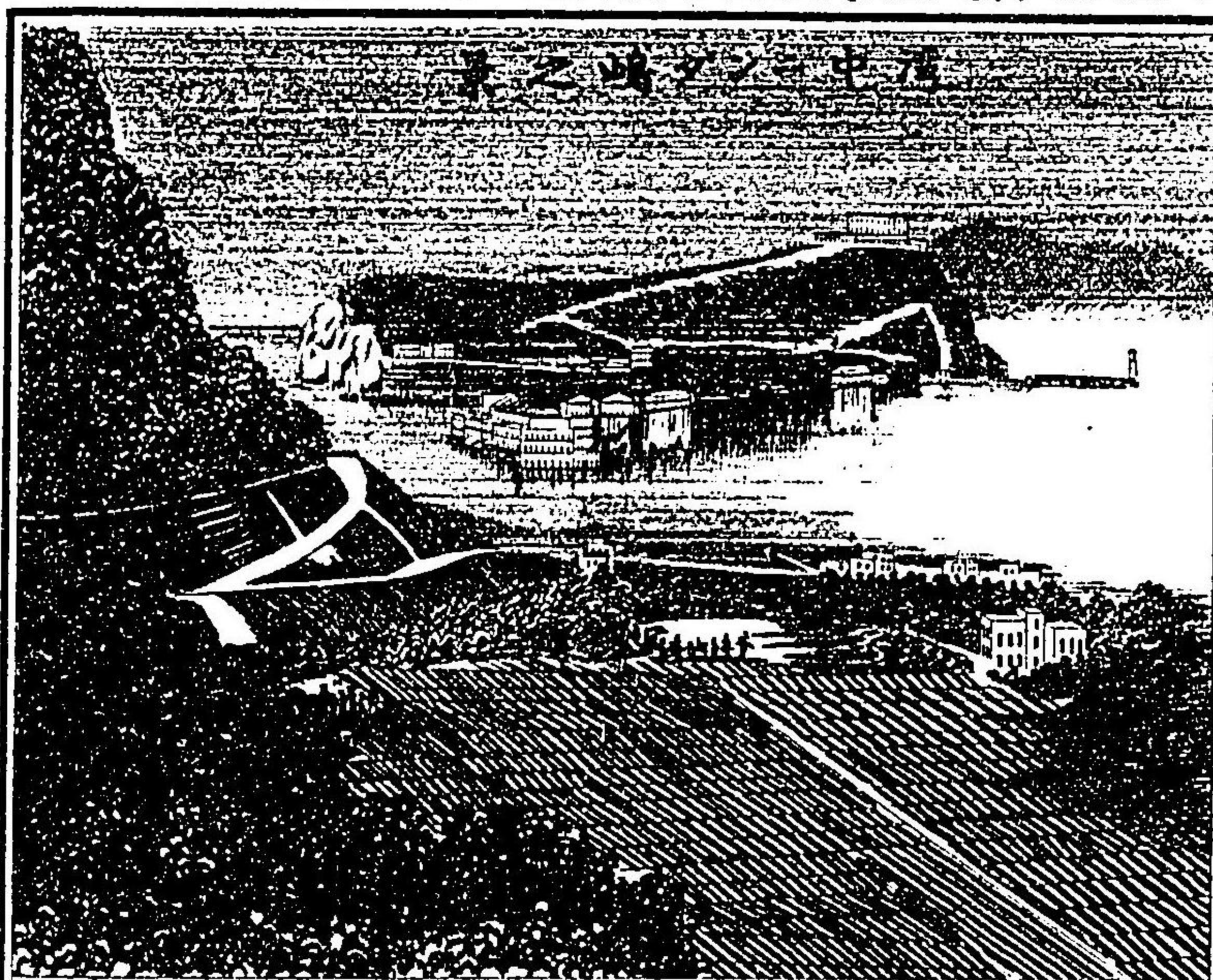
那不児府之記

那不児府は伊太利の西方にある要港にて雅典府を去る海里程八百七十英里あり人口四十九万余。以國第一の大都也府中の街衢は狹隘して殊に不規則其地形海水に向ひつ灣は活ひ岡嶺環繞山水間一帯の壤地は建てる也海岸は活ひ古城あり磚壁儼然葛藤を帯びて以て仄立す其港上の市薨なる平地は起りて山麓に據り地上の礎石大にして礎法粗かり而して

此時以王ウイトリヲ・エマニエル二世即位せり。蓋し今帝アムバルト第一世の父とあすエマニエル王賢くも立憲政治の主意を承け、民の望を集めつゝ、路易拿破崙と相結び、埃の兵を撃破して、ロンバルデーの地を奪ふ。此時北方諸國も亦國君を追ひ自からエマニエル王に附屬せり。翌六十年英名乃・カルバルデー氏を將として、那不児邦を攻滅す。此時羅馬法王の領地もとも略せんと謀りたせむも法王の領地は元來佛蘭西のペピン王の時代より漸々寄附せし土地なれば、佛蘭西帝は法王の藩屏となり合併の事を敢て肯ぜず。然るに十有九年前、以國は普國と合併し、埃地利を伐ち敗り、ウエ子シヤ部を回復し、一千八百七十年、普佛の役、以太利は兼て乘じて法王の領地を所管し合併し、全國始めて一統に歸す。今年羅馬は遷都して、四民の興望は背くべく、其出度立憲政體の政府を建立したり。蓋し以上述ふるは、以國近世の歴史あり。然るに元來此國は歐洲中の古國にて、一千九百六十年以前より當りて羅馬國・隆盛なりし時代より數百年來歐洲に顯出したる事柄は、歐洲各國今日の盛を則致原素にて、最と面白き歴史有

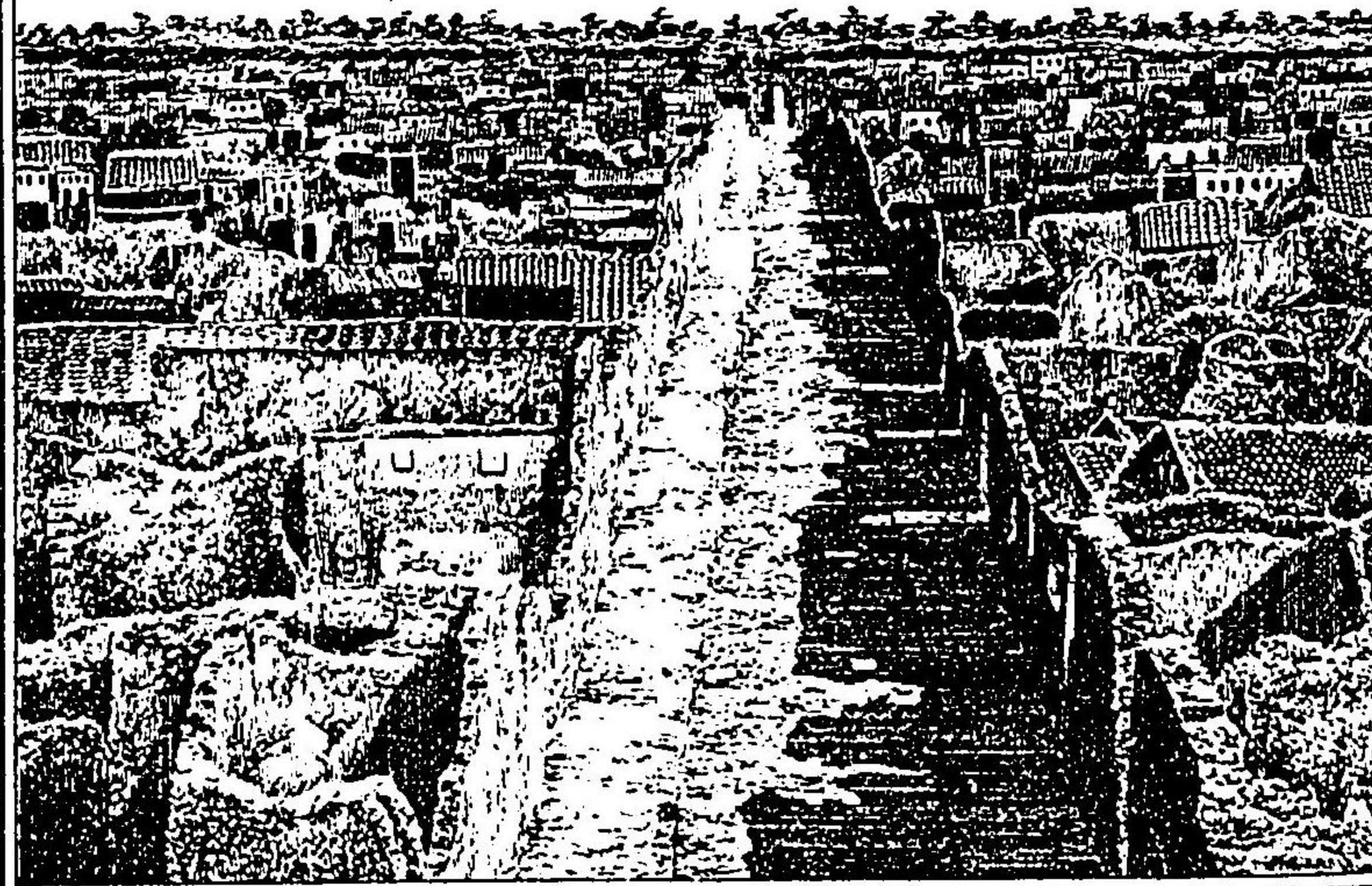


富者は施金を羨事とす古昔やあんなの大都市も
 今は惰民や貧兒や巧食どもの衰郷とある
 政教の弊害深ひ哉
 此府は古蹟多あり海灣あり一島
 ニンダ島と名称し古城要害堅固あり
 博物館は白石を以て造りし三層の
 高朗なる美宇として彩畫彫鏤精工なり
 館内古器物圖畫あり歴代王の肖像もあり
 出品中名高きはポンペイ村の地底より
 掘出したる諸物にて何れも紀元五十年
 前後の時代を用ひたる嵌石細工や屋壁に
 存せし藻繪人物や其他數に違ふし
 銅鑄したる希臘文字何れも一千八百年



家屋の構造高として六七層を通常とせり
 府民の多數は無學にて懶惰自然に性をあし
 街上塵芥拂ふかや車馬各所は狼籍たり
 市人路傍に立ち以て露肆しつ物を眩瞶す
 貧兒行車を追ひ來り花を賣らんと為すもあり
 海岸に浴ふ街巷には巧兒群集あし居りて
 編筐枕に偃臥して地上に眠るものもあり
 或は巻烟草の喫餘を拾ひ集めて賣るあり
 晴日塵埃目を眯し臭氣鼻吼を貫けり
 元來此國土沃美は物産豐饒然せども
 人民久しく厭制の政治に疲困を旧教の
 抑制知識を暗まして神より恩恵ふる美原素を
 利用するの氣力なく貧民巧兒は耻とせず

街古イペンボるせ出掘りよ下地



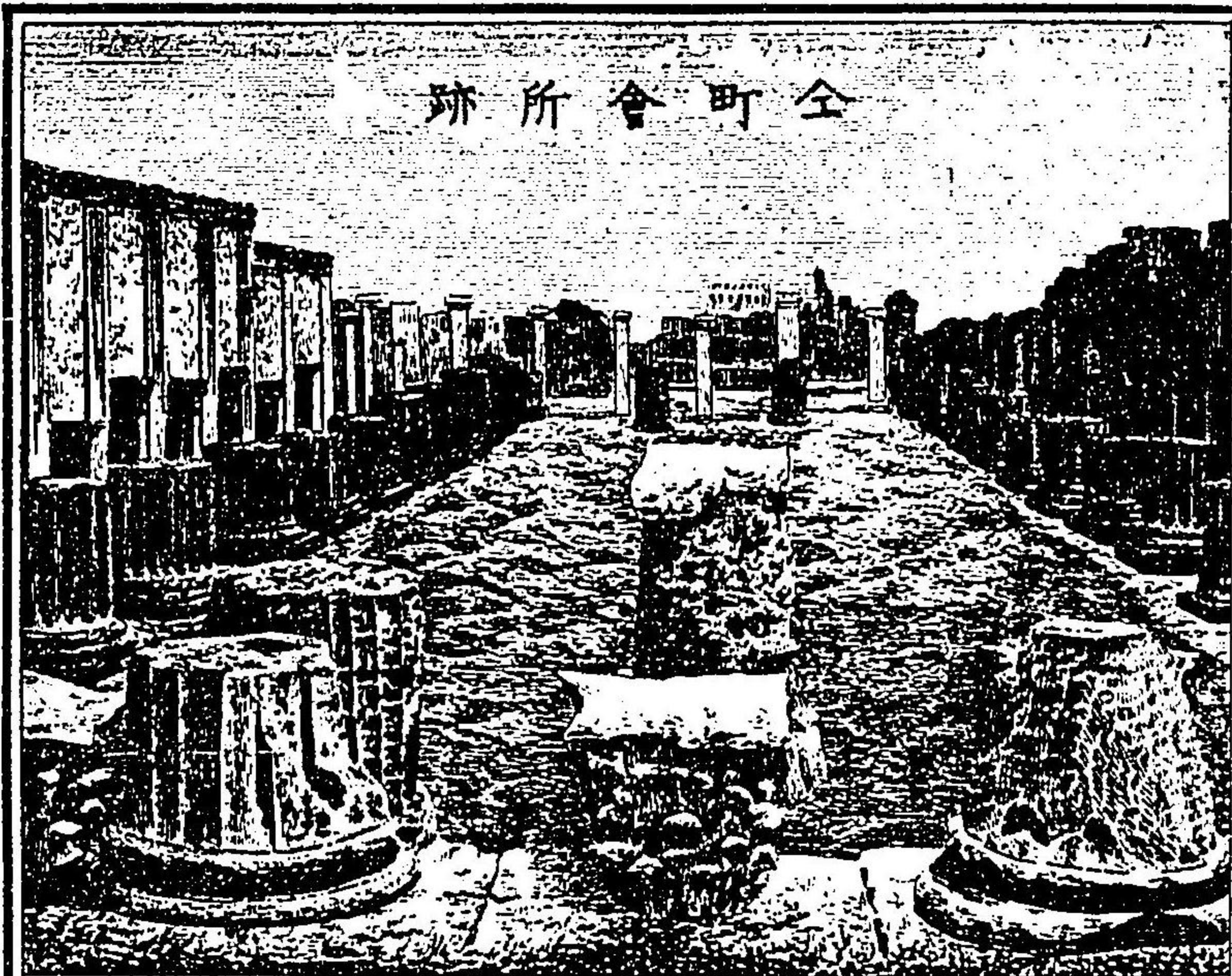
一夜の内、城邑は灰土の底に埋没せしき
 全を烏有の野とみせり。是より一千七百年
 時代迄は其上は麥田牧地とあり果て
 又往昔の事柄を記せる史としても有やなし
 誰れ定かよ是は之を都會のありし所と
 瞭知せるものあらざりし。然るに今を去せること
 一百四十五年前、偶爾の事にて地底より
 古き屋壁堀り出し、奇異の思をふしつゝ、心
 益々之を試掘るに到る所、奇跡あり
 致し於て乎博古の士、因て以て其時、
 都邑の埋没を知る。人夫を入れて掘り、
 現今までは全都府の三分一余を掘出せり
 埋没するより今致し二千年来垂んたる

往古ビシユビス山 破烈之状



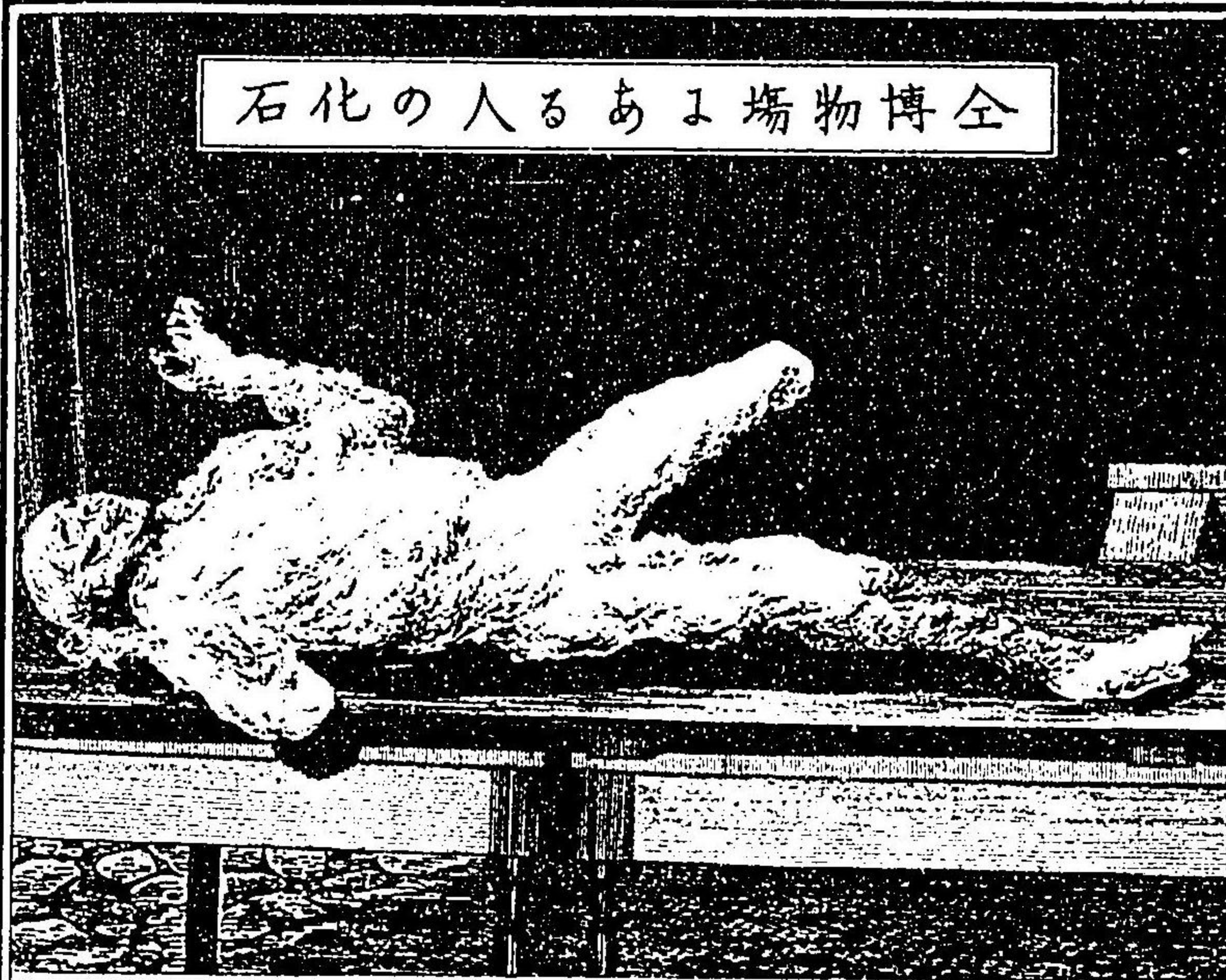
前後の古物あるをかし
 邦貝村之記
 以國人の諺、那不児を一覽し
 而して後ち死すべしと以て勝地と知り得べし
 此府は奇絶の名勝は三ヶ所あり其中
 紀元の初め地の底に埋没したる都會を
 掘出したる奇跡あり所をポンペイ村と云ふ
 邦貝村はビシユビスの火山の麓の小村にして
 那不児府の北の方十二英里余りあり
 人家は僅かよ五七戸、過ぎざる蕭條村落と
 此處は古代の都會あり人口四五万繁昌の
 城邑ありしが紀元後五十六年ビシユビスの
 火山大脈噴發し土灰を多く噴飛して

跡所會町全



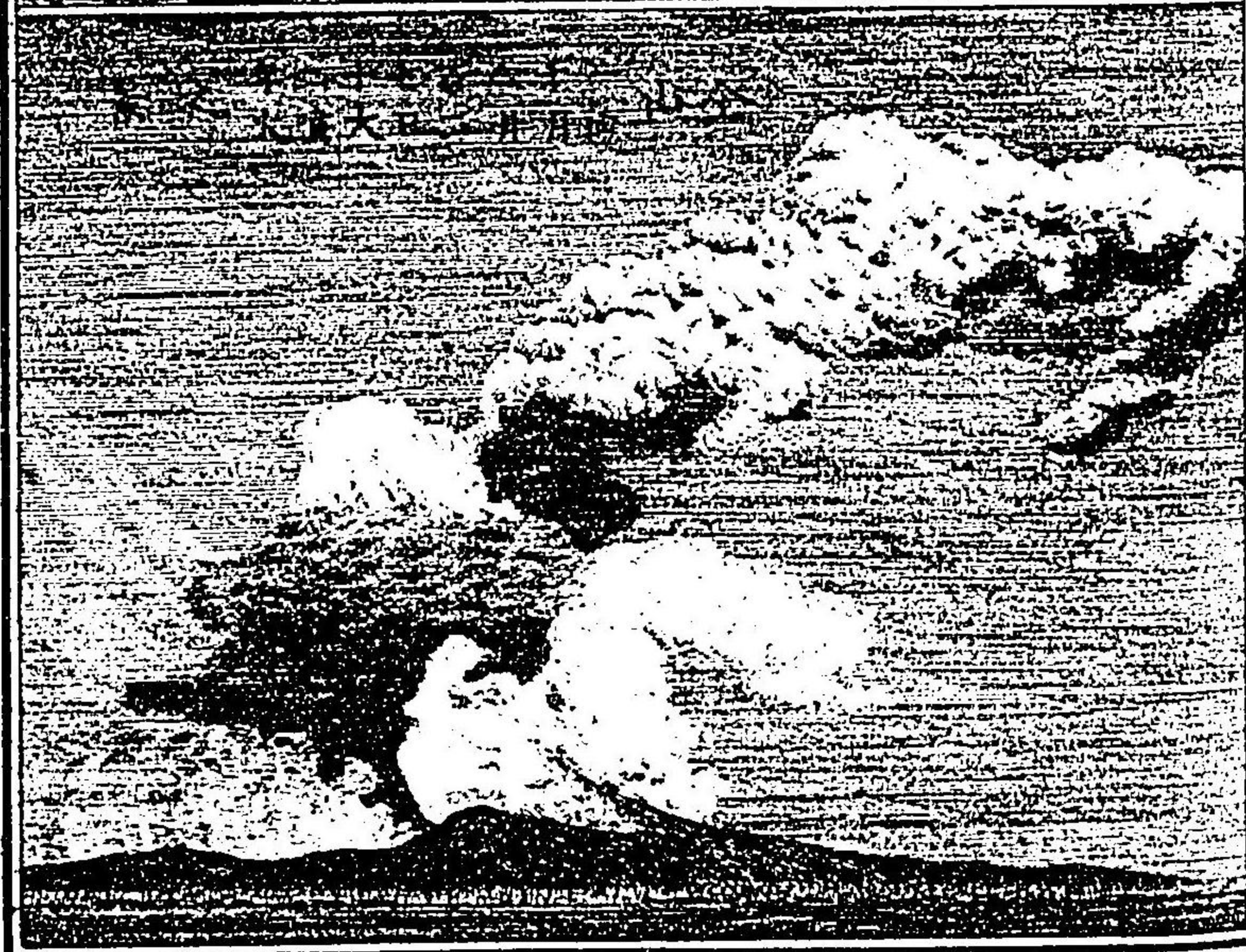
仰きよ臥す其一は婦人の形よて伏したり
 其後よは小屍あり娘と覺ゆ巾を以て
 目を掩ふひつ死し居せり或は泣伏せるとひひ
 或は飛灰を掩ふと云ふ指よは金環を貫けり
 蓋し右之情を視て當時の事を追想し
 吾同胞が無惨なる是現狀を目撃し
 落涙せざる者はあし
 其他器皿の類多し茲よ一の圓錐ありて
 中よ小豕の骨存す脅首脚骨完備せり
 是は正よ夫を之を養ふ時灰土よ埋めらせ
 其俣遺存せしむらん
 博物館を出て去りて進行すきは古街あり
 扱て長街路の幅員は一車をはせて余りあり

石化の人るあゝ場物博全



古邑下ち地底より顯せ出し事ふきは
 四方より聞くもの誰ぞが奇異の思ふふさざらん
 此事歐洲各國よ應きふさより來觀者
 日々絡繹絶ゆるふし上欄よあふ各品は
 何せし寫真と復写とり彫刻したるものあせば
 以太利よある真物よ更よ變りし事はなし
 尤も弊舗よ保存しつ尚數百の寫真とば
 店頭よ出し置きたせば看官就て御覽あせ
 問話休題諛村よ一字の博物館ありて
 地底よ得たる古物をば最と鄭重よ保存せり
 其中最も奇異かふは灰土の上よ斃せたる
 人の化石であるぞのし灰上死屍を其俣よ
 臺よ載せたる二三あり一は犬余の屍よて

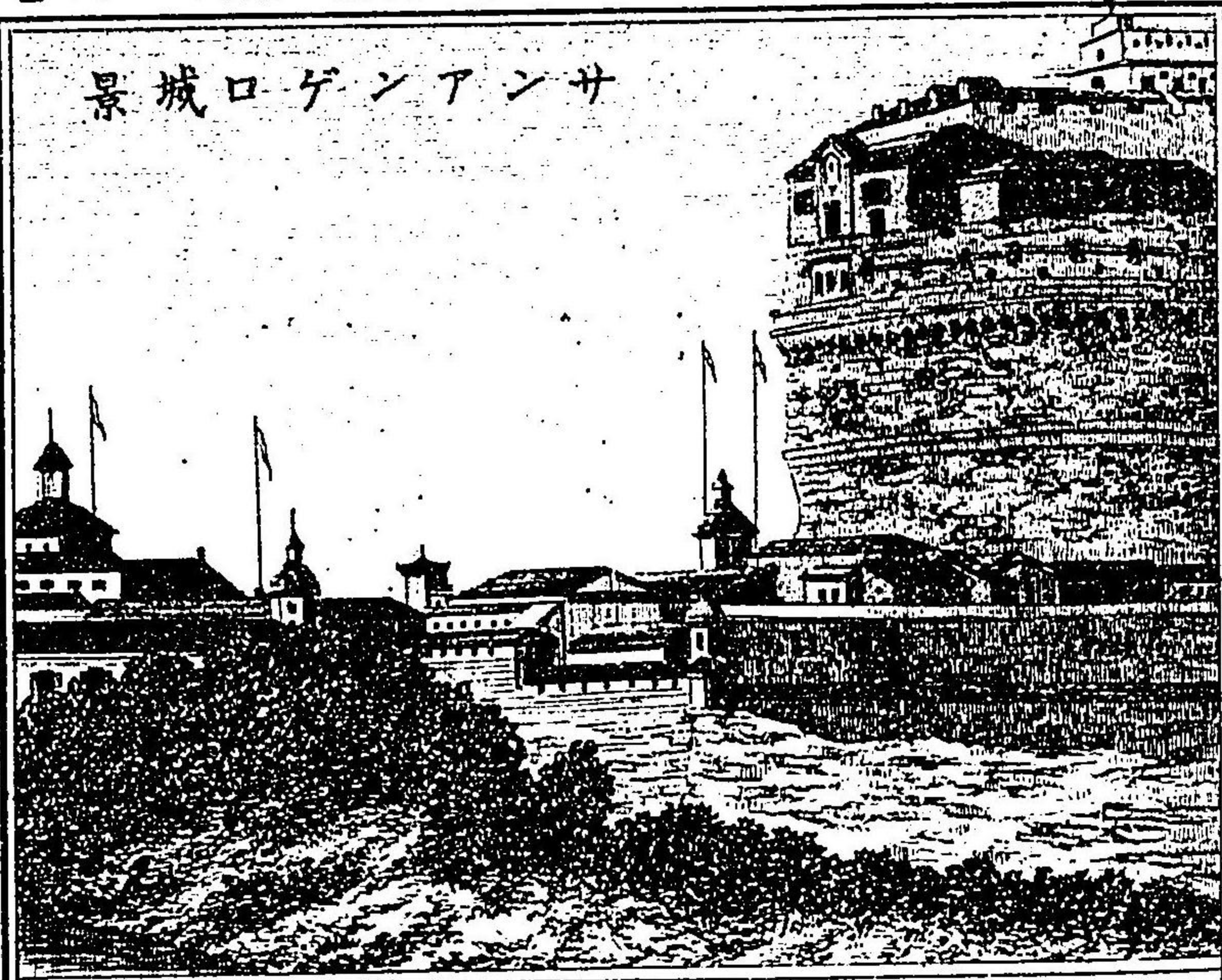
VIEW OF VESUVIUS VOLCANO.
VIEW OF BLOW-UP IN 1872 APRIL
TWINTY DAYS-VESUVIUS.



THE RUINS OF THEATRE.



両車道ふとも堪るあり。道の両側高をして
 砌石を、みて壊崩を防ぎて以て人道とす
 車道は概々二三尺、低き地より四つ辻は
 平石箇々並べあり。石面車輪の轍を見る
 其痕跡深く入る。古昔車行の繁ありし
 又以て概すべし。○市店の前よりは往々
 銅管を埋め水を引き仕掛を為したる跡を見る
 其家屋の築法は平地よりして築き起す
 地下には窓のあるを見ず。石柱瓦壁は石灰を
 用ひて塗せり。而して面は花紋の模様あり
 人物鳥獸を續くあり。古昔の美觀想ふべし
 窓眼小さく壁厚し。其大家は今時の
 家屋と大同小異なり。談屋室の上宇は

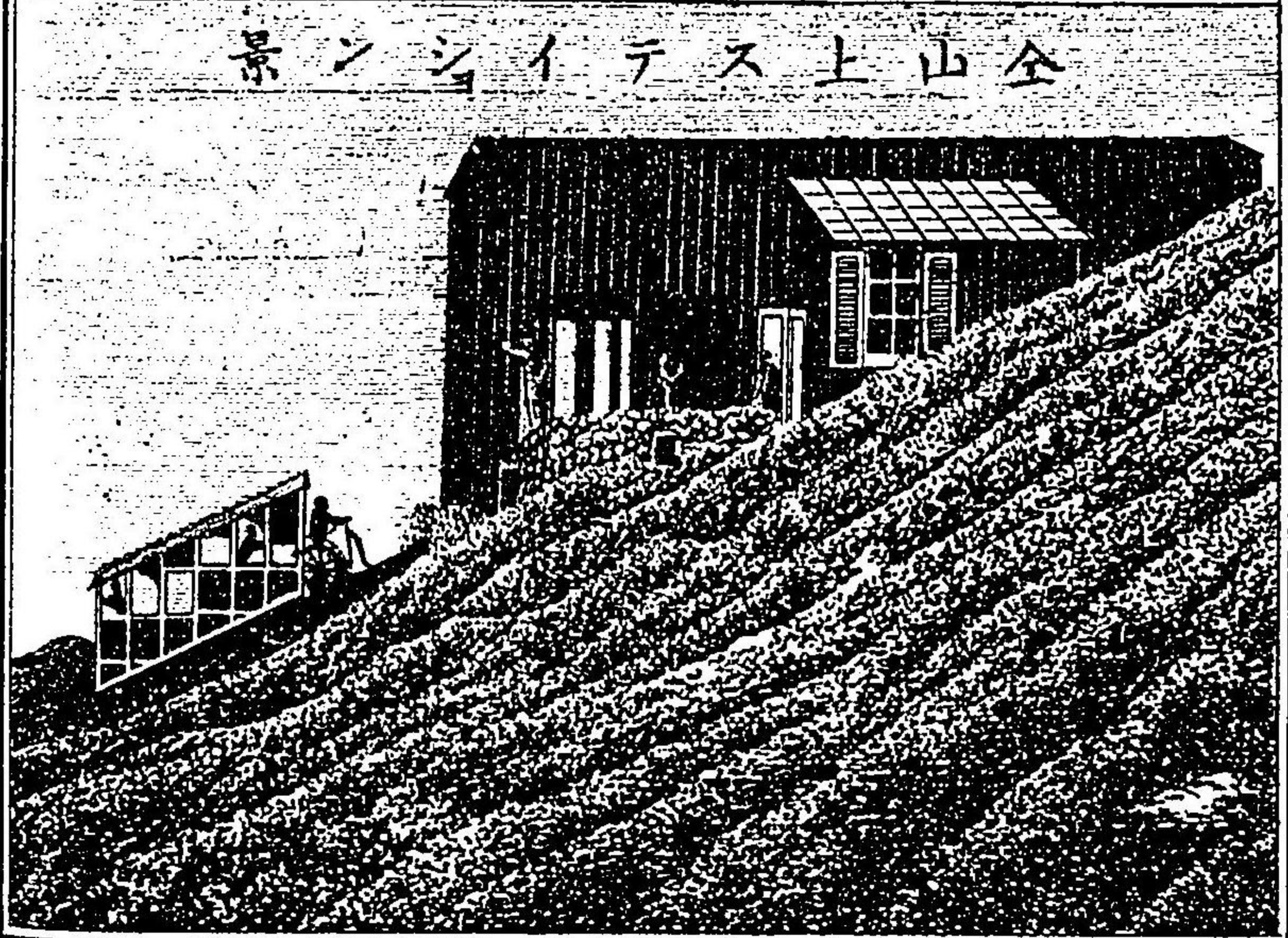


景城ロゲンアンサ

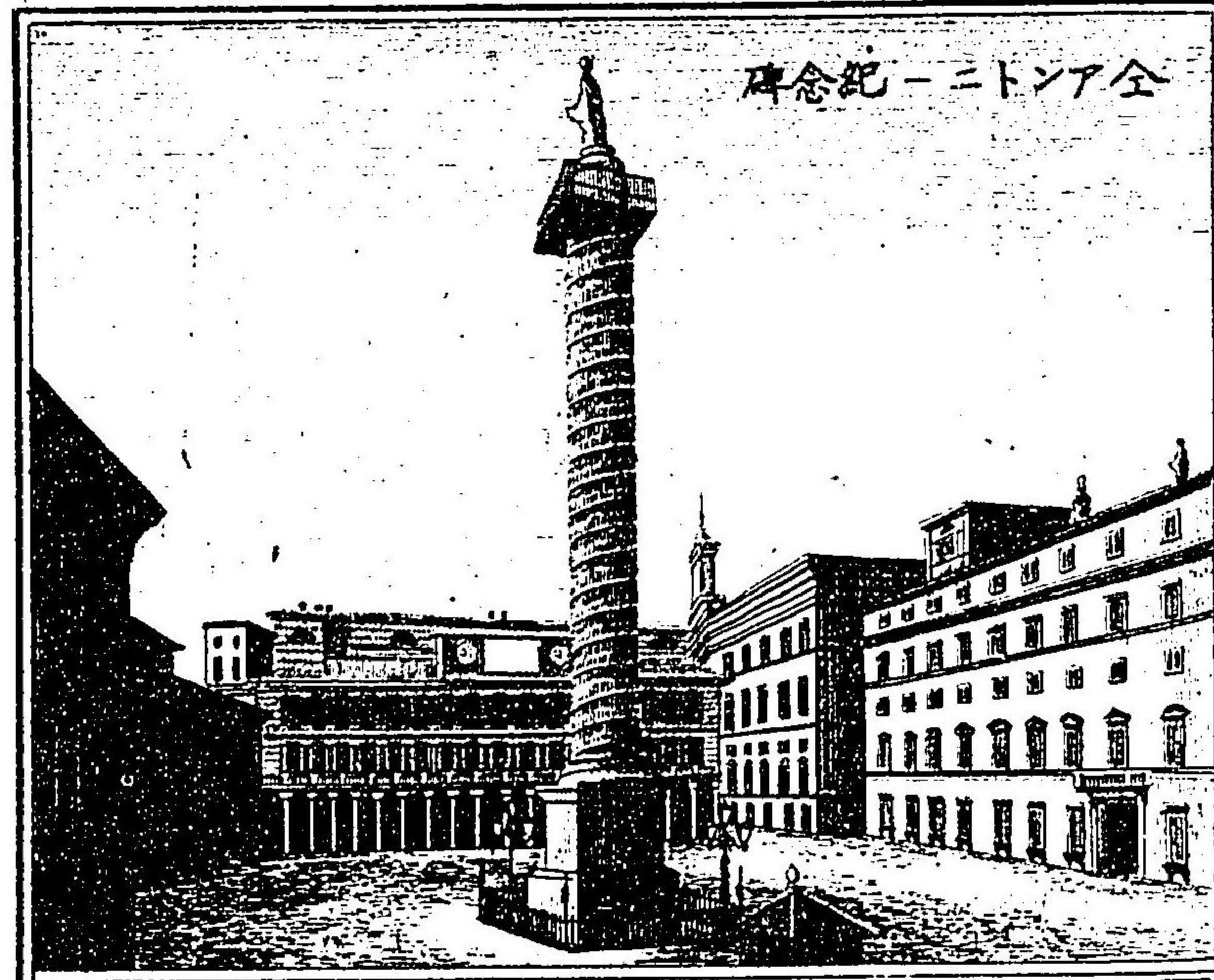
一も存せず樓屋の状は見る由やなし
 博學の士は古史を照つ此街屋は就き學校や
 銀行裁判、町會所種々考証の名を附せり
 ○市街の左右岡原の其下は猶城邑の
 埋りあるものあるをきと灰土積りて二丈余
 容易に撥き難くして今も其存存在す
 實に古今未曾有なる天災ありと知せたり
 威藏成火山は現今も絶へず噴火す而して
 時々大噴ふせるあり近年右の圖の如き
 鉄軌を布設し山上より蒸車を通じて旅行者の
 遊覽するに便せたり。
 是近傍の海濱なる市街の内は一家あり
 此より地底に入る時は亦ボンパイと同じ時



軌線るを建よ上山全



景ンシイテス上山全



全アトニ-紀念碑

但し今の伊太利は古昔の羅馬國として
 ニーロー帝の時代は此府の人口七百万
 タイベル河を相挟みオルバ山の野邊までも
 大小家屋鱗次して市街の端より内眼で
 其極端を見渡せず現今の英京總動府の人口は
 三百九十五万全古昔羅馬の半也
 此時英佛各都府は羅馬の寒村僻地のみ
 街衢は甚公狹隘して昔の盛は似しやらず
 塵芥路上に堆積す家屋は総体大ぶきど
 多を苦しのまゝにして汚穢き事は限りなし
 市街並びに近在に名所古蹟夥多あり
 抑も此府は今を去る一千余年の以前より
 彼の耶蘇旧教のガドリツキ宗本山の
 存在せる土地にして寺院多く日夕に



魯馬市街

覆没したる城邑ありハルクラニロムの色と云ふ
 今より百十四年前農民井を掘りし時
 奇異のものを見たるも漸々掘込み是は又
 一の古街を発見す深さ四十六尺余
 洞道を作りて案内者燈を照して誘導す
 是は火山に近き所へ土石熱して壓下たり
 故に市街も屋宅も潰爛したれば遺物みお
 石礎階子の類を認る尚記事なきはあらねども
 繁に歩せば略す盡し
 羅馬府之記
 当府はタイベル河口より十六英里の上流にあり
 子ープルス府の西北方鐵路一百五十余英里
 人口二十二万余当今以國の京都あり

ST' PETER AND PALACE OF THE VATICAN 六八

聖彼得及及門宮



時辰儀時を報ずきは八方の鐘一齊有響を亂し鏗々と府中のみちて喧嘩し当府より巧兒又多し各寺より出入する時は群り來りて香燭を買はん事を迫り來る此國極貧ふらざるも其教戒を守るより巧兒とふる夥多あり耶蘇新教を除く外諸宗教が人民より勸めて以て乞巧の態をなせしむ陋習は時より佛敎のみならず伊太利名物を巧乃多きも是らの原因乎聖彼得寺は羅馬法王の居城に附屬す一大寺院にて即ち羅馬カドリツキ宗教の本山也府の西方の岡麓にあり東は正面左右より白石圓柱以てよく

高樓を半圓規にまはし前より濶大庭ありく廣庭の地形は漸々隆高し且左右には跳水池あり其中より尖錐高塔建立す廊の檐上石像を羅立したり其規模甚だ宏く又美あり此地に寺院を建し事甚だ久し然きども是を再興したるは二百九十九年前シツキスト入て法王の五世の時あり古し彼の耶蘇の高弟中の人彼得といふ聖人の遺骸一片此寺に保藏したり其骸は或は云ふ瓜ありと彼得寺てふ名の因て命ぜらるる所以なり

寺の造営高大に莊嚴精美を極めたる其結構の有様は世界中に比類なし全堂廣さ二十二万二千三百二十一平方尺我日本の坪の積五千八百九十五坪あり倫敦セントポール入寺大ひかりとは思し今此寺に比較せば其半分より過ぎずとす

石の柱の総数は七百四十八本なり或は瓦裏面石や全石もあり美あるもの花窓石に花剛石何せし質の玲瓏と透瑩せるを撰みたり一柱の價も亦不貲を七十七尺以上ある高柱二百五十七本是を以て聲威なる寺を造り堂宇をば結成したり其柱の幅は七尺五寸あり二百九十有二の窓を開けり而して

祭ルトスーイ寺全
を祝茂人衆。法



寺の北はワチガン宮。是れ法王の宮殿なり
山岡に棟り樓閣は層複したり僧侶らが
房室一萬七千余今より四百余年前
一時旧教全歐に及びこりし時威權以て
財を收めつ此巨利を莊嚴せり然れども
此旧教は悪弊多し一萬七千余室ある
宮殿中の醜態は暫らく様を恕すべし
只余は願ふ旧教も彼の新教の美し習ひ
一大改革せん事を盡し其美は華美でかし
其新教の本色を書へと云ふの意あるをよ
左に羅馬法王の事を即か陳述せん
法王は夫き耶蘇教の但新教も耶蘇教と云ふと
変じ旧教とは全別派なり
至貴至尊なる高僧として全洲にある旧教の

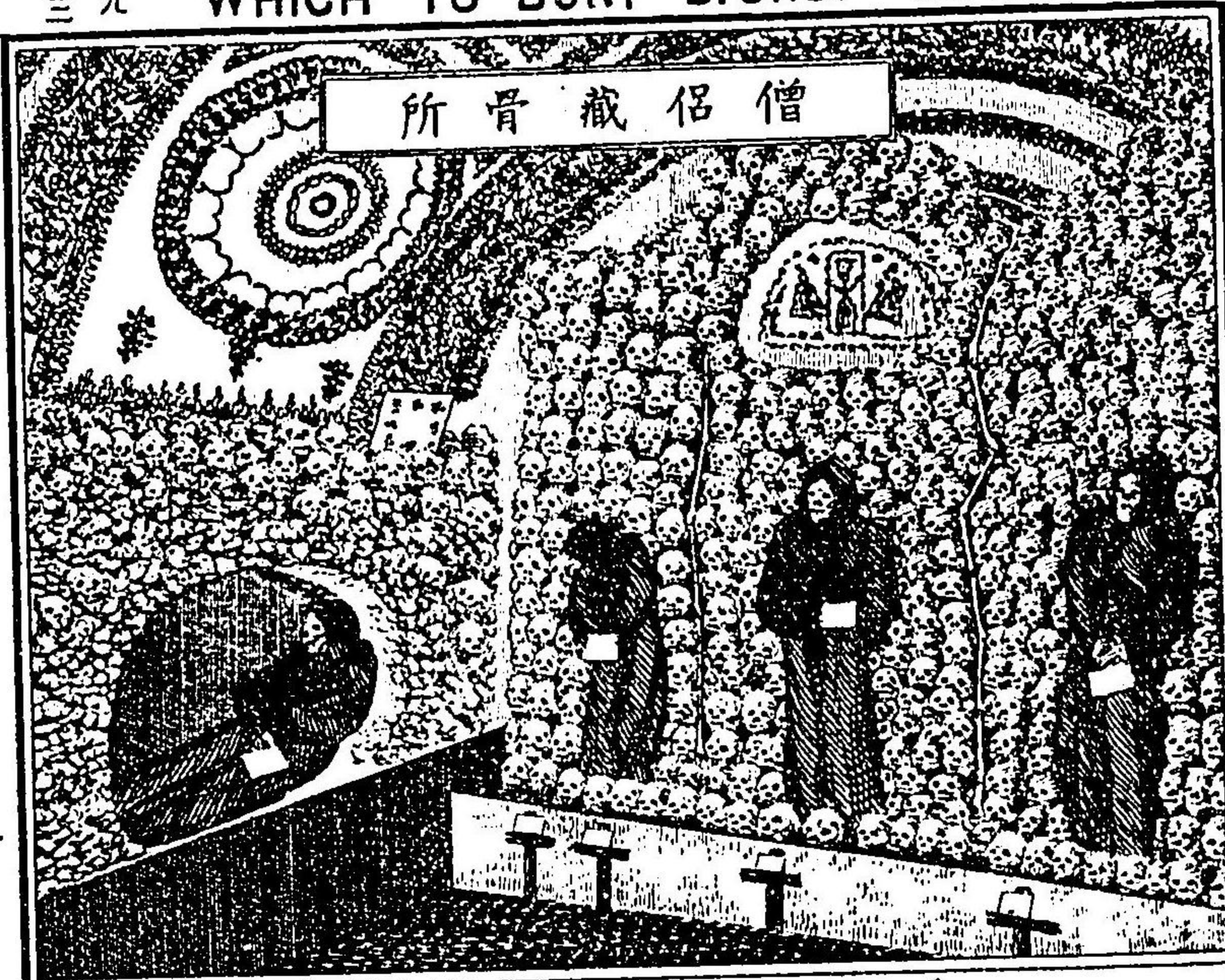
燈を鉤下す百四十堂の正楹圓塔あり長さ四百三十尺即ち七十一間余
堂の内より仰ぎて其宇を見れば忽ち目を曇す塔頂に金摺りの彼の十字架を
安置したり其架の高さ丈けても二丈余此高塔の直下を彼得聖人一片の
遺骸を藏せり且榜にジョンバクナストが禮拜の像あり然して正面の窓は
すかして鳩の飛來る岳を精細に畫彫せり蓋し基督洗禮を行ひ王ひし故
事なり
此堂中より先代の法王とウスの真像あり凡そ法王位より二十五年を
経過せば生かから神として此本堂に掲げ事古來の遺法なりと知
未だ神とはならずとす
是他堂内兩廊の間は多くの畫をかけつ壁間種々の彫刻あり上宇は
各格花形藻紋を刻みつ金を施して極彩色とありき毎格異形伎を
同じきものは一もあし諦視すれば一步毎足を止めておむむべし
歐洲の人評しつふ毎日此堂に出で來り回視するも必ずや新異
其精巧や想ふべし建築家や畫家杯は常に來りて其畫を寫さぬ日
とは多しと云ふ

寺院は皆其枝葉して僧徒の官位は法王の許可に依りて定ませり。
 上古にあつては法王の土地を領せし事はなし。九十五代の法王ある。スチフエン第三世の時より當りて佛國王・ペピン及びシャルレマン・二王の如きは法王を尊信すること最と深く土地を寄附して寺領するより次第に政權を握りつ終に威權張り、恰も國の王たるが如きに至せり。殊に彼の中古に於ては其威權最も重く著名なる法王グレゴリ第七世等の如きは威力をば擅し、幾回か日耳曼諸帝と戦争す。列國の王宗法と重じ法王は伏従す之に抗する者あせば破門の罪を問以て嚴罰したり。其中に彼の日耳曼皇帝のヘスリー四世は法王を抗して遂に教會より放逐せらせて三晝夜ワチガン宮の壁中に徒跣行立號泣し、破門の罪を謝せし事、歴史に載せて著名なり。在昔王の位より即くや皆法王の許可を得て然して後、跡を踐めり。殊に封建時代は王候貴族の輩は、誠宗に媚び威を藉りて、人民を虐げ苛税をば重く課して君主の威權と僧徒の勢力と互に相依り其宿弊皆人民に苦艱を負へり。
 怨讎積で今を去る三百八十余年前、薩撒國の高僧ヨドクトルルザル等起

卷之四

彼の新教を唱起せり。從來羅馬法王が罪狀九十五ヶ條を公布し以て日耳曼の中北部より各國に傳宣したり。衆民は靡然之に傾きて、旧教寺院を毀ち棄新教に歸依したり。
 蓋し右の高僧が新教を起せしは羅馬法王憐心し、己を自ら神と稱りイエスキリストが真神の教を傳へし其旨趣は全く悖りし故を以て之を矯めんとするにあり。約言すせば新教は彼の法王や帝王が、嚴制邪惡の罪を矯め、眞の神が本志ある民の自由を回復し世を救ふの點にあり。
 然るに羅馬教徒ども大に震怒し新教の信者を捕へて無慘にも水火に投じ暴殺す。させども眞の新教は益盛んに行はせ、羅馬法王權挫け甚だ危殆に迫りたり。
 一千五百五十年、西班牙國の旧教徒・シエイトオルド教會を結びて以て新教此蔓延をば防止せり。故に於て乎歐洲は兩教大乱湧起せり。
 當時歐洲各國の民權の說盛んにて、時運の致せるものある乎。各國人民新教に靡きて以て自由をば遂げん事を欲望す。法王並に高僧や顯官貴族の輩は

THE STORE HOUSE UNDERGROUND
WHICH TO BURY BISHOP' BONE.



僧侶蔵骨所

○アントニー氏の記念碑は府の中央に建立し
石造甚だ美觀あり氏は當國の英雄たり
○上欄に掲げし骸骨所旧教一派の寺院ある
地下にある奇觀あり四方に飾ける骸骨は
種類併せて四千余个中央低地の標柱は
近頃死せし僧侶の埋みある標あり
埋葬せしより一年を経過すせば屍は

○却説す羅馬府の人民總て建築や
描画鑄石音楽や綜織の術巧よて
歐洲各國人民の技術を學ばんその為は
末集するもの多しとす

○背きつ帝王と萬民を壓抑せらるる結果のみ
威權は弥衰頹し且つ前条より述べ如く
古昔佛より寄附したる寺院の領地は悉皆く
伊太利帝よ占めらるる今は新教羅馬府よ
公然宣教ふし居せり昔しは各國帝王の
上より立ちたる法王も時勢の變遷制し得ず
今の姿よあり行し其有様ぞいふまじし

CONTEST WITH WILD BEASTS.

往古觀一場に於て人罪と猛獣と格闘せし



其旧教を植として民を瞞着抑壓し
愛國新教自由家を所標したり然せども
一千七百年代の中葉よりして各國の
政治は立憲政體に一變し且新教は
信者自然に増殖し君民の權交發し
國運益々進歩せり
然るに旧教萎微不振自然に羅馬法王の
威權は弥衰頹し且つ前条より述べ如く
古昔佛より寄附したる寺院の領地は悉皆く
伊太利帝よ占めらるる今は新教羅馬府よ
公然宣教ふし居せり昔しは各國帝王の
上より立ちたる法王も時勢の變遷制し得ず
今の姿よあり行し其有様ぞいふまじし

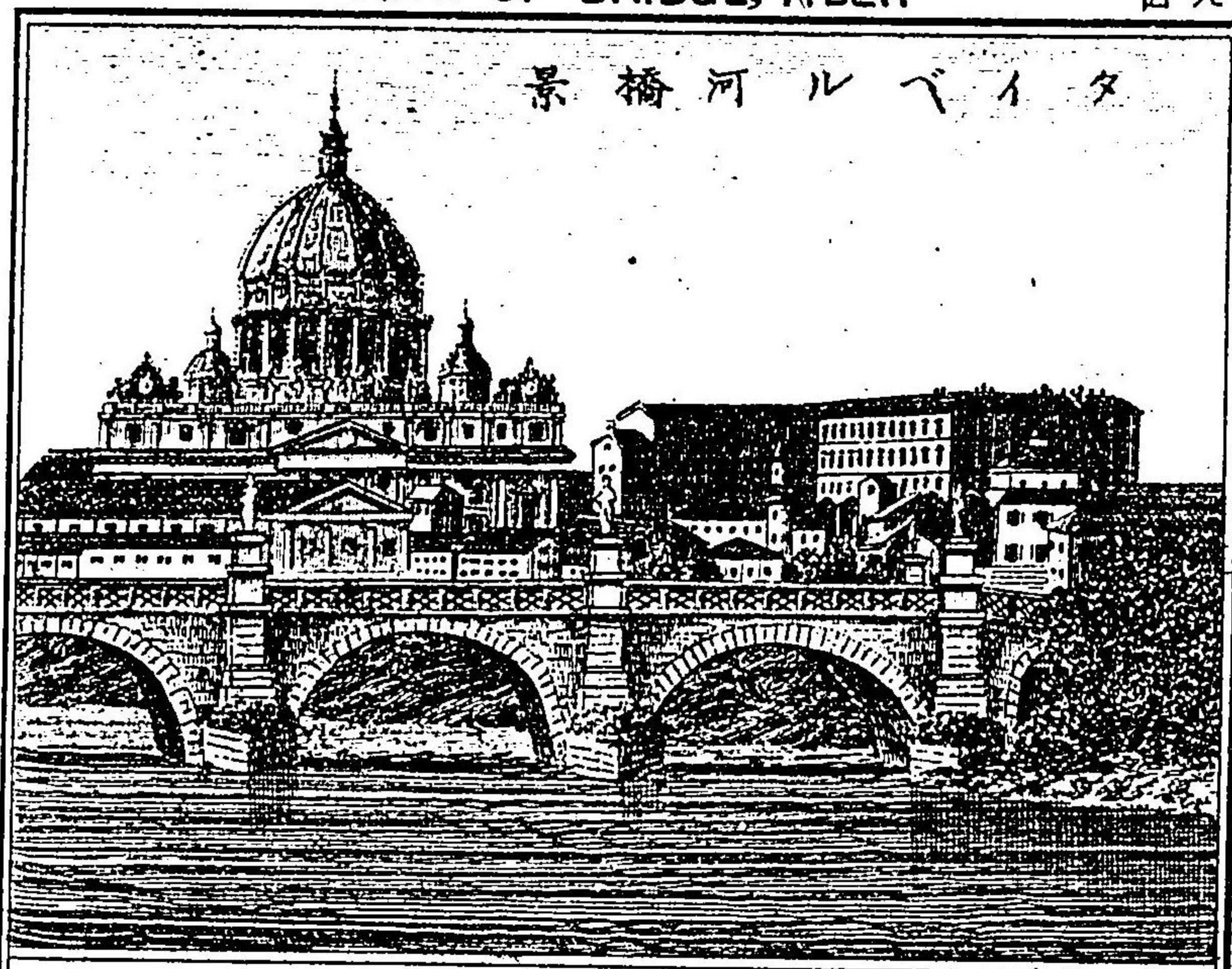


集議院残柱

入り五百四十尺、外圍ハ総て星形の堡を築きて、其中に圓壁高城建起せり。皆磚壁を以て成る。高さ十有四五丈余。上層には廣臺ありて、此は女神の翼をば張りたる像を安置せり。

○タイベル河に古橋あり。紀元一百三十有五年に羅馬皇帝が架設せらむし石橋ぞ然る。今も完存し往來絶するひまもあや一千七百五十有余年の星霜を経るも尚儼然あるは精工の善美を尽せし故にして後世の企て及ばざる所なりとて現今も各國建築家來り其法式を學ぶとる。

○集議院の残柱は府の南方の古蹟あり

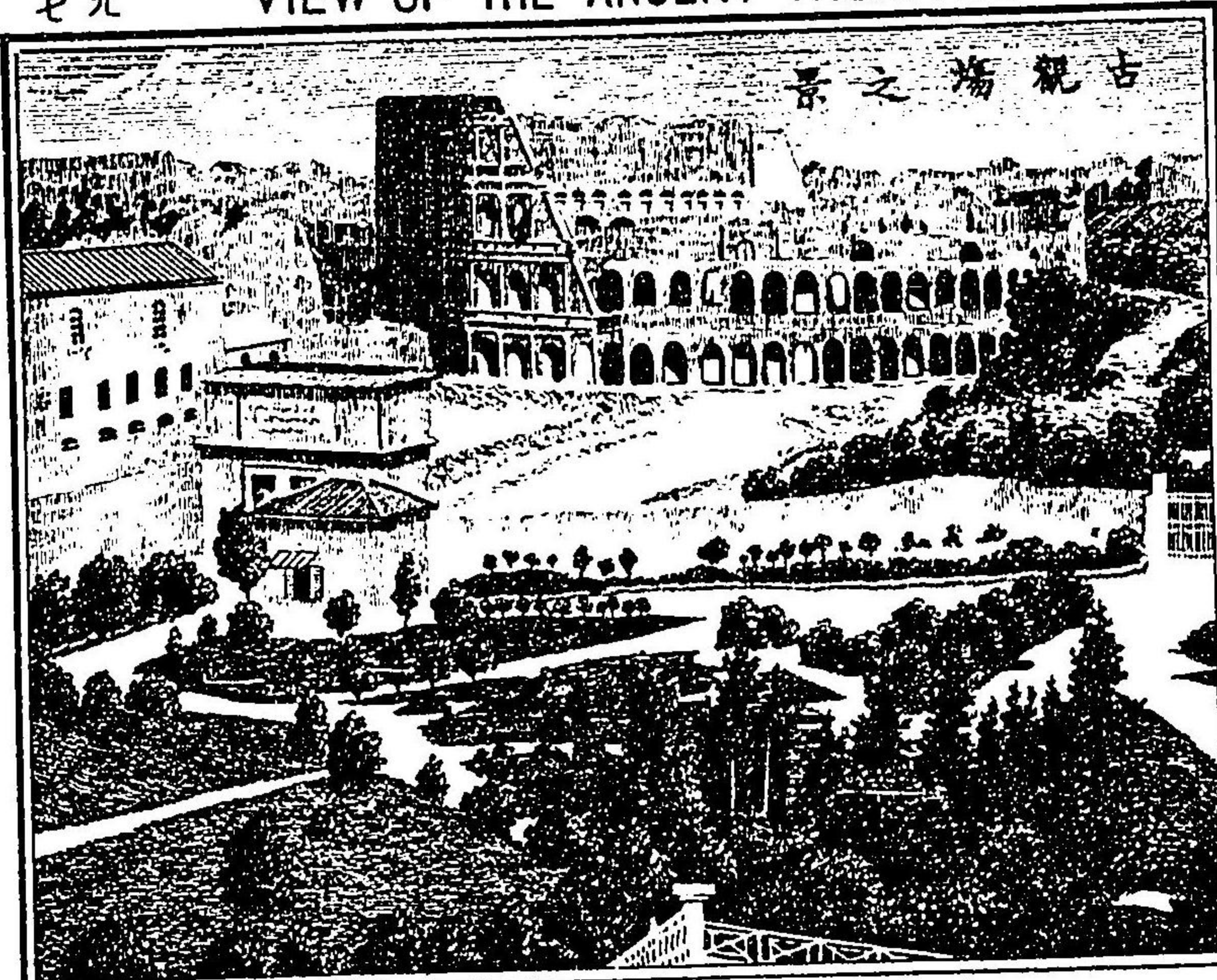


景橋河ルベイタ

未だ肉の附たるを其俛掘出し陳列す。鼻の頰たる屍あり。髭のむしきし顔もあり。何せし身体瘦衰し。頭髮垂せて齒を掩ひ。総體半ば腐敗して臭氣鼻を穿つかり。是れ又一の習慣よて。僧侶の是に陳列し。並に之をが世話をなす。諸人は名譽とあし居り。

○サンアンゲロの古城は聖彼得巨利の東の方のタイベルと云へる河岸に立す。此城は今を去る二千二百年前のコロチユスの當代に始めて築き起せしが其時規模大ならず。紀元後百四十年にアネニオス七ヨス帝の代に修築廣造あしたり。き城の區域幅員は二千五百六十尺。

VIEW OF THE ANCIENT THEATRE.



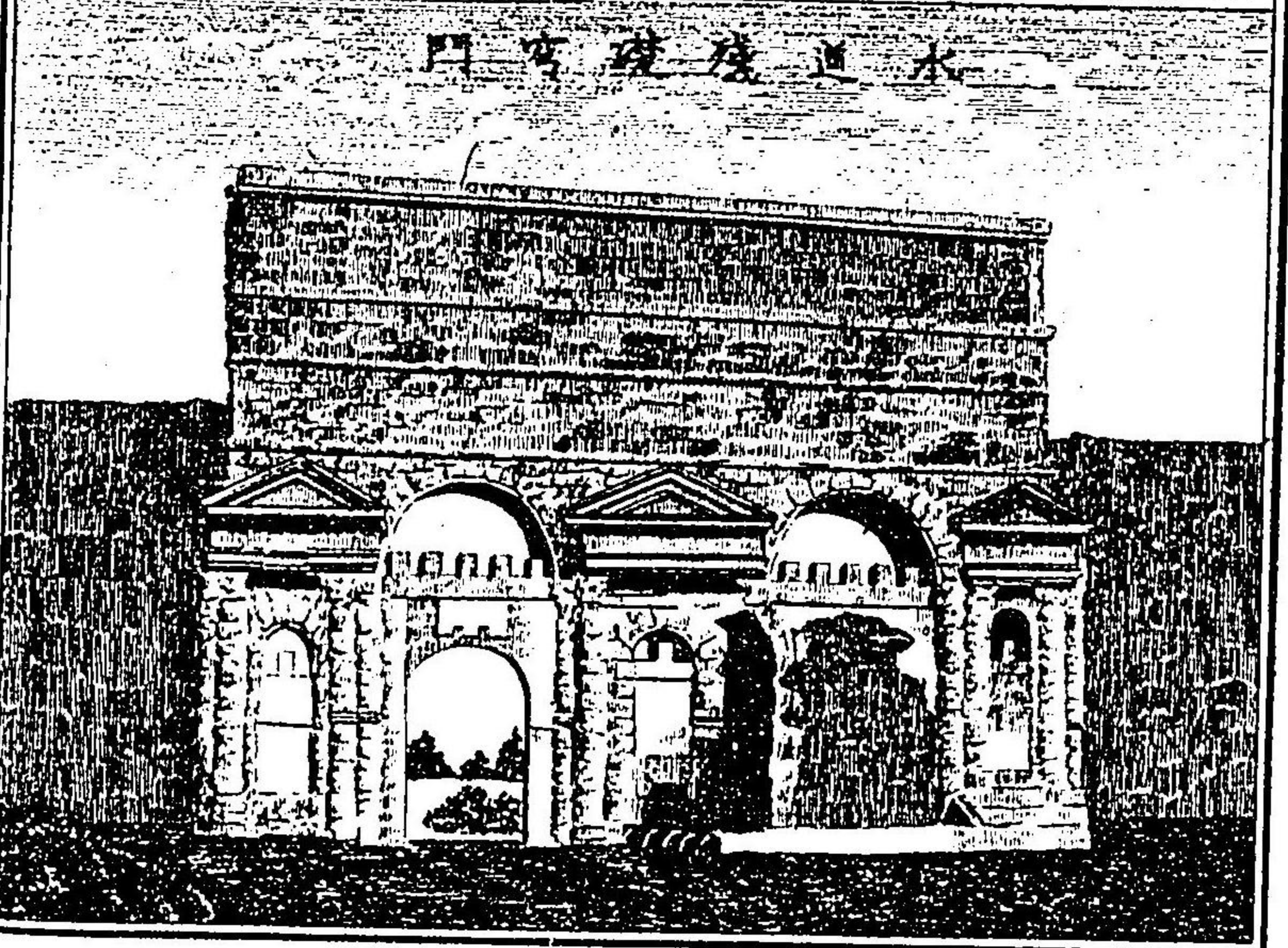
古 観 場 之 景

紀元以前三十年、当府の人民初會せり
 紀元四百七十有六年、是は繼續す
 彼の有名なる諷刺が暗殺をせしむ此院の
 會議の席でありしとぞ。キリストスにてふ寺は
 ポーカス柱壁存在す古昔キリストスにてふ寺は
 柱なりしと言ひ傳ふ現時、歐米谷國は
 以上の柱を法として諸建築を為すと云ふ
 ○水道殘礎は古城より東南原野に連亘し
 途かよア。ニエン高山へ連達せしめ、諷山の
 清水を引きさたり其距離は七十有四伊里余
 山路原野へ直線の碑壁を築き水をして
 其壁上を疏通しつ終る古城に引入せり
 壁の高さは十余丈、今も清水流通し

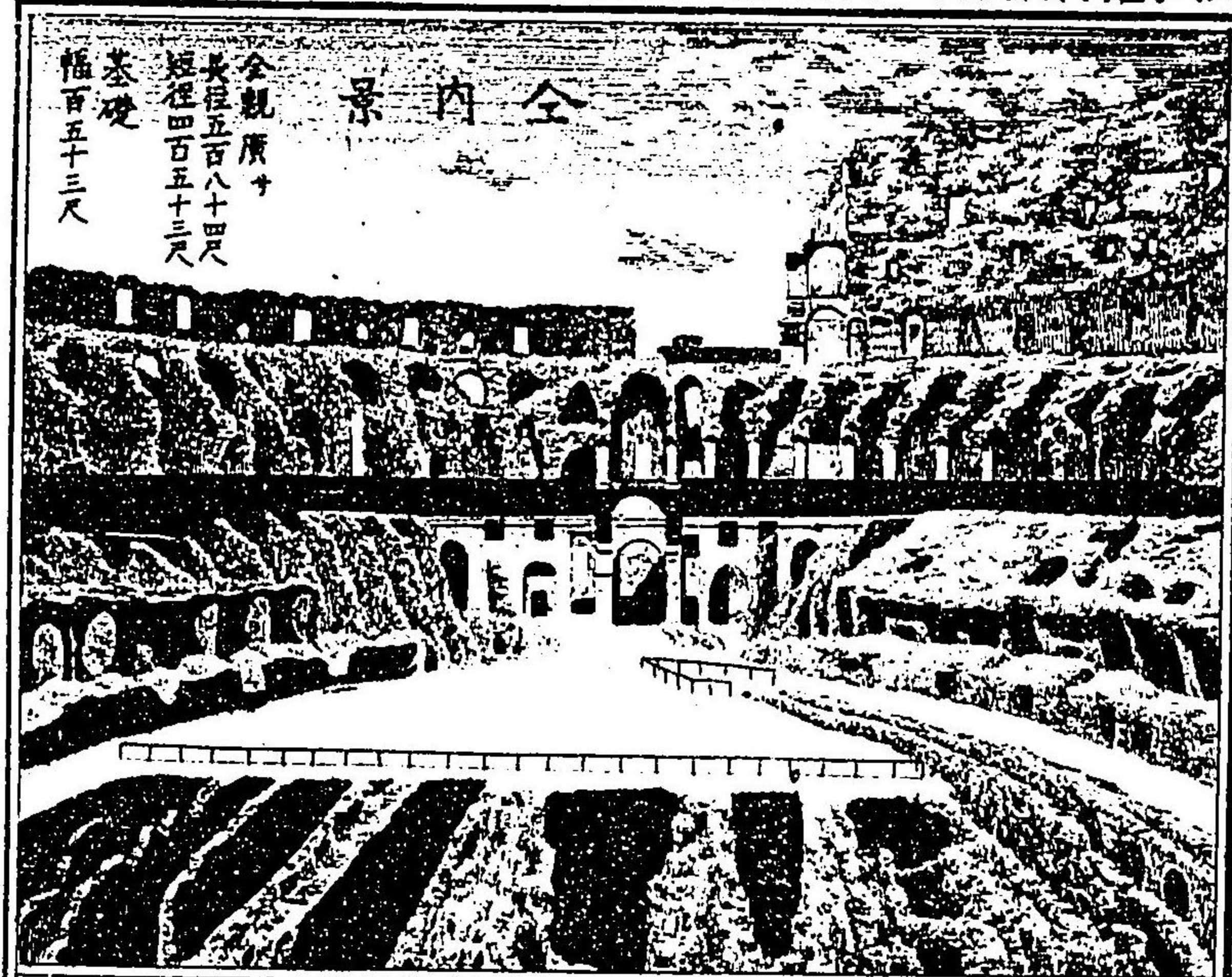
THE ARCHS OF POCAS.
THE ARCHS OF ANCENT WATER PIPE 六九



ポ
ー
カ
ス
穹
門



水 道 遺 礎 穹 門



全観廣す
長五百八十四尺
短徑四百五十三尺
基礎
幅百五十三尺

○古劇場は一名をアンフシターと別稱す
造は劇場の類にして今は古跡の残るのみ
羅馬の古書に依る時はウエスハレン皇帝の
造営せしものと云ふ。楕圓形の屋壁を
周囲し匝す悉てみな煉瓦石をば用ひたり
高さ五層余りあり中央空庭以て圍む
最上層は露臺あり地平線より高さ事
一百七十九尺余是より平地を俯瞰せば
目は忽ち暈す蓋し昔し羅馬の人民は
武勇を尚び人として獅子や猛虎と格闘し
衆くの男女を集めて是臺上より見物たりき
現世の演劇を観る如し観客満きは十二万
数万人が一齊に出入混雑なかりしむ

建築造構巧みなり第三階の正面は穹形の室四ヶ所あり是を羅馬皇帝の
王座ふりしとタイトス帝即位の時一萬餘匹と其他一野生の猛獸五千匹
當場内は相放ち重罪犯の者共と一生態命闘はし悉皆撲殺ふしたりき
犯者見事な勝つ時は放免せらる事あり此事紀元五百年時代一盛に行はる
其猗猗の風俗や想像するに足りぬべし彼の西班牙や吾國の佐渡の闘牛遊とは
同日は語らさず抑も羅馬の大建築の残蹟が多きは全く古今の
バルバリーてふ邦國の惡風に似て後奴らの多を誇耀する如く人氣熱悍悍惡
猛獸など格闘へる程の國俗野蠻すへ時の帝王酋長が威福殘暴放恣ある
之に準じて甚し征伐戰闘捷て後生捕ませし人々を奴役し而して財室を
掠奪ふりて土木又其他の工事は消滅しつ以て至大絶倫の巨觀を誇耀かしりき
是きらの時代は民權や自由の説は喜しかく其民力の微弱なる嘆ずるも尚余りあり
曠昔埃及王の墓碑ピラミッドを建てたるも異名同義の事ぞかし羅馬府中も遺存せる
大建築は幾人の血淚膏澤含めるや其様毒の遺物かと思へば胸も塞りて



宮古帝撒詠

硯の海は涙のみ。
 の詠撒帝の古宮は集議院の残礎ある
 南の岡を開鑿し城中建築せしものぞ
 全宮久しを地の底に埋没せしを近年に
 掘出したる奇觀なり古昔の盛衰知り得べし
 今左に帝が旺盛を致せし履歷の概略を
 聊か述へん同帝は儒略詠撒と尊稱し
 ジュリアン家の裔として紀元以前一百年
 誕生せらる若き時父を喪ひ漸をよ
 生長し至ひ帝と言ふ大夫世に處す
 朝廷に立ち第二位の人を良人より寧ろ吾
 草野に一位の人たるむと。
 却て説く此より前四百余年を去る時

像帝撒詠



ジユクテートルの職に就く当時羅馬に大統領一名ありて政權を掌握するの制ありし
 然るに國家は變あせば大統領の其上にジユクテートルの職を置く其威權ある限あし
 然るにシルラは忽ち此要職を掌握し且終身と期したり官民之を不当とし

羅馬セルセス王の世に王族タルキンテありてセルセス王の女と婚し自立し遂に王の位に
 昇りて威權を擅制し飽迄暴虐極めしが内乱忽ち興起せり時王族ブルタスは
 タルキン王の非を責めて忽ち他國へ放逐し遂に羅馬の國にして自由共和の國とせり
 爾后四百余年を経倍々富強の國となる
 然るに政令不正よて風俗自然に亂れわつ
 富者は倍威を振ひ貧者は愈虐を蒙り
 党與を結びて對立し貴族と庶民軌轢し
 擾亂屢湧起して刺戟争闘又起り
 羅馬市街は騷亂の絶ゆる時とてあがりしが
 此時シルラと云へる者政府の權を掌握し

傑豪の三人馬羅



シルラは反する者多しシルラ暴虐無道にて
 反者を多数に伐ち殺し或は國民の財産を
 虚取したきは國家又以前に増して擾亂し
 シルラの在職二年にてシクテートルの職を解く
 國家の騷乱おほやます
 当時羅馬三人の英雄豪傑顯出す
 其一人は前より儒略凱撒公とす
 次は潘沛其次は格拉蘇と稱すあり
 何れも非常の英雄で世にも名高き傑傑を
 此時右の三名は共同一致當國の
 施政權を左右せり既にして右之内
 凱撒公は西方の總督となり先初め
 佛蘭西地方を征伐し更に英吉利國に入り

松盛堂刊

忽ち之を攻略し大に西方各國に版圖を擴め功を擧ぐ當時歐洲西北部
 今の英佛日耳曼や西班牙和蘭等を云ふ何れも蠻夷の部落にて人跡甚稀疏ありし
 今の佛國巴黎府は初めて凱撒此時は城を築きし土地ありき今巴黎府遺跡あり
 却て説く格拉蘇は大軍將にて羅馬より東の方を發向し小亞細亞の地方をば
 征討せしが軍敗き墓を陣没せらるなり此報羅馬に達するや本府に殘る潘沛は
 獨り政府の權を執り威權盛に動しせば帝位に登るの兆あり然るに凱撒外にあり
 勲功高き人望の自然に歸するを妬つて終に互に不和となり紀元四十九年前
 マセドニア國の地方アルサリヤの地に於て兩軍互に會戦す勝敗ありしが潘沛の
 大軍常に敗多く埃及國へ脱せり凱撒又尾し同國の亞歷山德港口に
 上陸せしが人ありて潘沛公の首級をば凱撒公に献じたり公之を熟視して
 為し涙を落しつて將士に命じて最と厚く葬らしめつ此時に埃及と接戦し
 全國軍を撃破せり埃及王は溺死する此役埃及有名の文庫忽兵發し
 罹りて四十万卷の古書は烏有となりき今に至るも各博士深々之を追惜す

卷之四

SECRET MEETING OF THE FAITHFUL SOLDIER



斯て公は我軍の向ふ所敵なきを
 心は持みて遂に又嘆息大望企て
 國法を以て一變し專制政治の帝國と
 自ら為して已が身は忽ち帝位に即き至ら
 是に於て乎ブラタスを首として有志之面々
 民主共和を變じたる詠撒帝之所為を責む
 各自心よ思へらく今帝國とあらむは
 吾羅馬の國民は自由權利を剥取らる
 奴隸國とやかりぬるし吾々今は皇帝よ
 深き親任受け以て優待至らざるはか
 然りと雖ども元は是を帝が一個の私恩か
 掩等恚てか牽愛の情誼の爲め吾國の
 浮沈を察せず大義をば怒らんや嗚呼世の

BATTLE OF FARSARIA. CAESAR AND POMPEII,

戰決のヤリサルヲ洋潘撒詠



斯て羅馬の衣府では潘沛公の死を聞きて
 議官等協議したる上詠撒公を五年間
 統領職に任じたり蓋し特撰專權の
 統領たり之に因り政權遂に公の手
 落ちぬりき公殊に民を撫育し善法を
 暴發布す就中世に名高きは曆法の
 改正とあす後世にシユリヤン曆と通稱し
 曆學各家は賞義せり
 當時潘沛公之遺子西班牙國に據り以て
 父の仇を報ぜんと軍備を謀る之に因り
 公西班牙に出兵し討て平げ其上に
 西班牙國をも服従しめ程なく羅馬に凱旋す
 爰に於て乎治道の民皆觀呼祝賀せり



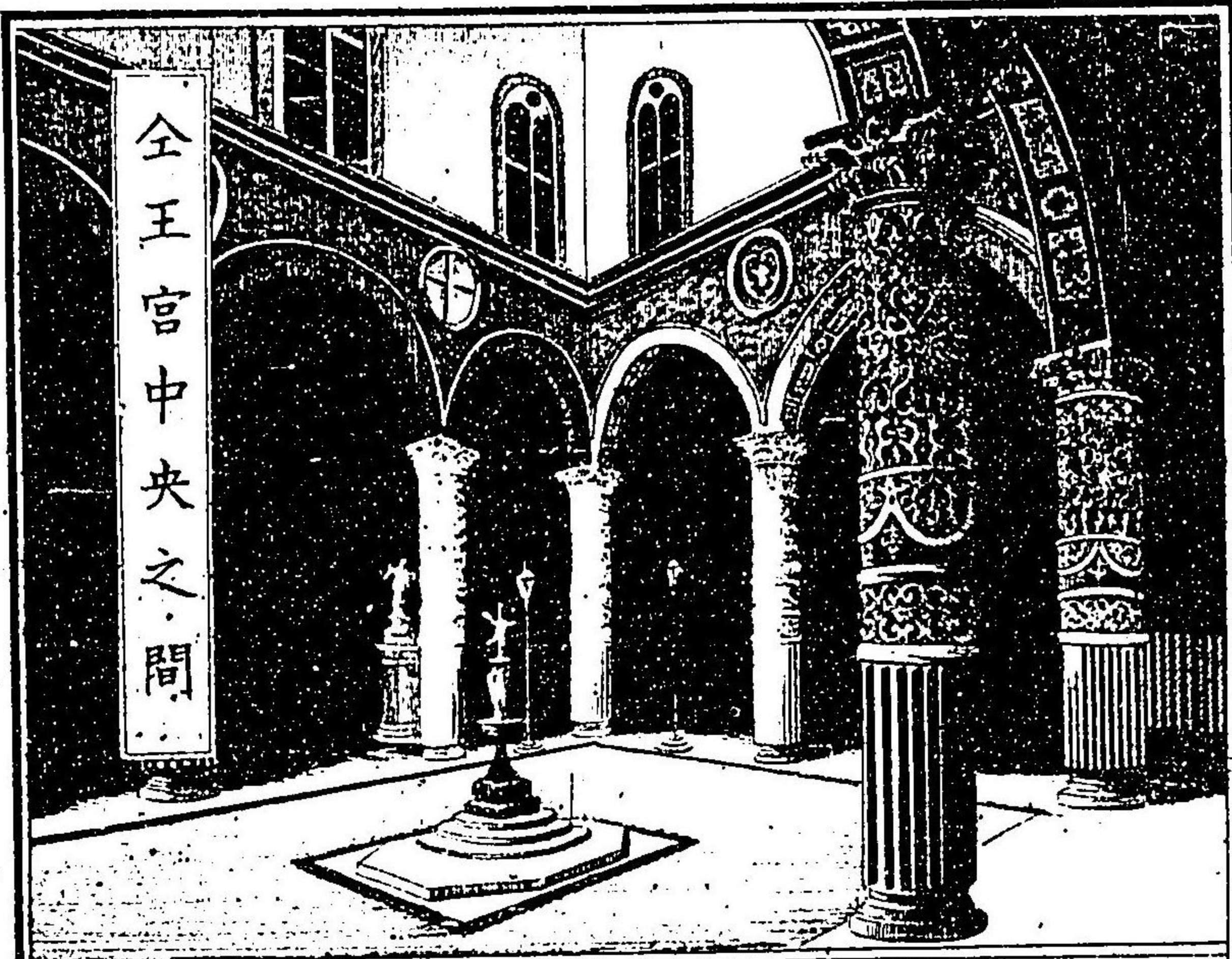
國家の爲に義士
談撒公堂に刺す

公道と亦人情の両全は夫を爲し難し
渠を一人の命を断ち獨立自治の基礎を建
國家を永久泰山の安きよ置をよ如くかして
ブラタス以下の有志者は一決同意協力し
紀元四十四年前三月議事の出會を
期して喧嘩を擧げ三月某日早朝
談撒帝は例より従者を多を隨へて
威容整々公堂の段階をば昇進し
彼の潘沛氏が新彫の像の下をば過る時
志士メリユスシムブルは突と走せ寄て拵をば
扣へぬりしが皇帝の後を添たるカスカ氏は
懐劍抜く手も見せばを忽ち帝より切り附けり
流石の帝も驚愕し振り反りて拂ひつゝ

松屋堂刊

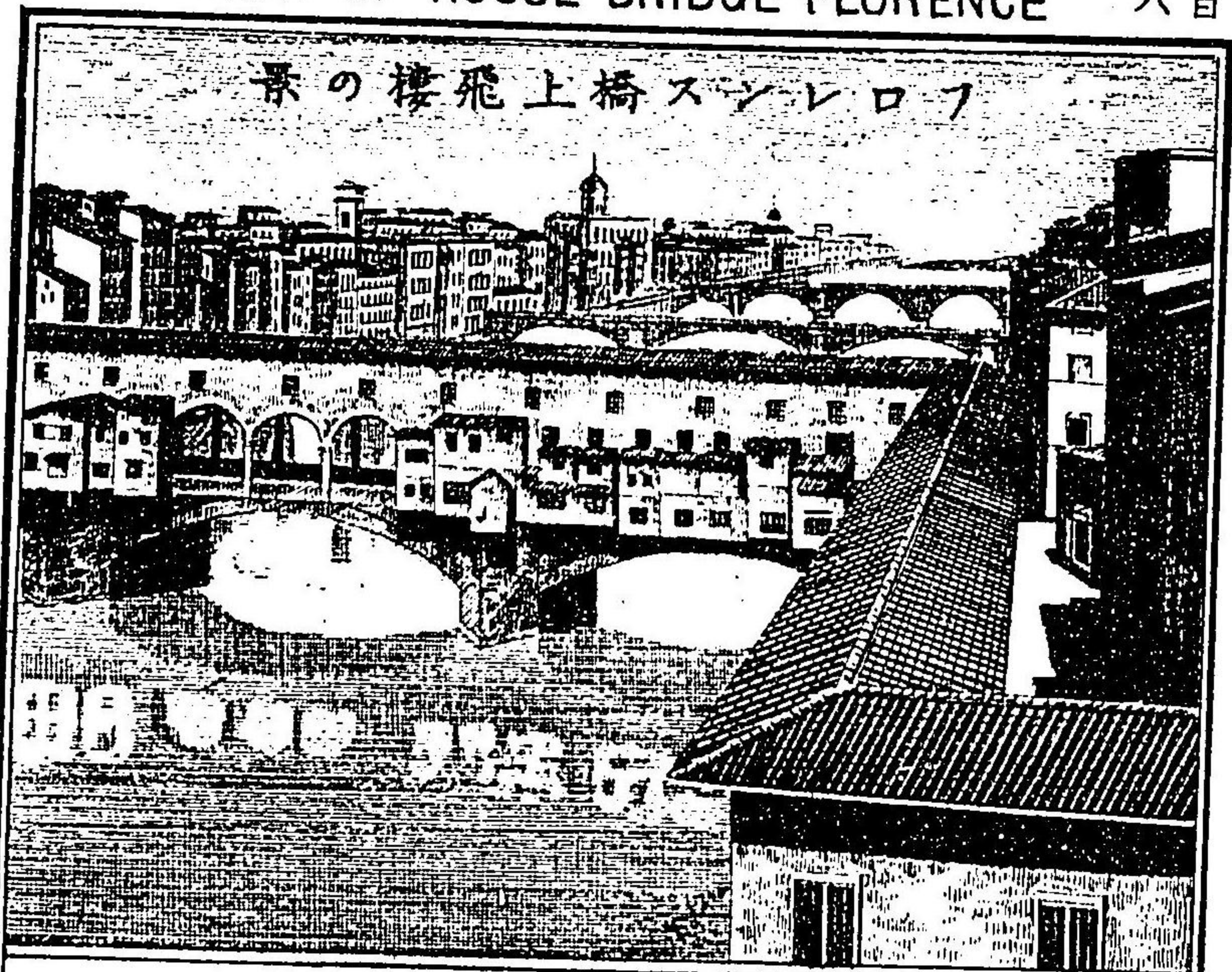
傍に争ふシムブルを忽ち蹴仆履み附けり。四邊を瞰みつ大音聲。奴輩底車為ぞやと
義士の面々是を視て。那脱すかと四方より起り立ち且手よく短劍晃々振翳し
帝一人を取り圍み我伐る取らんと轉けり。談撒倍々逆鱗し獅子奮迅も音からず
右に抗しつ左をば支へつ刺しつ蹴飛ばしつ蹂躪るあり斃すあり流石の義士も逡巡し
為すぞき術あらざりし。此時義士のブルタスは諸君何ぞ卑怯なる國の譬は斯く討てと
躍り蒐つて皇帝が膝綯殺と一刀刺させて見反す皇帝は吾兄弟とも頼たる
ブラタスよ有けせばきては你も同志かと叫び至ひて撞と坐し自ら朝衣を頭より
被りつ其場は伏し至ふ義士走せ寄つて之を刺。紅く染みてが果らせき。
當下ブラタス血せし刀劍高く掲げて。傍あるシセロの像を見。シセロは國父の尊稱を受けし也
國父よ國父悦べと告げ且つ再び及をば帝の屍に投付けて。羅馬は是より自由を
笑を含んで呼りつ。他の義士諸氏も祝儀せり。然るに國內又擾を党派起りて乱せしが
屋太維と云ひる人。終に羅馬を一統し。紀元廿九年。前帝位より即きて其名をば
奥古士都と改つ。再び君主の國とある蓋し羅馬の國體が共和政治となりしより

卷之四

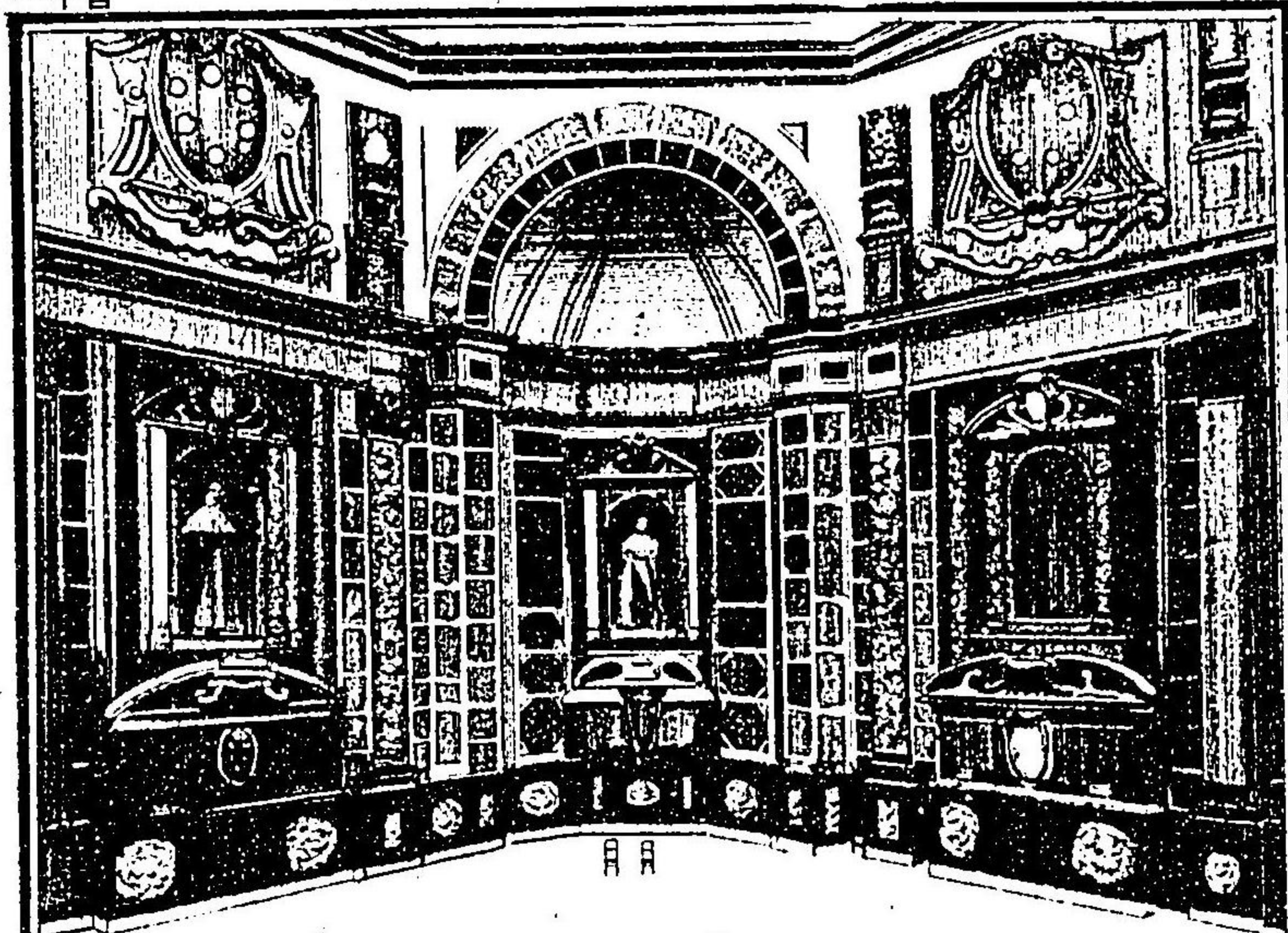


稀世の珍物夥多あり故に宇内各國の美術學者は遠く來て其法を取り模造しつ自國に歸りて技術家の耒考より供すとす此傑閣の樓上より飛樓を作りてアルノ河の中央上を廊道とし河南の市街に連接す且又民家の其上に廊道ありて王宮と連接したり綿亘は七八町の遠きあり此廊道を行く時は足下の人々往來し橋上花苑等を視る其懸廊の左右も名巧奇品を陣列す博物古品を見終りて廊上通じて王宮に進行すきは宮殿は又一層の古觀あり上下各宇に柱壁は皆以太利人民の得意の彫刻嵌石の

景の樓飛上橋スレフロ



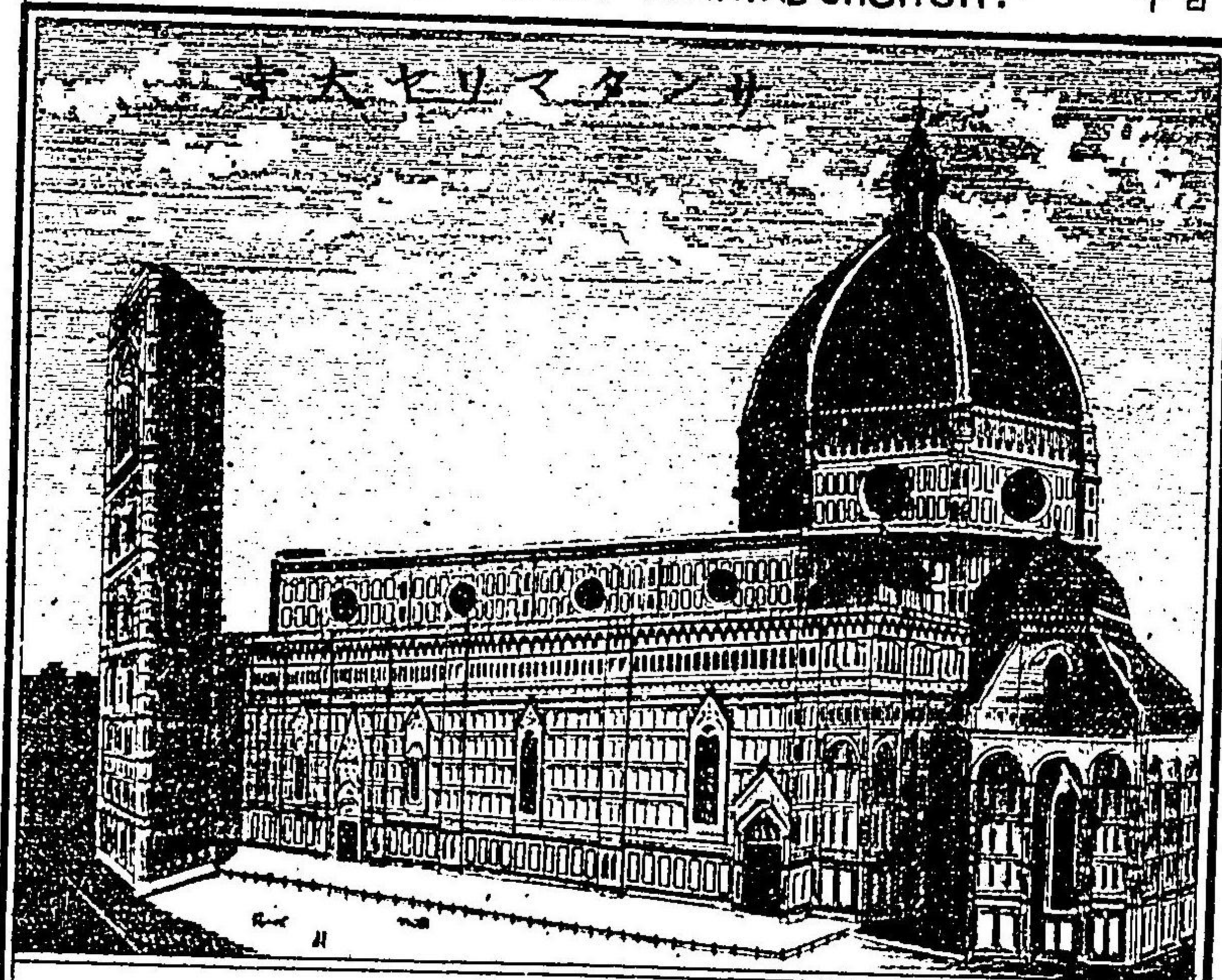
四百八十三年間共和は是に亡び佛稜府之記
佛稜府は羅馬府の西北方へ鐵路にて二百三十二英里余亞諾河の上流にあり入口十有七万余連葉岡陵に上りつて飛閣傑樓處に見て山上古城に古塔もあり雲霧間には大寺院元然として袖づるあり小寺の轟然堂尖を出すもありて府の周囲外郭繞らし八門あり河上は五大橋を架し林樹交互其景色清淑勝致全都府は宛然庭花眺る如し
博物場はアルノ河第二橋の北岸に結構四層の巨館あり場内教室古器名畫



諸侯堂

他の石面は鑲嵌す。畫紋を描き出す。人物花弁皆妙技あり。其精ふるに至ては真を欺くもの多し。此工事は往昔の羅馬の時代より傳ふる世に名も高きものにて已に三千年前より其妙に入るポンペイの地底に掘出す家屋中モザイカルの器皿あり。今尚ほポンペイ村にあり。技術の織密腐を化して新を出しつ不用以て貴價を生ず是ぞ之を以太利人の性質上得意の伎倆なりと知む。諸侯堂は畫の如き美館なり往昔子メデシなる人此堂を五百万円費して埋葬場とふせしあり。

○フツシ宮も府の中。最も名高き巨宮たり

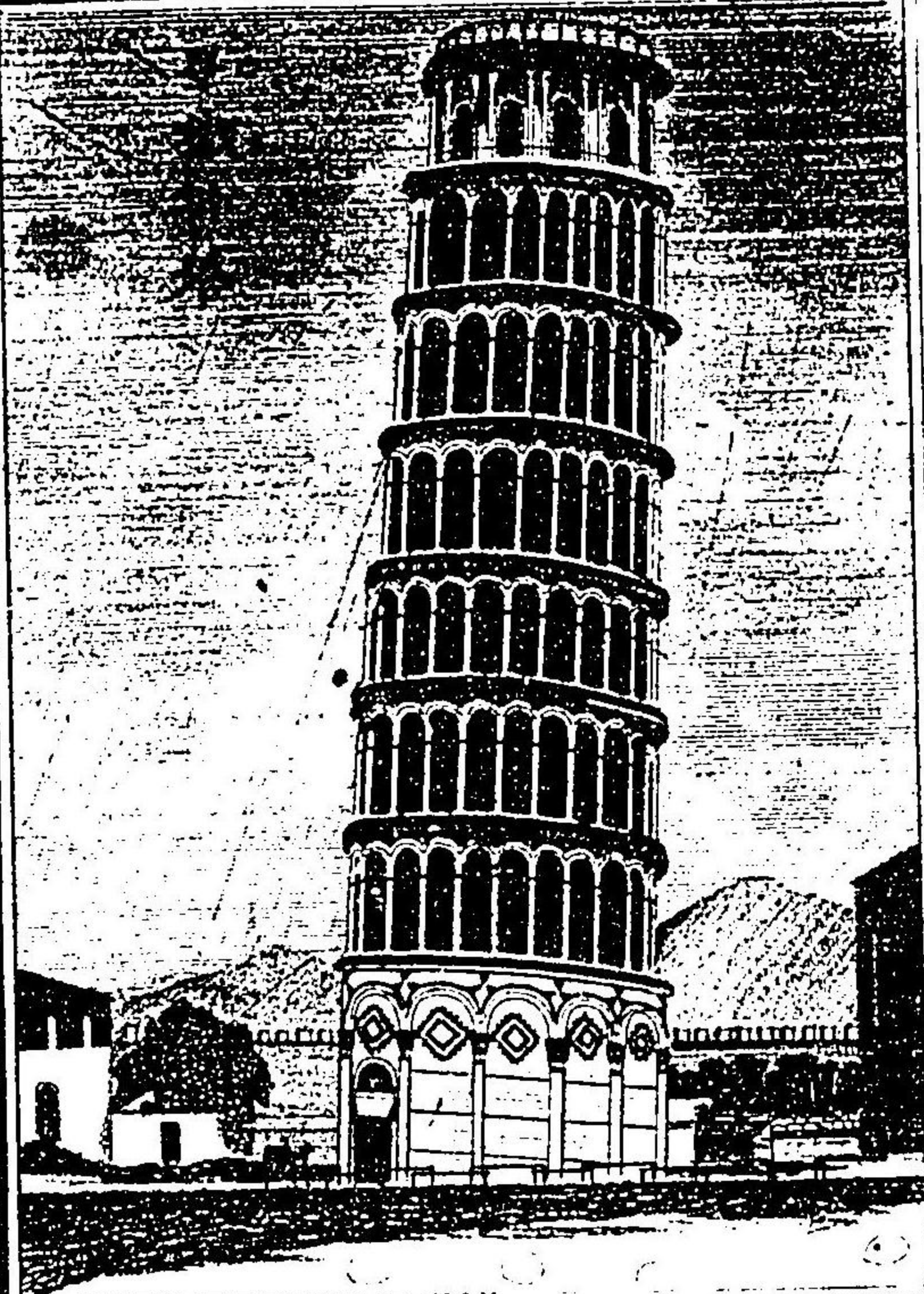


細工をおして悉く精巧綺縵の飾りあり。其金光や爛然と藻繪眼に満つ然せども今は廢宮なりと知む。

サンタマリヤ寺は給体を大理石にて築造し。雲表より登へたり。紀元一千二百年。耶蘇舊教の全歐より蔓延し且民財を侵換したる其盛時に工事を創め爾る后。四百余年の星霜を経て落成したるものぞかし。然きども聖彼得寺に比せば半ばに及ぶかし。

府中製作名高きはモザイカルの工事あり。各店軒を比し以てモザイカルを商へり。扱て此工は各種の有紋石を集め來て其各色の片落を裁り取り以て鑲飾し

INCLINED TOWER OF PISA.



畢撒府之記

畢撒府は前府の西の方、鑛路二十八英里、アルノ河に濱し、今、甚荒廢、屬すと、人口尚五万一千有余あり、大學校は名高し、然るに此地は世界中、二とまき奇なる斜塔あり、塔の形は圓くして、斜の高さを數ふまば、一百八十八尺余、

其中心より、傾側ける、殆ど二間、二尺余、我然傾き、聳へたり、之を眺望する時は、今も倒ん、斗あり、其理は重心、礎の外に出でざる故、その、教百年を経過すも、依然變ずる事は、まじ、西班牙國の高塔は、地震の爲、傾けり、是は理より、建たりき

熱那府之記

VIEW OF FUSHI PALGE.

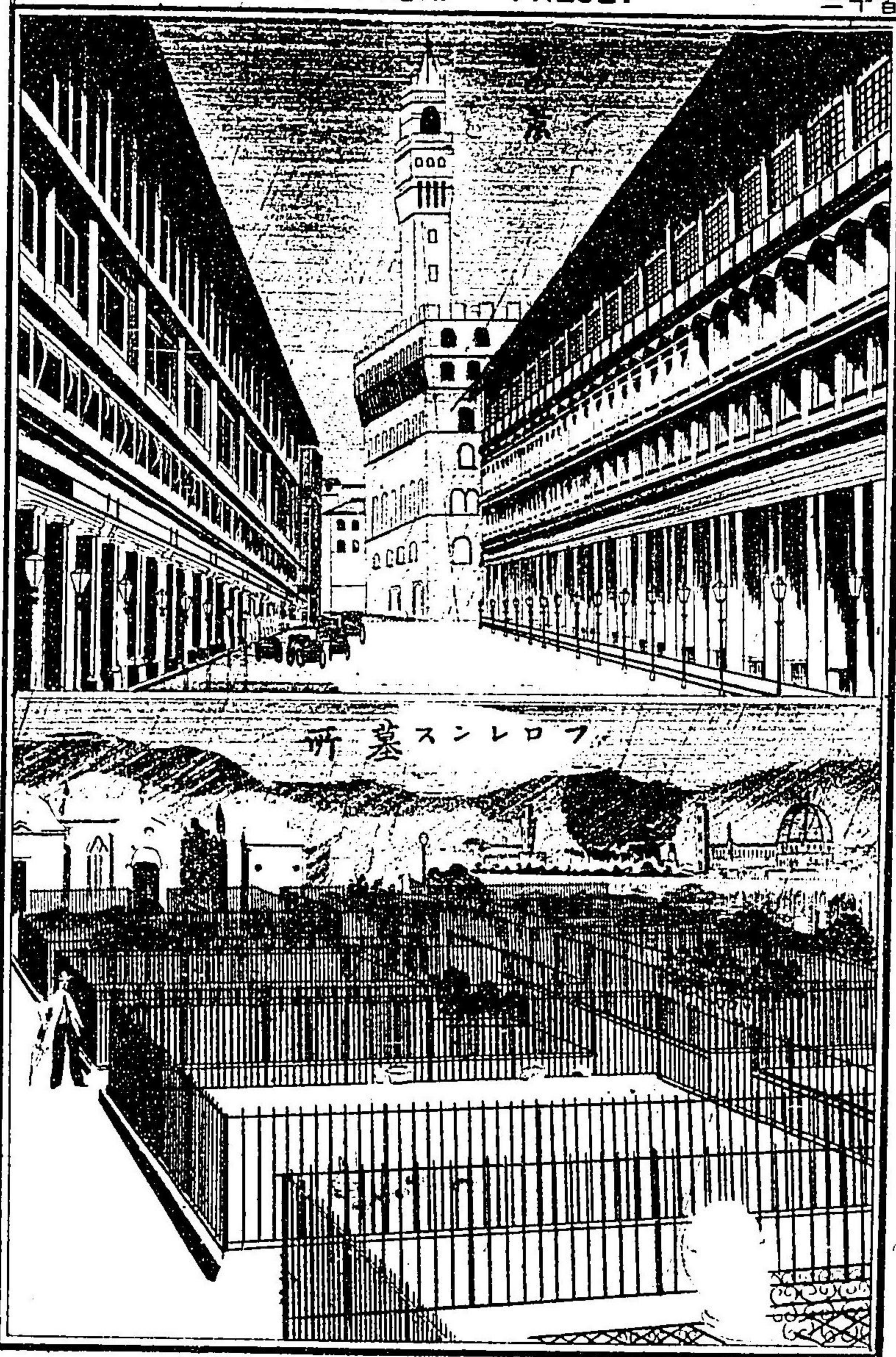
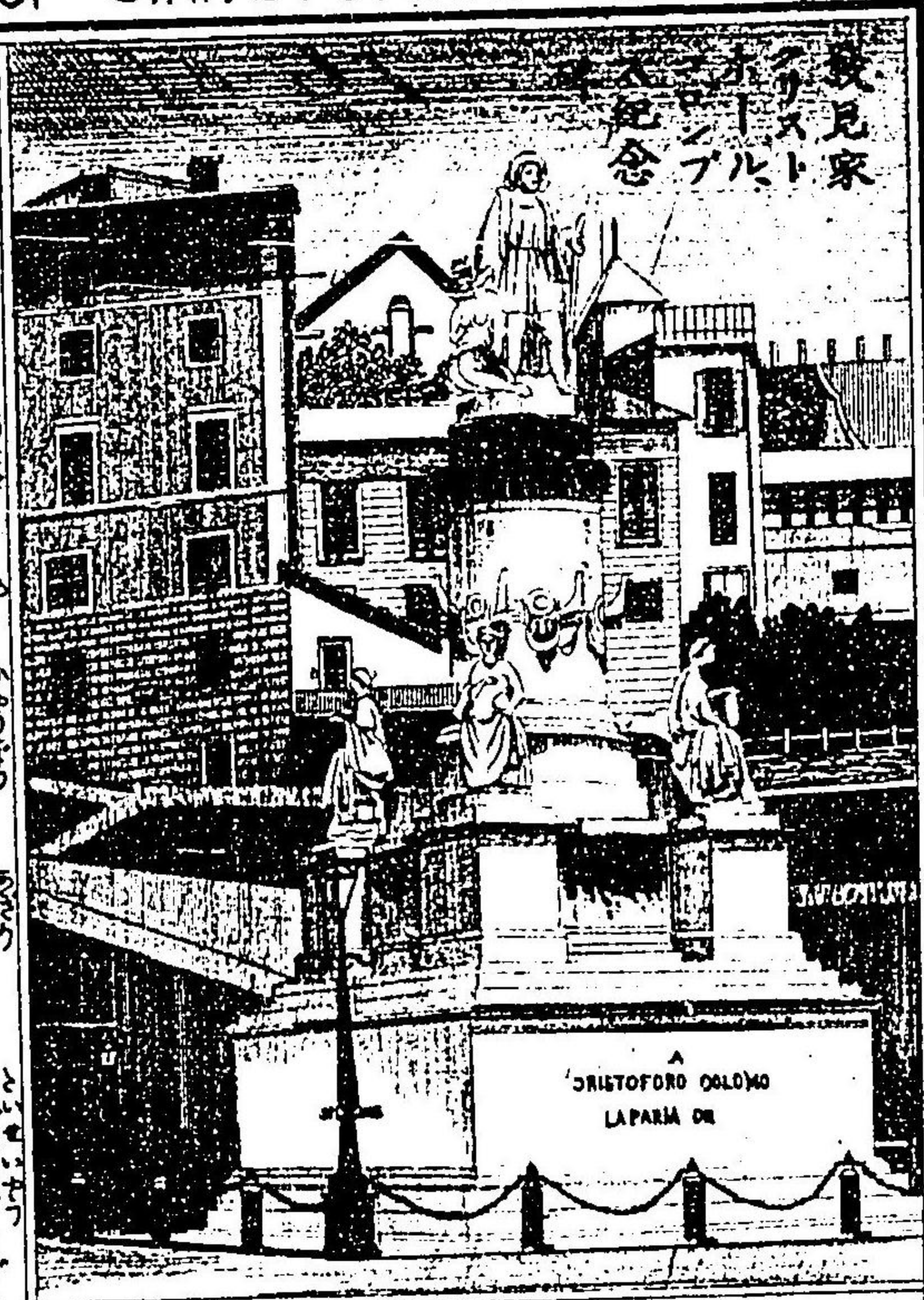


IMAGE OF CHRISTOPHER COLUMBUS

五十百



企圖せらまたり其故は彼の渺茫たる涯まき大西洋をば衆り越へ尚西方又進航まば
 必ず人の未だ突見ぬ一世界あるべしと考へて之を實地と驗せんと頻り又思を焦せしむ
 右は述べたる貧家故入費の多きを如何せん依て諸國の王は説き其利を述べて勸めが
 誰とて信する者はなく唯狂人と嘲りて擯斥したり因て氏は貧乏の上又窮し

毛を刈るを以て職業とせり兄弟四人
 而して氏は其長子人と爲り
 穩順にして伶俐なり頗る進取
 活潑の氣象は富めり殊は彼の
 航海術又熟練す
 積年地中海港より亞非利加洲
 の海岸を往來せしが其間
 種々百般の経験し因りて以て
 人々の想もよらぬ大望を

THE STONE LION BEFORE THE ARSENALE

四十百



白蠟石の材を以て精巧に彫刻したるあり又有名
 今尚は是所は存在し尋ね訪ふ人又多し閣龍氏の記念碑は氏の名ととも美麗なり
 今同氏が略傳を聊か述べて親愛の児童諸君が精神を誘起せんと欲す
 閣龍氏は今を去る四百四十九年前誕生せらる氏の父は世も賤しき牧羊の
 龍誕生せらせし家屋あり
 叢ありし旧屋中は今もまは
 地中海の繁都也貿易通商
 盛なり当港堅固の砲臺を
 設置し以て本國の海軍場を
 供したり当府は往昔最繁の
 獨立府にして富家又豪商家の
 人口十有三万余
 熱那は畢撒の西北位鐵路八十英
 里余熱那の海濱の要港ぞ

VIEW OF MOUTH OF MOUNT GENIS TUNNEL. 六十百



終つて西班牙國は流寓ヘルゲナント王に謁し
新世界の事を説く。此時王妃イサベラは
氏が數年の経験と其篤志をば嘉納して
大船數艘と巨額ある資金を賜ひて紀元後
一千四百九十二年、前古未航の大洋を
西に向て進行しが、數週間一點の
島嶼も更に見當らず。水夫共謀氏を刺して
國に歸らん事を期す。氏は水夫儕は三日間
猶豫を請ふて進みしが、今の南北亞米利加の
中間にある一小嶼、バハ・キキニ等を発見す
此時三船一聲、唯陸々と呼りつ
氏の面前に叩頭し、不敬の罪を深く謝す
氏はバテラに乘修り、西班牙國旗を携帶し

直に島に上陸し、天を仰ひて上帝を感謝し、深く喜びの心を表し、其島に
接吻したり。次で又亞米利加本土に上陸す。氏は喜びや如何あらん。讀者宜しく察すべし。
此亞米利加發見は、爲めは萬國形勢を一變したり。万民が開明進歩の一段階
大聲山呼し、万歳を祝する時と云ひつべし。亞米利加州に主人あり、其船を見て大なる
鳥と思惟して恐怖せり。土人中には金塊を所有するもの多くあり。西班牙水夫の一人は
斧の柄のなきものを以て、四オンス余の金塊と貿易したり。其他尚ほ利益を占むる大なりし
閣龍氏は歸國して、王に其由復命す。王氏の苦心勤勉を厚く賞し、至ひけり
先き、公氏を嘲りしホルトガル人、西班牙人、己の無智を悔悟して、氏の英名を尊稱す
其後、公氏は三航し、歐洲諸國も激勵し、先を争ひ渡航せり。然るに公氏は不幸にも
讒者の爲め、冤を受け、罪人とかり病没す。實は一千五百零六年五月廿日なり
其時、年齡七十歳。嗚呼、氏は尤も豪傑の経験と、榮譽の経験と、又踏みて
如斯の大事業をなす、縱令冤罪受く、抑も今は非難者なきのみ乎。益々榮譽を大にせり
兒童諸君よ、願はば其英名を欽慕して、宣布鑑み給へかし。



佛蘭西第二の都會たる里昂府より著き得べし
 佛蘭西第二の都會たる里昂府より著き得べし
 米蘭はスサの東方へ鐵路一百四十四英里
 本府は以國の北部より第一等の都會也
 人口二十四万余・古代歴史は著明なる
 名所遺跡多くあり・圓形外郭圍繞する
 凡そ五英里半あり・十有一個の城門あり
 街衢佳麗就中・コルツといへる街林は
 小巴黎と異名して・商店其他百事みふ
 佛都巴黎と大差なし・建築莊大夥多あり
 一々茲に記載せす。

威内薩府之記
 當府は米蘭の東方へ鐵路一百九十五英里



スサ府之記
 スサ府は熱那の西北方一百二十五英里余
 亞尔伯山下の小都會人口僅々五千余
 蓋し此府は佛蘭西と交通するの要路にて
 山嶺峻峻便かばず依て近年モンセニ
 山底を判り至大なる陸道作りて瀛車通じ
 三十六分時間にて佛蘭西國へ入り得べし
 長さ十有五英里余起工せしより七年の
 星霜を経て竣功す此事業をば發起せしは
 最初伊太利國をせど中途に佛國助力して
 漸く成就したるなり是を近世世界取中
 四大事業の一として最も名高き工事あり
 瀛車陸道を走り出で一百五十英里にて

STREET IN VENICE.

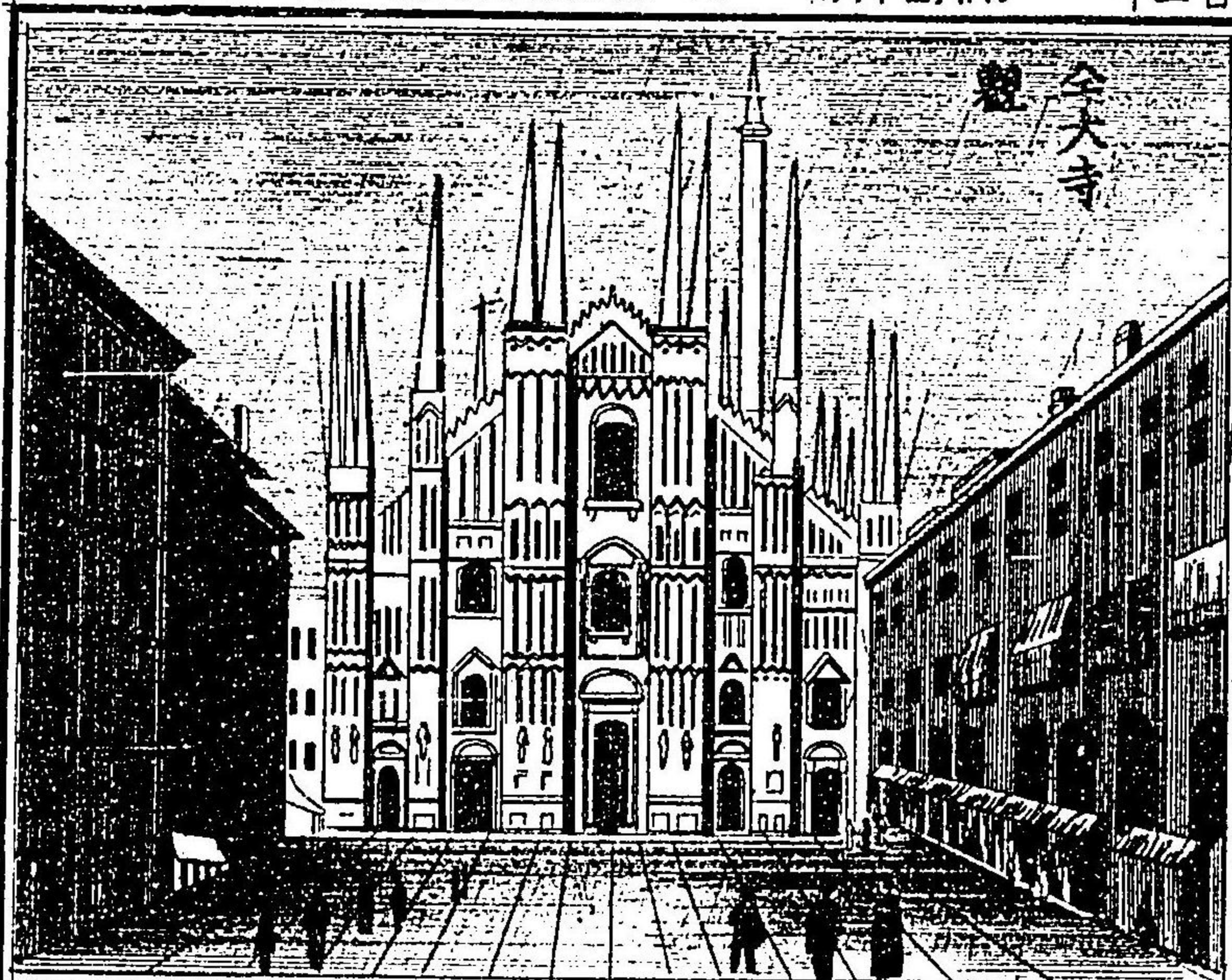


スニエツ
景ノ街市

當府の人民終身中・田圃苑林一も見せ・世を終る者多とす。
○古政治堂の結構は・甚た偉麗宏壯まり・三層樓の造りよく・古色靄然愛すべく
廣苑庭池の設けあり・草木花を散植し・遊歩場としたりき・其堂内の飾り附け

畫續綺縵を以てせり・堂傍の牢
獄あり・河街を跨け橋を架す
蓋し其橋廊として・古政治堂と
連接す・諫牢今は廢棄して
更且用ひず此橋を・長恩橋と
名稱し・囚徒の重罪犯者をは
右橋上より引出して・斬首絞殺
せしと云。
○古政事堂の近隣に・サンタマリコ
大寺あり・千百年の時代より

THE CATHEDRAL OF MIPLAN.



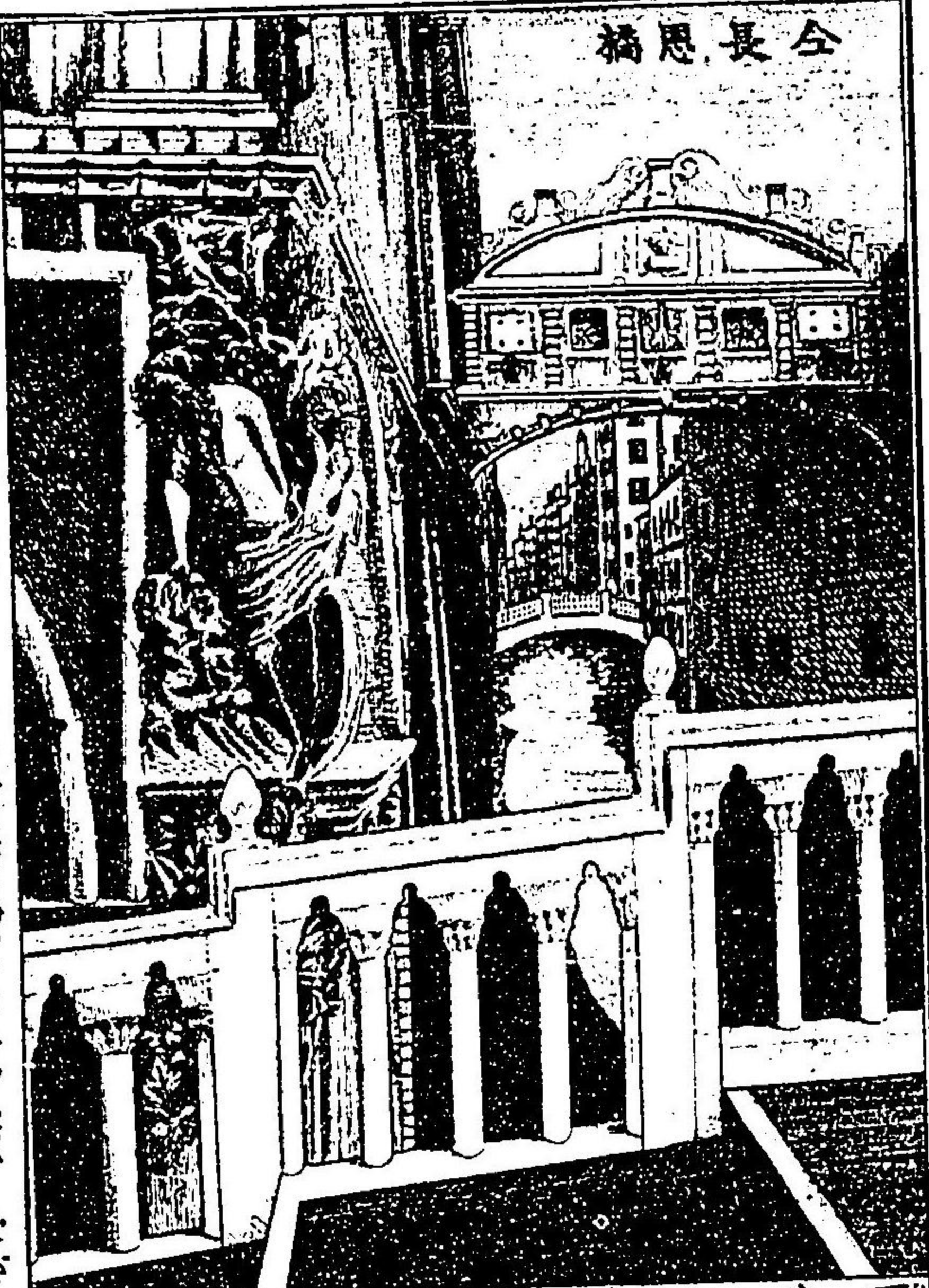
聖
全大寺

聖德的海濱したる・一島ある都府にして
人口十有三万余・地中海の要港あり
貿易最とも繁昌す・府の名産は玻璃鏡や
玻璃のモザイク諸什器・金銀細工具細工
写真眼鏡等と多す。
當府の市街は世界中・又と類なき奇街あり
街衢は縦横河として・一の河街と名をべし
各家の門口一二段・石階ありて上下しつ
小艇を乗り往來す・左上の番を見て知り玉へ
其船各所を繫泊し・賃金を取り往來す
恰も我國車夫共が・客待するは異ならず
河街中の橋の數・三百七十八ありき
概ね石にて造作す・如斯の都會申へ



起工せしが今尚ほ完全竣工せずといふ
堂内柱壁総てみま大理石を用ひたり
上宇は総て金色の玻璃を以て嵌鑲し
種々の繪畫を彫刺す古銅の戸あり精緻あり
創工せしより費せる金額七百万弗余
堂前一の鐘楼あり高さ一百メートル余
方形疊み起したり楼内傾斜の階ありて
登るは三十七匝り漸々鐘下は遠すべし
是より四方を眺むまは亞德的海は前面に
アルプス山は環せらるる当府の衆島水波中
一百十七浮み出て景色甚だ絶佳なり
○寺の前面最と廣き區域を存し傑閣は
其三面を圍みたり。人路は様宇の下を行

全長恩橋



右まで伊太利相筆す。蓋し當國往古羅馬國の時代より世界各國歴史上
關係大なり隨て記する事も又多し矣。故に四巻は當國の紙數増殖又勉め
緊要事件は詳記せり。讀者宜しく意を留めて。誦讀玩味せらるべし。

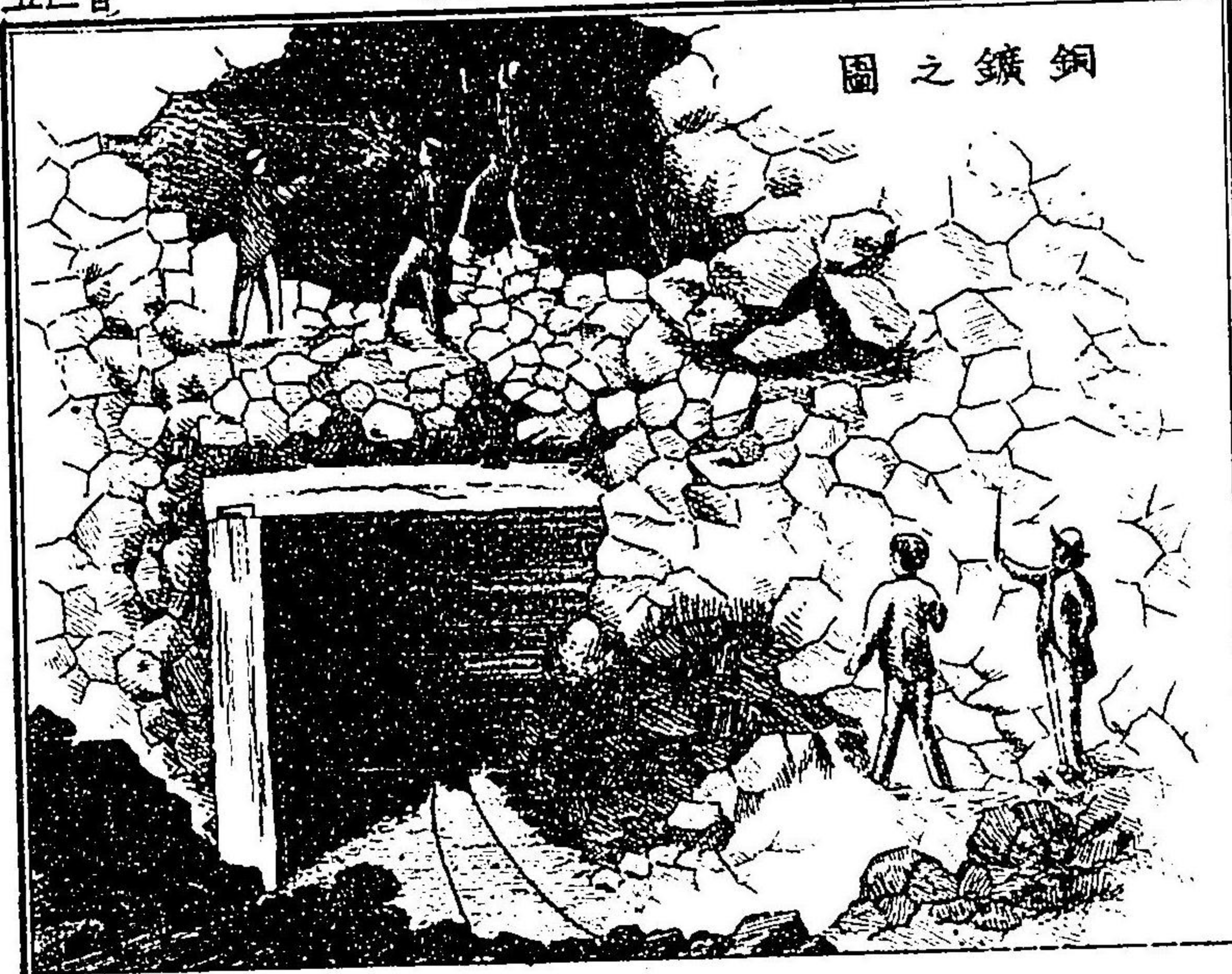
百貨の市店駢列す。前にも陳述
せし如く舟を以て車に代ふ
故に島上路あるも僅か一
人往來の便を為すのみ往々
二人駢行にべからず。然りと雖も
堂前。府中第一繁華の地
種々の商品備り。男女互に
携へて。市店の前を彷徨す
夜も瓦斯燈點火せり。白日も又昏
まらば。誠な愉快の樂地なり

埃地利國之部

埃地利は歐洲中五大國の一にして北より西は日耳曼の聯邦各地に連り、東北魯西亜に隣接し、正東土耳其其と境して、南は伊太利邦國に隣りて臨む其海は亞得亞的海といふ面積二十有四方、九百英方里あり、人口三千八百萬蓋し此國古より教種の邦國合併し一國とある故、域内人情風俗や言語及び進化の度各地自ら異同あり、地勢本土は山多く其間膏腴の原野あり、千ロール州の如き地は、亞爾卑斯山脈分派して、蟠屈峻峻不便なり、國民一般旧教を信奉する者多とす、政治は君民共治にて自由の憲法創立す然りと雖ども風俗は一般固陋旧弊を洗滌するに鈍くして、君主專治の陋習は未だ全く去らずとす、其都人士に至りては温厚閑雅の人多く、教育學藝盛んにて文華自然に開け行、他國に譲らず殊に彼の兵馬精銳強にして、歐洲中名高き氣候温和と當を得、土地は総体肥沃し、山林野毛能く繁茂り、野産物ば饒多とて産物甚だ多とす、今其要を掲げん、小麦、稻米、大麥、裸麥、燕麥、煙草や

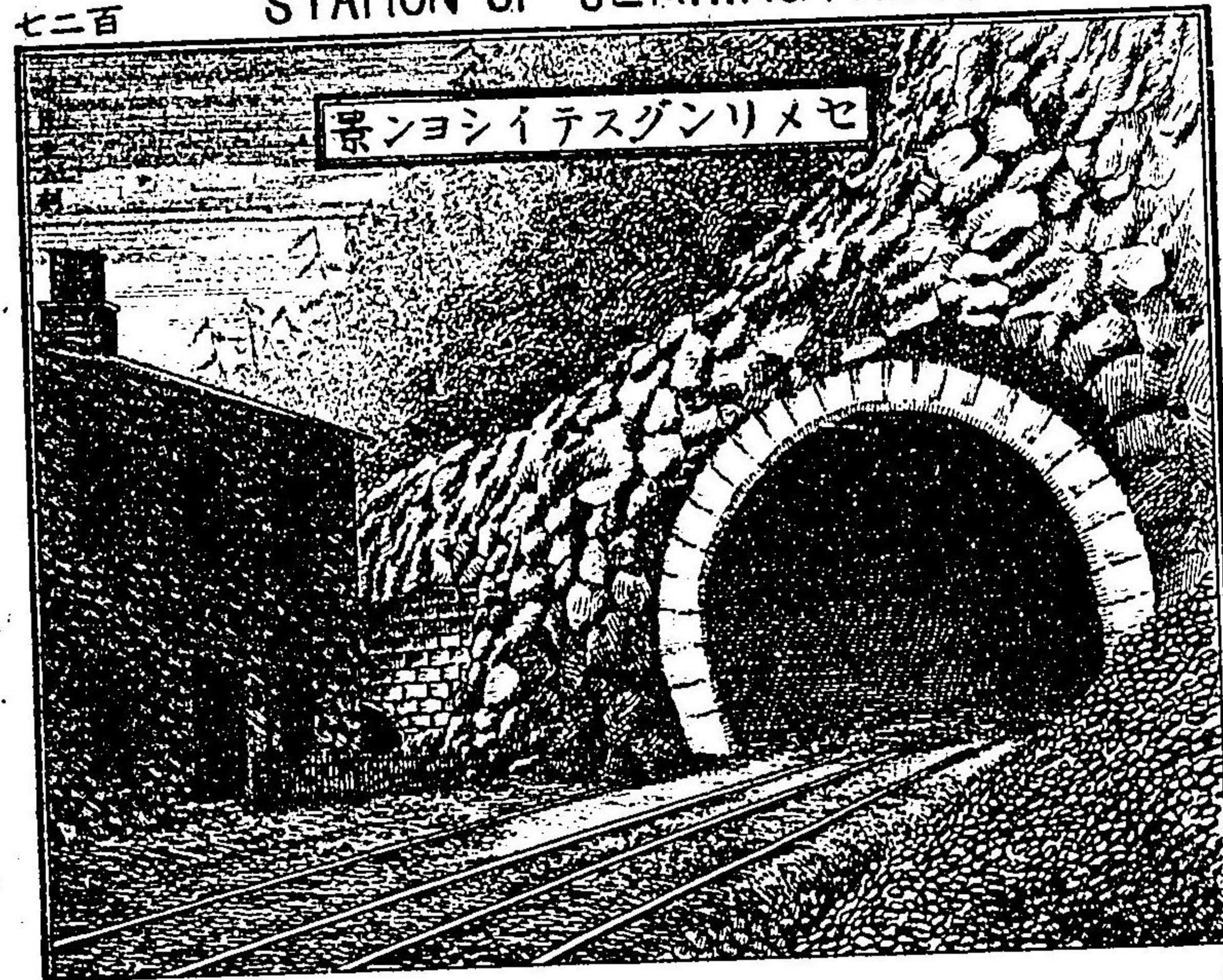
COPPER MINE

銅鑛之圖



大麻、亞麻あり而して、鑛山派に富める事、歐洲中の第一とす、至大の屬邦匈牙利國、鑛山中は良質の鐵と石炭夥多あり、さきども運輸不便にて、産出少く遺憾あり、埃洲中の本部も、石炭多く産出し、鐵鑛も又多けまど、性質堅く熔解の用は甚だ難く、之を又一の欠点なり、其他銅鑛又多し、此國沿海少く、貿易上の要港は、トリエストの一港のみ、陸地の貿易多とす、獨乙と通商盛んにて、土耳其國又之に要ぎ、多瑙河を上下して、運漕最も便利なり、之に次げるは魯西亜にて、英佛二國へ直接の

VIEW OF THE STATION OF SEMRING PASS.

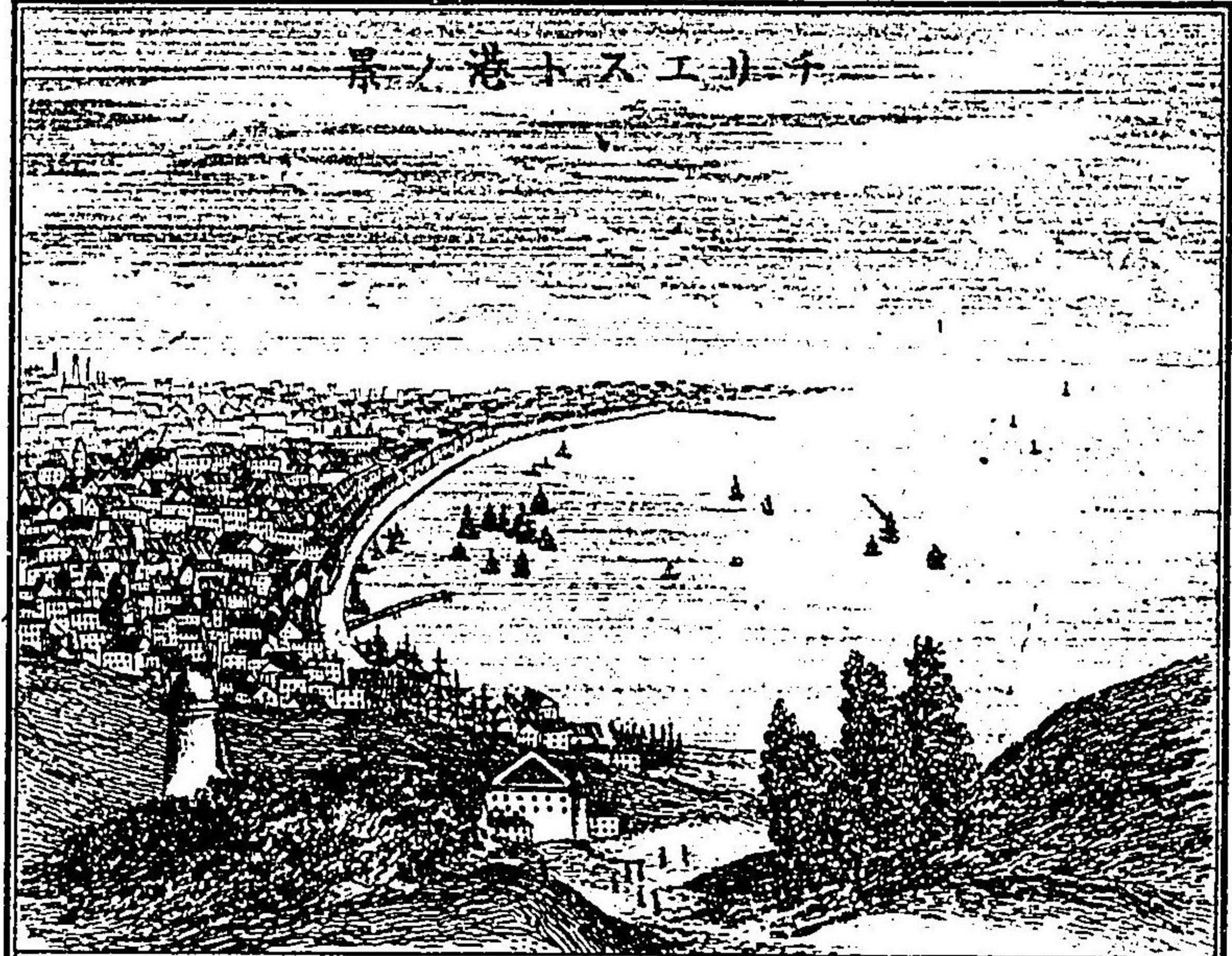


景ノヨシイテスグンリメセ

七二五

地中海の要港と定期航海線あり
 府の海岸は新築の家屋軒を駢列し
 街衢佳麗又熱鬧す旧の市街は海岸を
 遠く隔て家古く其觀甚だ華美ならす
 当府に住する人民は以太利種と希臘種
 猶太種の三種とす言語は伊太利語を用ゆ
 製作場は造船廠・砂糖並に製草場
 最も盛大なりと知す
 此地夏月は暑氣酷く殊に列風多とす
 又秋冬は北方の山風強く吹風し
 寒暑甚大差あり
 維納行鐵路之記
 チリエト港を發車して走り進み行程は

VIEW OF THE HARBOR OF TRIESTE 六二五



景ノ港トスエリチ

貿易以前は無数あり然るは近年増進す
 又東洋諸國へ通商は従前更なるかりしが
 近年國民製作と貿易上と熱心し
 盛大なる事を期す
 チリエスト港之記
 チリエストの要港は亞得亞的の灣にあり
 威内薩府と對岸し日夜郵船往復す
 海上八十英里あり当港人口七万人
 日耳曼及び歐洲の南部各地と貿易上
 欠くべからざる要港と猶ハムホルクが日耳曼の
 北部に於けるが如しとす故に諸國の船舶は
 港内日夜輻輳し帆檣常々林立し
 通商甚だ盛なり又亞非利加や土耳其國

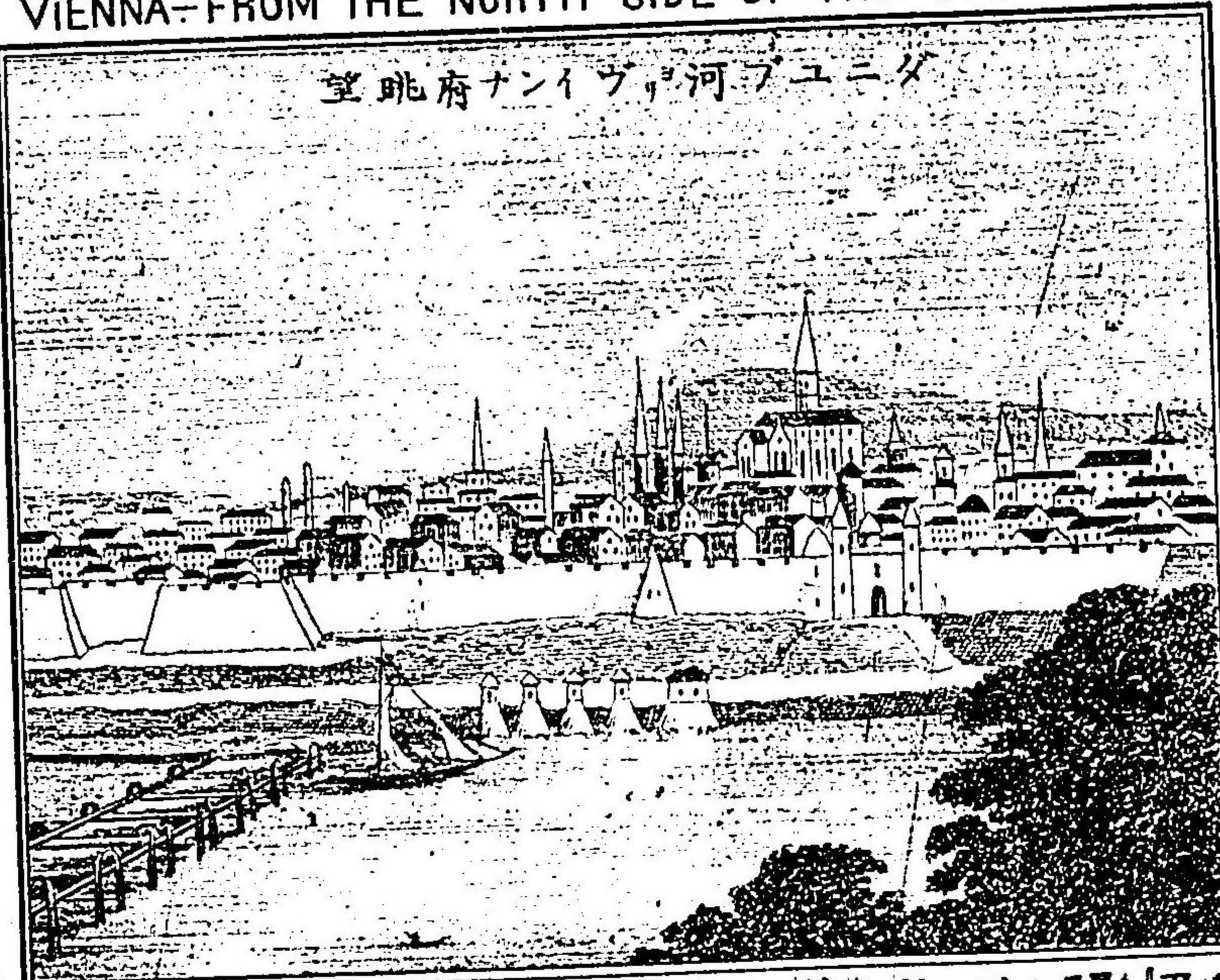


峻拔なる所あり。尚も進めば岩石の
 筆を束ね、如くみて、天に向ひつ攢立し
 剣抜弩張眼をさす。岩間翠林ありありて
 林間岩石元立し。或は駢立壁をか
 頽れて峰嶽たるもあり。或は歌ち絶航たり
 谿間行路塞きかば、乍ち洞を飛び入りつ
 出れば背後に奇峰あり。己は両石對峙せる
 谷に至れば高梁あり。雙虎の踞超を過ぐ如し
 嶂壁乍ち相分れ。鐵路縹渺其腰を
 走れる時は規の如く。回り々々又時よ
 弓の如く彎曲し。或は線状直行し
 谷陥れば石橋ありて。弧形の三層四層柱
 累架し。恰も雲上の廊を渡るの思あり



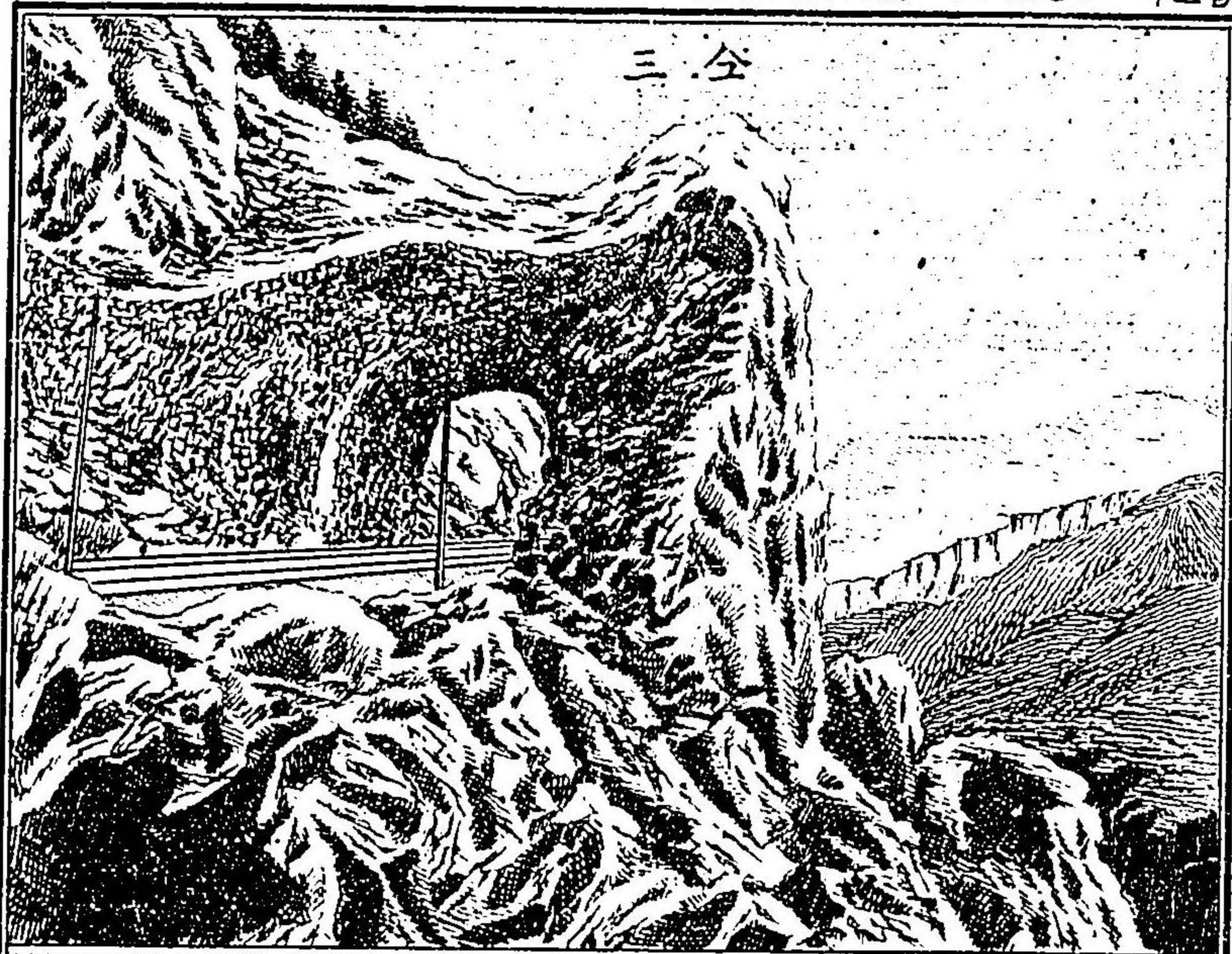
鐵路は漸々上り阪。山巒層復迂回して
 八十三英里を行時は。ライパン驛は著す。八
 そきより進む二百余里。セメリング山の麓は著く
 扱て此鐵路の行程は。山路多く隨て
 山水明媚の勝致あり。車窓左右を眺むまば
 奇石怪巖凸出し。松杉鬱々叢々
 奇觀を呈す。諛列車。進行すまば乍ち又
 墜道有りて。闇入す。暗黒八分時間余
 出きは洞口駅ありて。人家僅々六七戸
 是れセメリング 停車場是處を發せ。諛鐵路
 愈峻險。岩石の上を自由ニ飛行しつ
 疎々ある樹叢を打眺め。涼爽乎たる勝を見る
 峯頂面々一として。危険なる場所ま

望眺府ナンイヴ、河プユニダ



巴黎府を垂心と爲す。閩府を内郭外郭の二區を劃し、一更に又外坊以て圍繞せり。郭坊中の廣濶地は遊歩の苑を供たり。佳木芳草、嫋然と榮を競ひ、清瀝は幽雅の勝境多し。とす中部内部の市街は、旧屋多し、然れども奕世建築美ある故、豁然觀る可きもの多し。セントスチーフニス寺は、府の中央に位して歐洲中、第三の高塔直立地平より四百六十五尺あり。國王宮殿美觀あり。議事院書庫は、大學校藏書院は、博物館、何れも大都の偉物あり。其禁法は、英佛と大同小異故、復た

三全



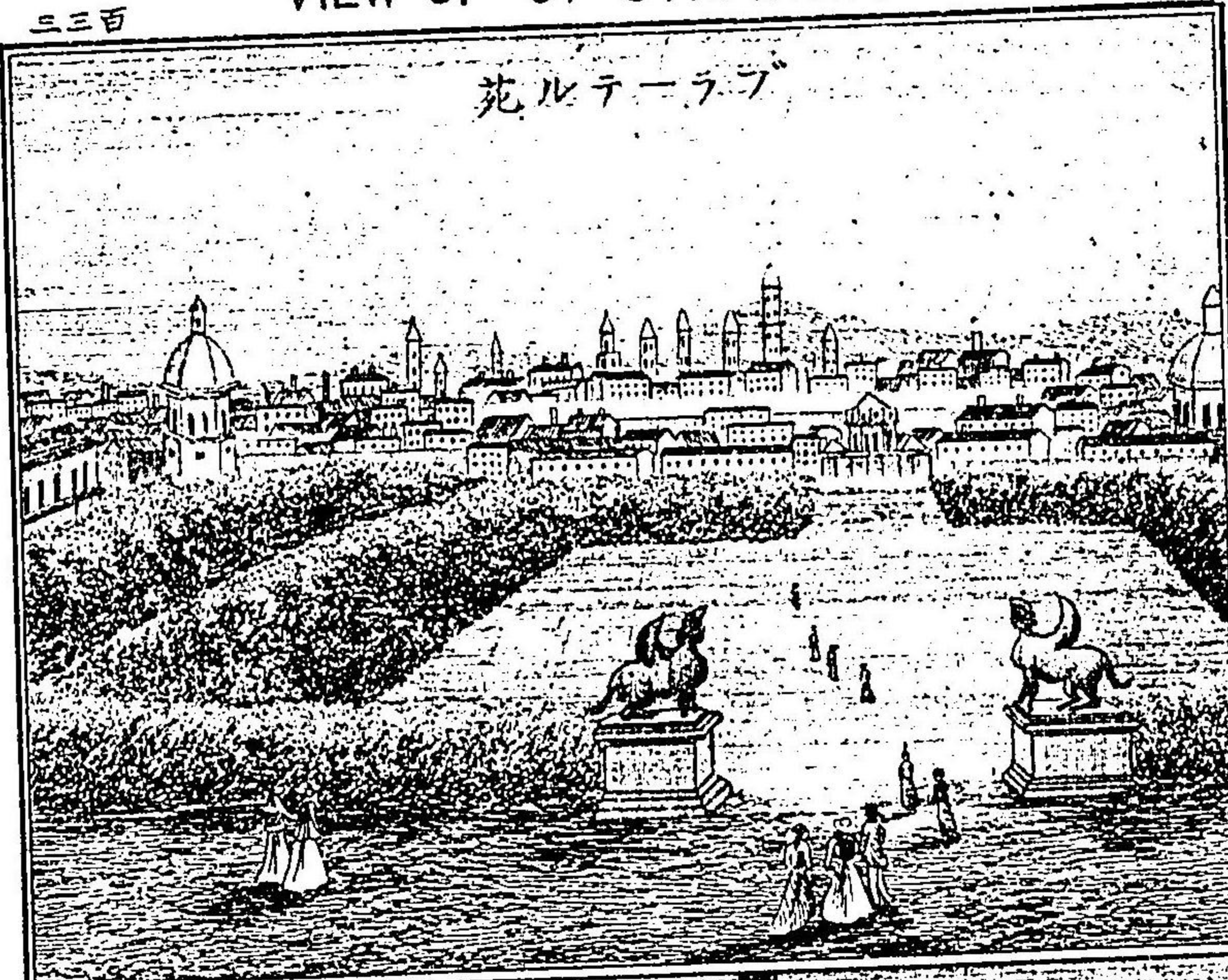
本月繪

忽然洞に入る時は、驟に暝し、又曙けり。三洞並びて、皆同く、山上古城を敬立たるは、天柱折れ、如くあり。時は高さ千尺の上を走り、或る時は、大道絲縷を拖けるあり。豆人寸馬の往來を、遙か眺むる場所あり。流車の駛走を、從ひて、奇景の眼界を、湧き出る名狀、應接不暇。一時、間行山險を終りて、降れば、平野あり。チリエスト港より、走る事鐵路三百五十四英里。早維納は、着る急り。維納府之記。本府は、奥國首府にして、多瑙河に瀕たり。人口八十四万あり。其繁盛ある日耳曼の伯靈府に匹敵し、莊麗なる事、佛國の

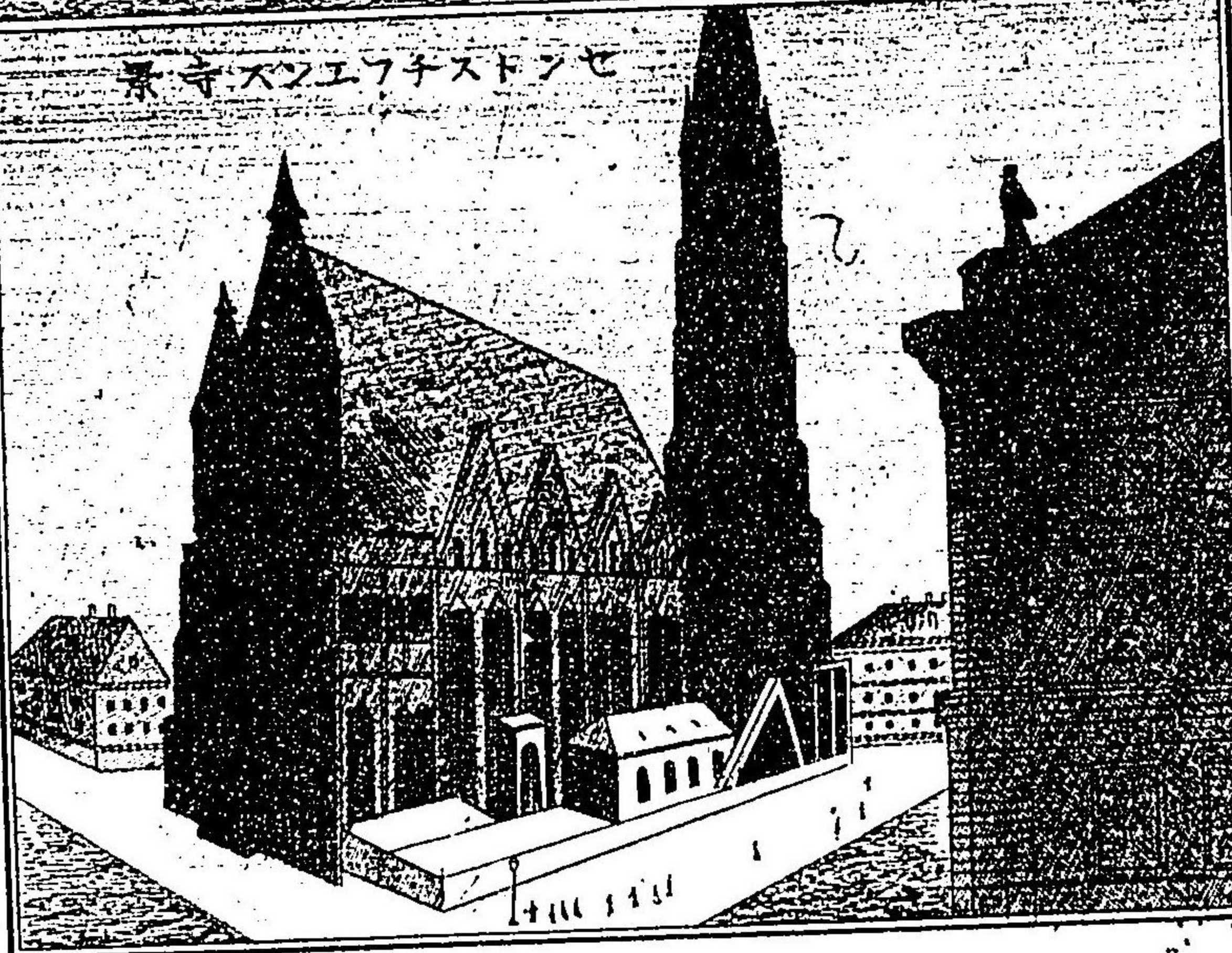
PRATER PARK
VIEW OF ST. STEPHEN,

三三三

苑ルテラフ



景寺スツエラチストンセ

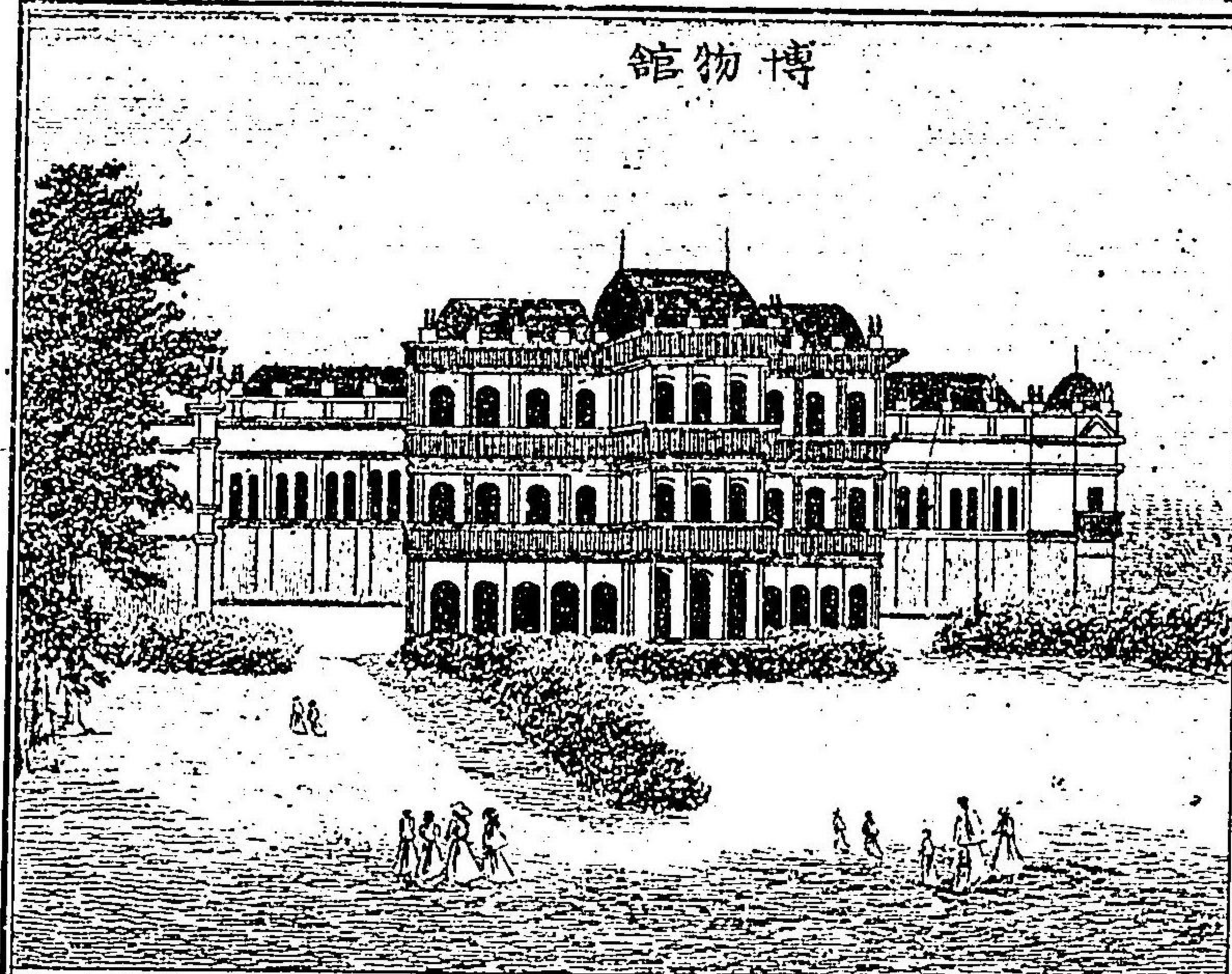


五月館史

THE EXHIBITION VIENNA.

二三百

館物博



五月館史

逐一茲は記載せず。
此地は製作盛んにて、絹帛錦繡綾羅の類、紡織麻布の美あるも、線縹の緻密なるもあり、金銀モール、羅紗及び、婦人の肩掛シヤウエルヤ、毛布悉皆又、木綿・紡織華褥を競争す、陶器玻璃器は抄紙あり、花紋紙等は優美あり、當府の貴族や豪家、奢侈の風俗日は進み、月々盛むる行はれ、衣服什器の類杯は、新陳代謝、際限あり、総て當府の人民は、發明力は乏しきも、新奇は侈り易く、製作の模造力には巧みあり、輒今類り、製作の術を究めて貿易も、熱心する者多くあり、期して待て、煥國が、倍々富強は進めるを

WRESTLING OF SWITZERLAND PEOPLE.

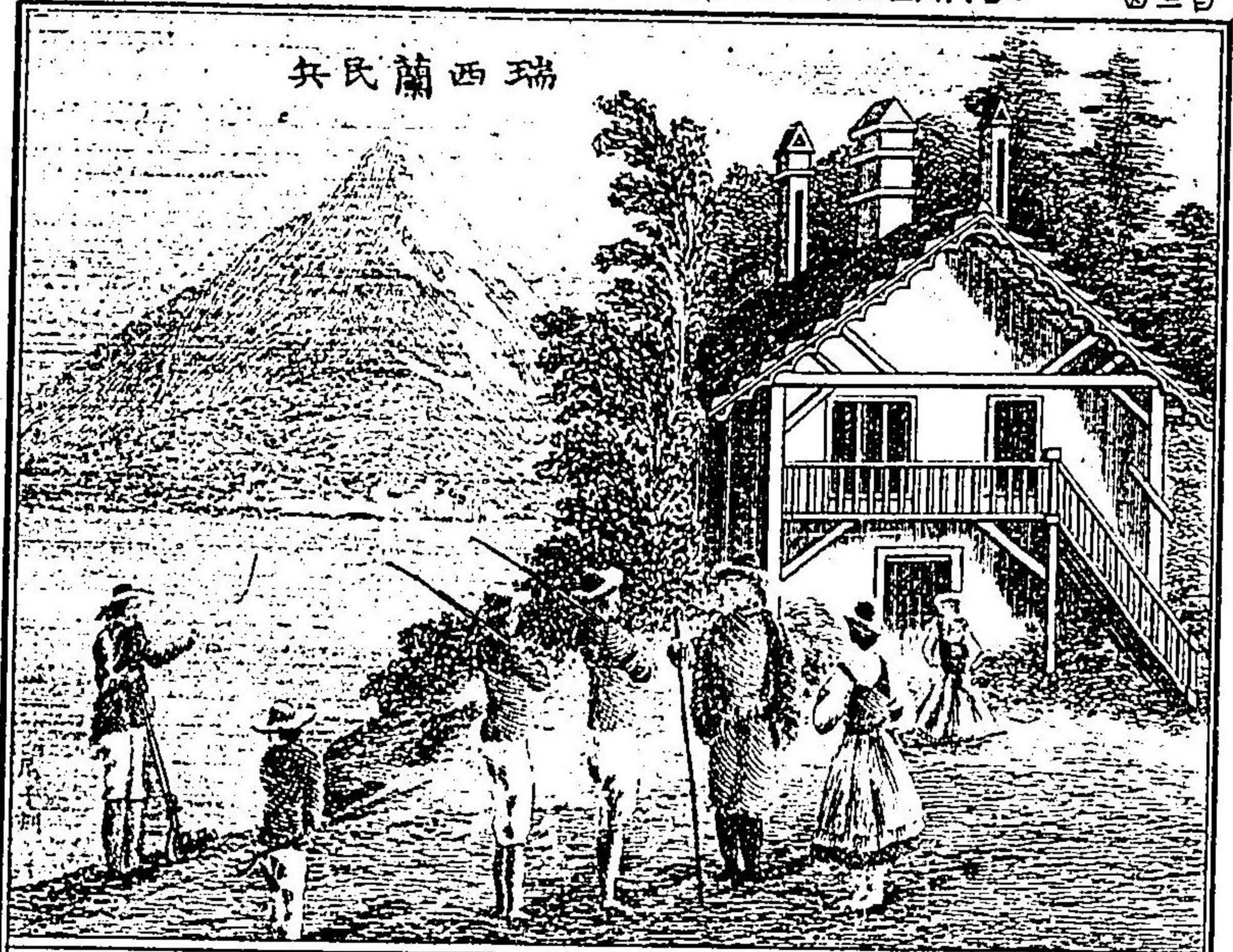
瑞西蘭八相撲



自由權利と國民が義務を守るの要具たり
 當國人民三章の目的を建つ其条は
 自國の權利を擴張し他國の權利を妨げず
 他國の妨を妨ぐり以上の三條根據たり
 全國陸軍二別して同盟軍と民兵とす
 是れ又宇内の美事と同盟軍は二十歳
 以上三十二歳以下兵事は耐ゆる男子たり
 民兵三十三歳より四十四歳の男子とす
 凡そ國民たるものは護國の義務を有する者あり
 諸洲に於て常備兵置く事堅く禁じたり
 此國男子は八歳より小学校にて歩騎術や
 其他の軍事を學習し自ら奮て兵數は
 加はり無上の榮譽を一朝他國と軍事あれば

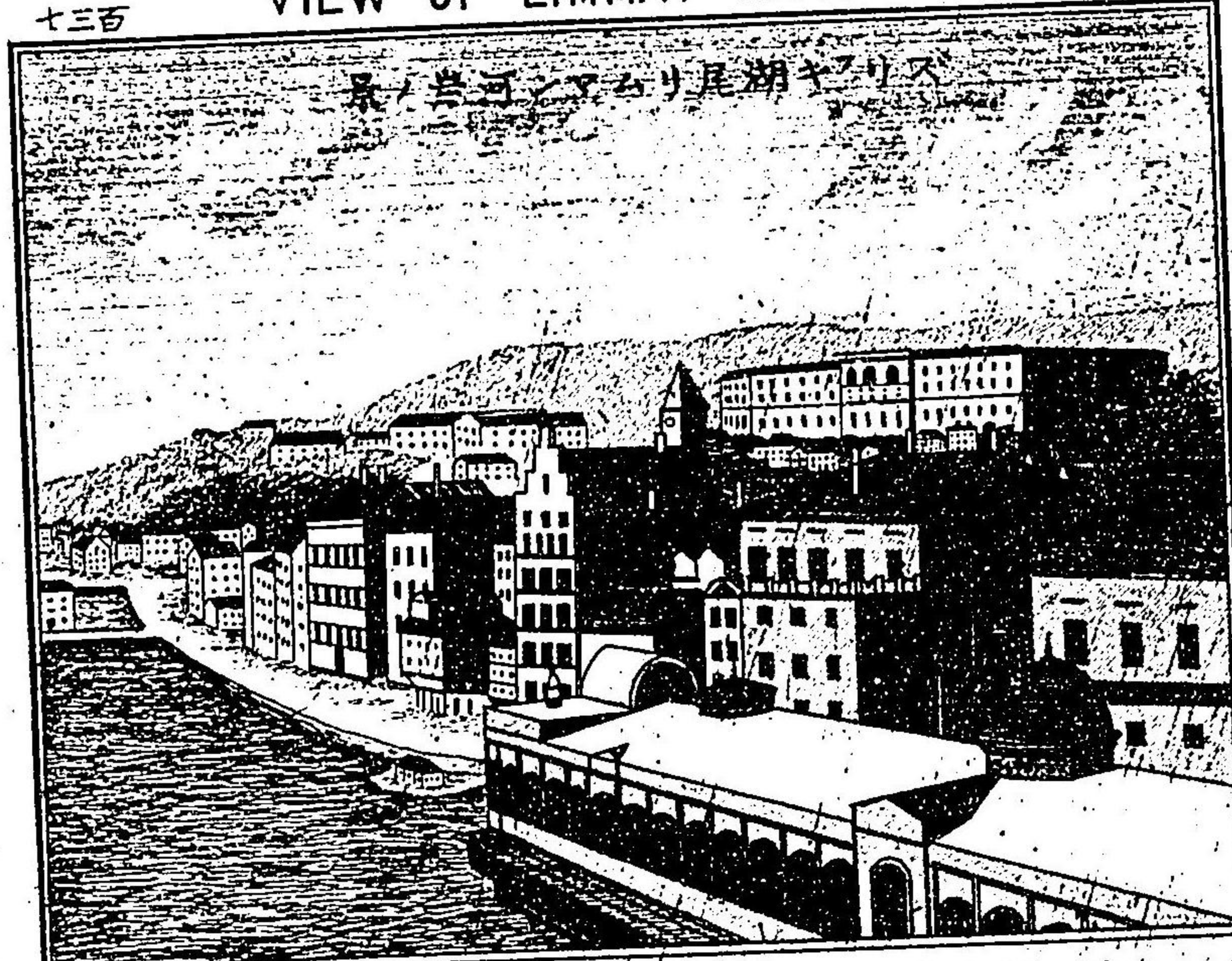
MILITIA OF SWITZERLAND.

瑞西蘭民兵



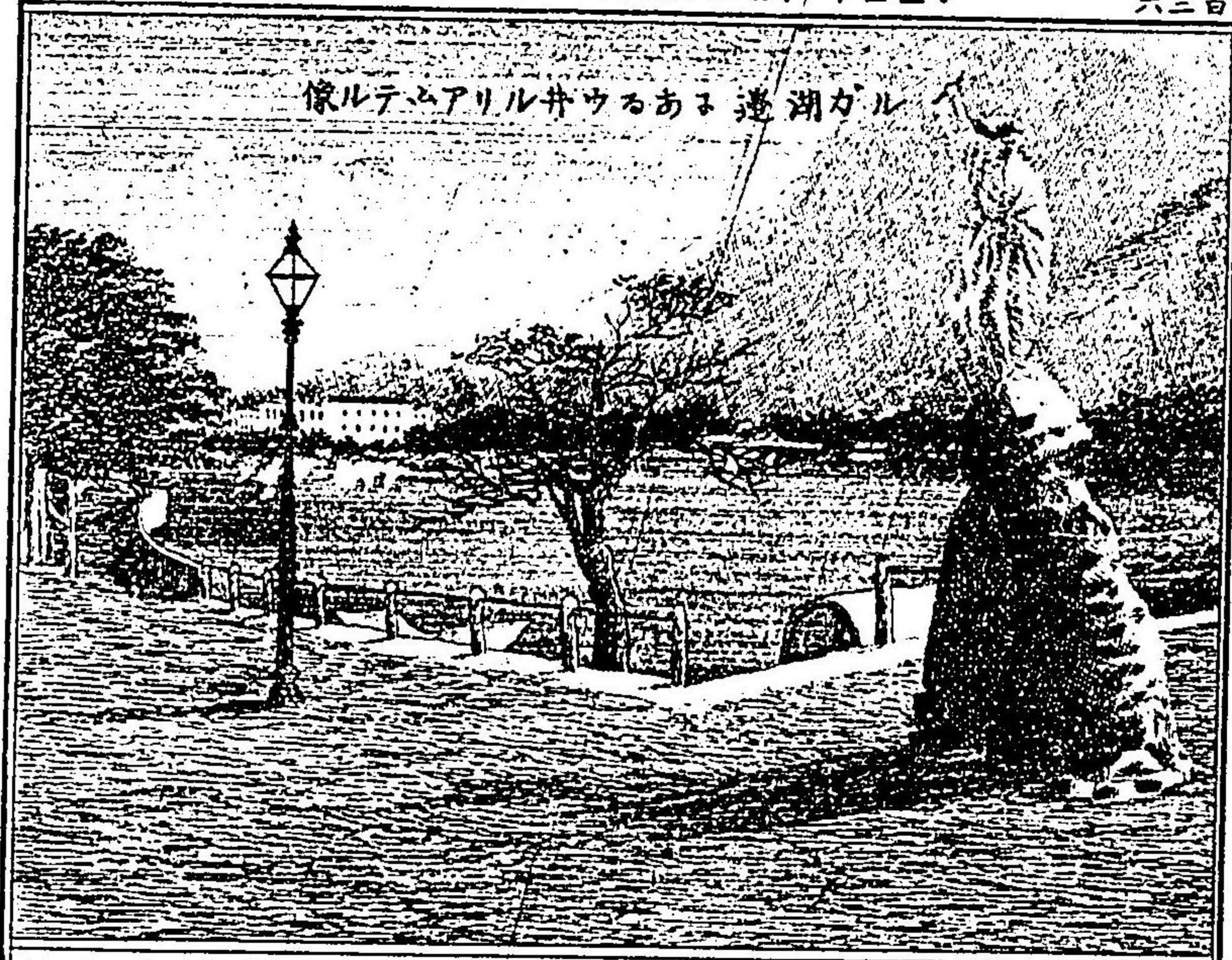
瑞士國之部
 瑞士國は歐洲中山脈多き邦土にして
 四顧峻嶺の高峰を以て環繞し居れり
 全國三分する時は其二は略く山地にて
 南部及び東南の諸洲は山岳重疊す
 其境界北方は日耳曼國あり東方は
 奥地利に連りて南は伊太利に交接し
 西佛蘭西に隣接す其面積は終かにて
 一万五千九百五十萬人口二百六十七萬余
 當國民の宗教は耶蘇新教を首とし
 カトリック教之次く政治は合衆共治にて
 大統領を撰擧し國是を定む憲法は
 今より三十七年前創建したるものにて

VIEW OF LIMMAT RIVER.



スリツキ府之記
 オトワイチはフーヤ
 埃都維納發車一て西南方子進行
 シミニチエ府車一して日耳曼國の小都也
 リド埠頭流船乗・コンスタンチン湖を渡り
 ロマンホールは着船・再び流船を乗り移り
 航行すればスリツキ府・維納府より當府まで
 行程船車を総計一五百四十英里あり
 ○當府はコンスタンチン湖・南首にある名府にて
 人口五万八千餘・絹綿紡織盛あり
 鐵器の製作抄紙場・點々市内に散見す
 ○當府に建つる大學校・頗る宏大名譽あり
 ヨウラ一ヨウラ
 歐洲諸國の學士輩・來學するもの夥多あり
 男女母子を脇挟み書を携帶一市街をは

IMAGE OF WILLIAM TEL.



死力を盡して防禦する・火災を防ぐは異をうず
 各家に軍車を講す故・必ず一銃一戎衣を
 備へざるもの更よか・他國の軍勢攻め寄せば
 民皆一時に兵となり・壯丁先鋒相勤め
 其老たるも四支未だ・健かる以上は兵と化す
 婦人は糧食相辨し・創傷者をば扶くあり
 一國一人上は於き・権利を言する者あらば
 死して耻辱を雪ぐあり・故に其國小あれど
 強大國の間は立ち・富國強兵名高し
 國の産物又多く・牛羊乾酪絹帛や
 時辰儀並に金銀の・飾具多く輸出す
 山間平地豊饒に・到る處善く開け
 穀類夥多産出す。

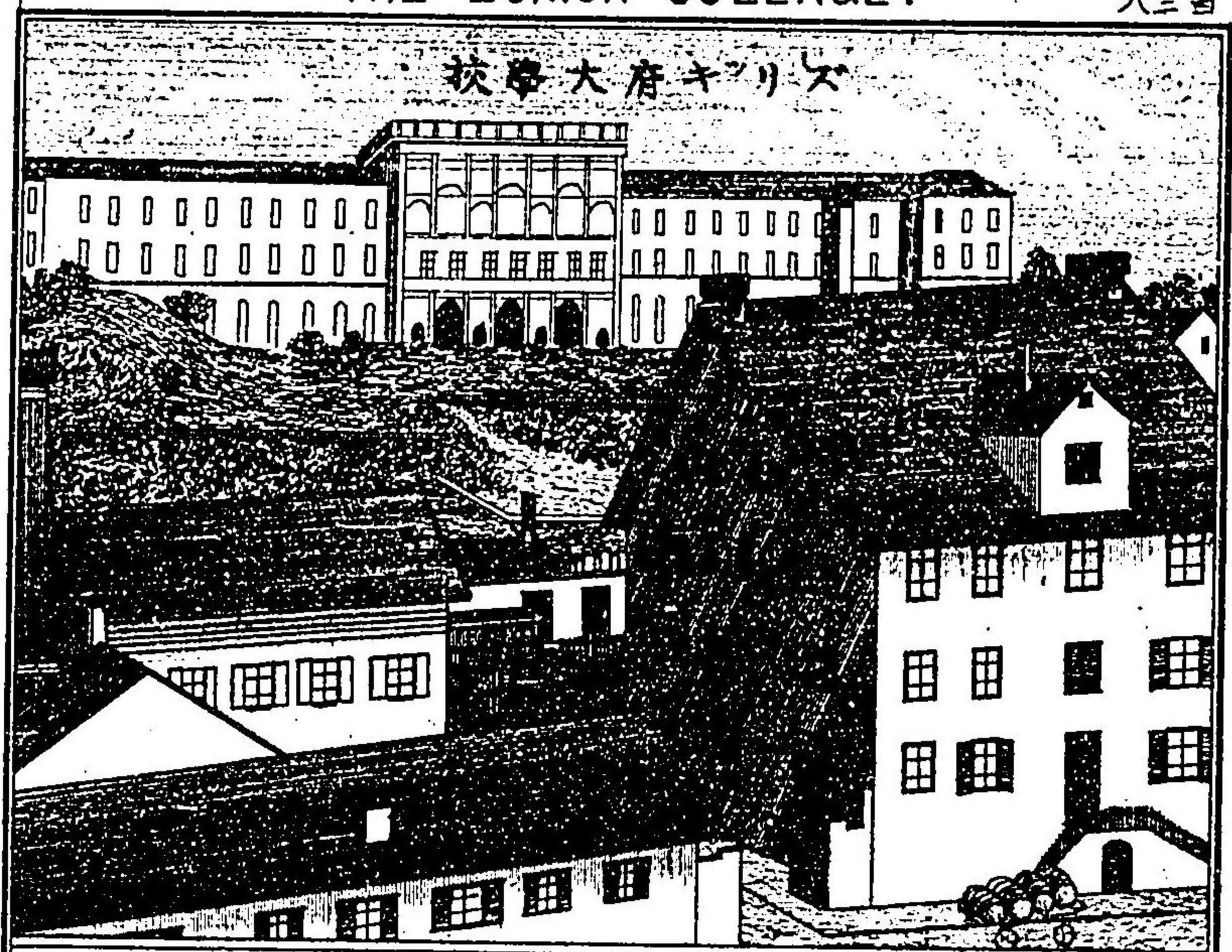
VIEW OF LUCERN TOWN.



景府シセル

當府はウルアルスター。湖水に濱し人口は
 一万四千余人あり。市塵清潔粉壁は
 雪の如く會堂の。十字架高く矗立す
 湖光は照りて掩映す。湖水を環す山峯は
 皆奇峯にて倒きに。水は鑑し風景は
 畫くが如く。湖中を分ち流れ行。一碧澹然此河は
 長橋を架し西岸の。市街を連る北岸の
 停車場あり虹影は。水は鑑み前面の
 湖山は對す南岸は。大小旅館聯立し
 街前樹を植し湖岸は。緑陰ありて清楚あり
 道路磐石かけれども。平坦なる車碓の如く
 石を砌し砂を撒し。塵芥一片見當らざる

THE ZURICH' COLLAGE.



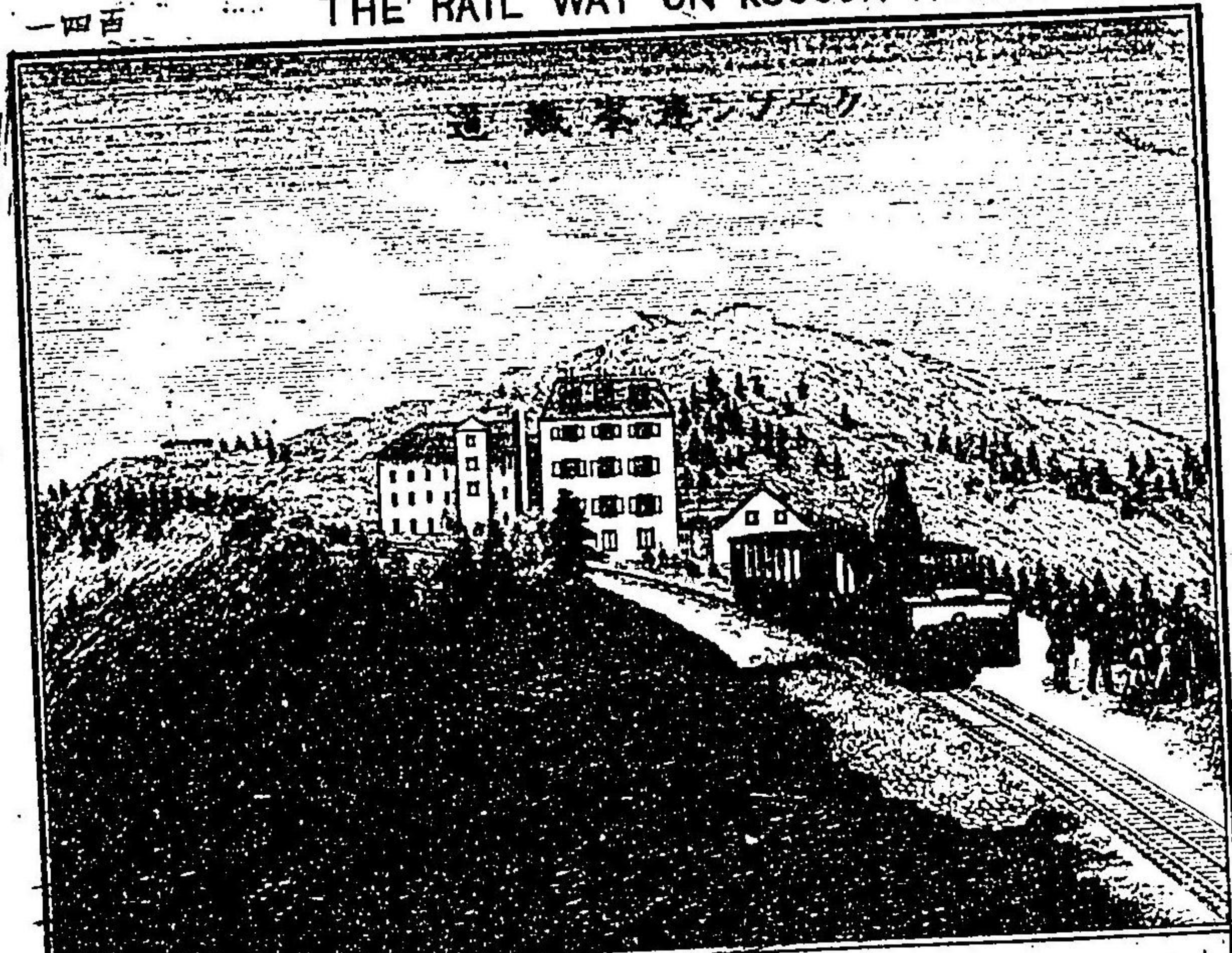
吐月館史

校學大府キリス

誰か尊稱せざらんや。
 山水遊觀之記
 此國山水秀羨ある。歐洲中の最まりて
 各國雅人陸續と。踵を接して杖を曳
 スリツキ府より瀛車を乘り。西南方へ駛行する
 二十英里余まりて。ルゼン府に着すべし

徘徊するを見て以て。文學隆盛あるを知る
 兵學校の設けあり。近郡兵士を訓練す
 蓋し前もも述ぶ如く。常備軍のあきを以て
 鎮臺營舎も非れば。學校營舎の如くあり
 廣き世界の其中に。軍事に金を費さず
 教育上は多額ある。租税を費し國本を
 培養するは只獨り。當國あるのみ其美ある

THE RAIL WAY ON KOOSON MOUNTAINS.



後にも又一箇あり。此齒輪を以て中條の齒格に入りて轉轉す。以て左右兩輪の力を援くる所あり。傾斜三十度の角をすも猶列車を上下せり。上りには推し下りには之を輓けり而して。工事を費す金額は二百五十万フランク余。此湖岸より山頂まで二万二千余尺あり。當所の勝景國中。奇絶する故談車路を修めて以て游人の。高峰に登りて眺望を快くする爲めなれば。列車の装置も四面に玻璃を張りつめ美麗なり。車賃は一四四十錢驛を發して登りおは。湖水小峯悉く目下よ落つ半腹に及べば一の墜道あり

THE MONUMENT STONE.



紀念石は府の名所。長さ二丈六尺余。此碑は名高き佛蘭西の。千エロリー宮の戦争に當國人が節死せし。八百人の義士の爲め建設したるものぞり。湖岸游船棹さして。斜め湖水を乗り渡りウイツナウてふ村に着船。此は數戸の人家あり會堂學校美觀あり。當村は近年設けたる停車場のあるありて。クローソ連峯及びまたケルバートの山嶺に。鐵路達せり。此鐵軌當國はての新發明。上欄に掲げ一箇の如く尋常雙軌の中央に。又一條の鐵路を布設齒格を設けて其上を。轉轉するの仕掛あり列車前伏後軒起ち。二箇の施齒輪前あり

VIEW OF SARNON VILLEGE.

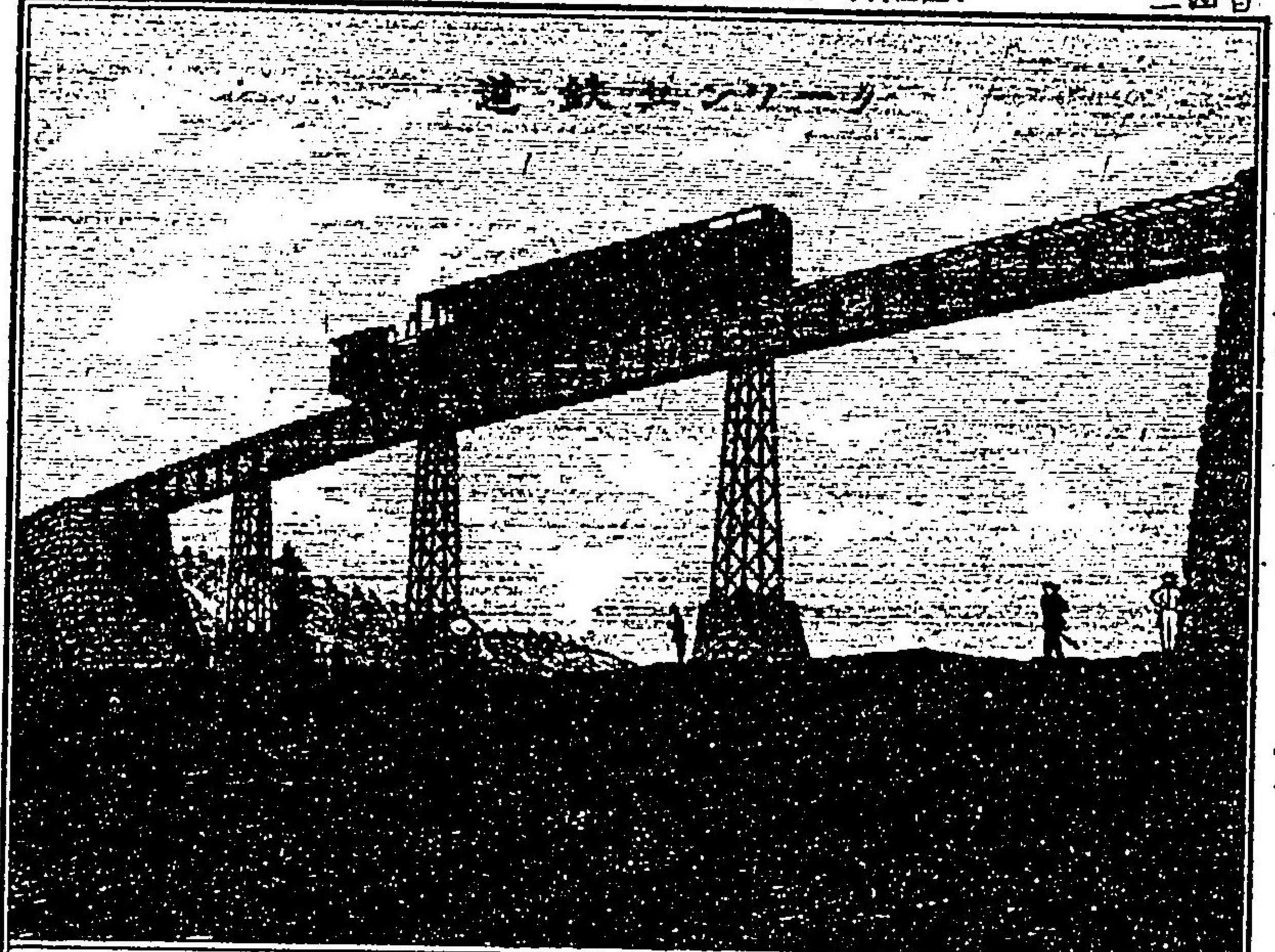


景家人村ノルサ

列車は山下に降りて、前路を履きつ湖を渡り、ルセン府に帰着して、馬車を打乗り西南へ十七英里を走りつ、サルン村に到着す。此地はサルンにてふ湖の、キーキ河は流れ落つ河口にありて家多く、木製なれども美麗にて我國大家に能く似たり。各家の窓中書を讀むの声を聞かざる所あり、以て文武の盛を知る。○扱て此邊の人家は、獵衣を着けたる三人の像を畫き、額面に、最と鄭重に掲げたり。此畫の意味は深く、勇壯義烈の譚あり。左に概略を語るべし。

此三人は當國が、共和政治を開創たる鼻祖なり、一千三百年、時代に當り此國は

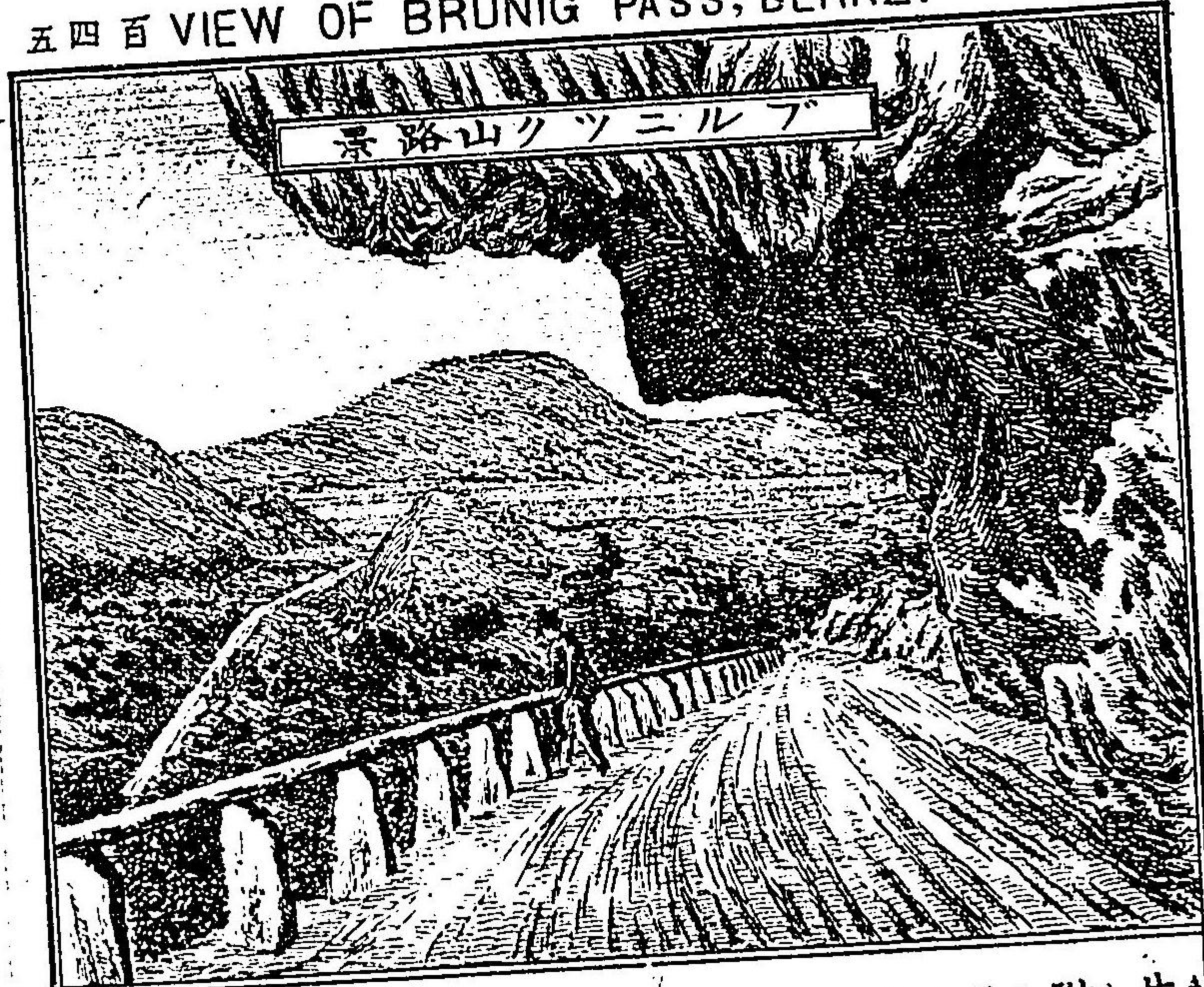
THE RAIL WAY ON KOOSON HILL.



道鉄キソノ

此を出れば其下は、百尺有余の谷ありて、一飛横絶此邊は、山岩壁を削殺し、樹木疎々生植し、前には一の懸泉あり、眼下の湍流風致あり、進行すれば遂に彼のケルバートの巔に着く。此峰頂より俯瞰れば、高峰怒濤の如く立、低巒跳波の如くあり、南方雪色白玉を、抛つ如きはユリ郡の群嶽と知れ西方は、乱峯鋸齒を立てたるは、ベルン郡の諸山あり、ルセルの四湖は前あり、シニケ湖やエケリ湖や、ロル湖東に眺むべし、ロチニ湖やセルチ湖、西方はあり大小の鏡を波濤の中は抛げ、漂せたる如くみて、其眺望の奇絶ある、画も及ばざる風致あり。

五四百 VIEW OF BRUNIG PASS, BERNE.



先づ奸吏のジエスレルをしの、見事射殺して
 附屬官吏を放逐す時機を待たる國民は
 此一報を聞くや否欣び勇んでテルに就き
 日耳曼帝は昔報すウルリムテル氏首長とあり
 日耳曼帝の軍勢と交戦する事六十回
 艱難辛苦を嘗し末一千三百十五年
 日耳曼兵を撃破しつ壓制邪惡の束縛を
 脱して不羈の民となり共和政治をかしたりき
 此時二人の義勇者もテル氏と協力したる也
 三氏の功又偉からずや教百年來今日も
 尊敬するも宜ならずや
 小學校の生徒は右等の歴史を教授して
 腦漿祖先の苦を浸し自主自由と愛國の

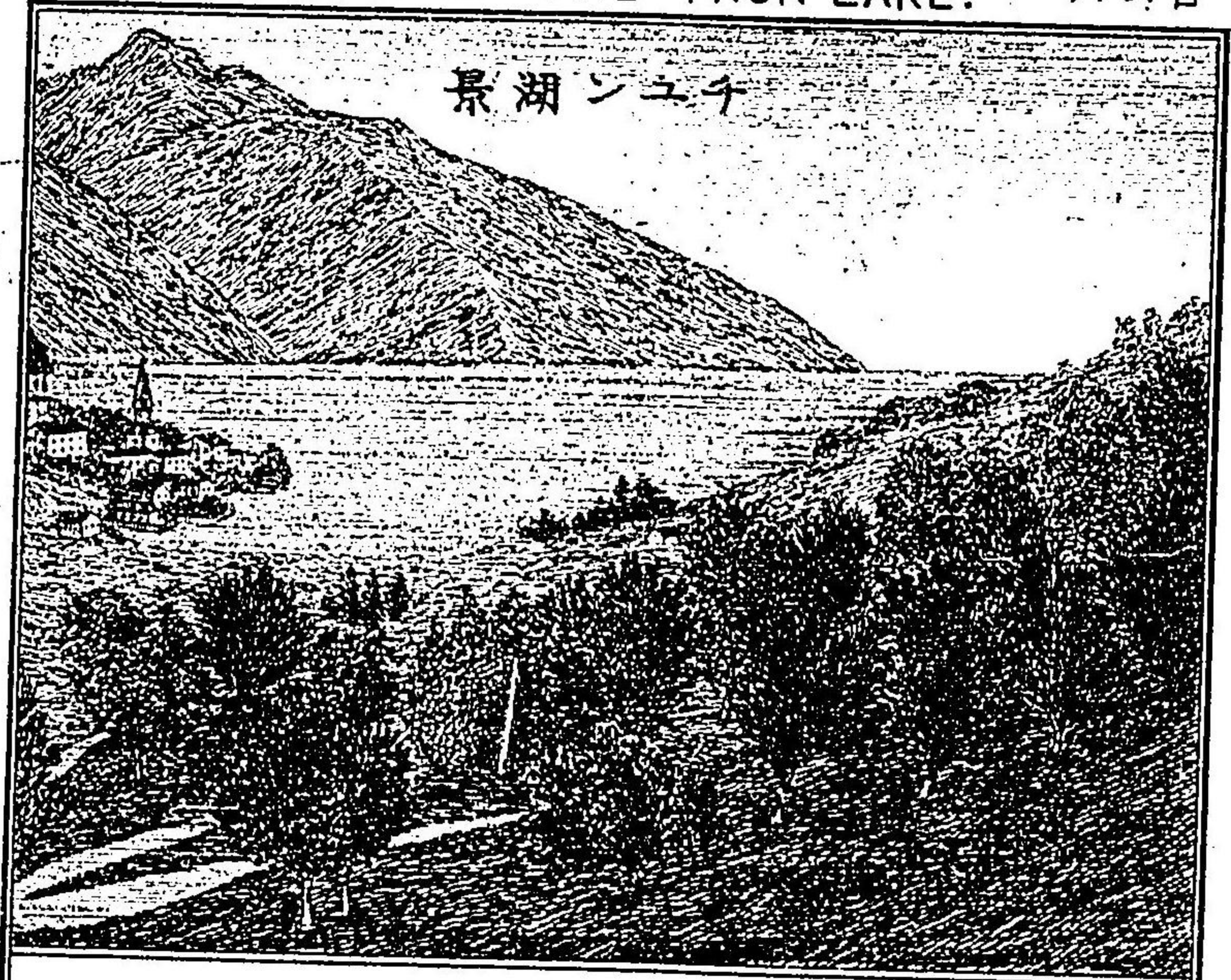
PATRIOTIC SOLDIER THREE MEN.



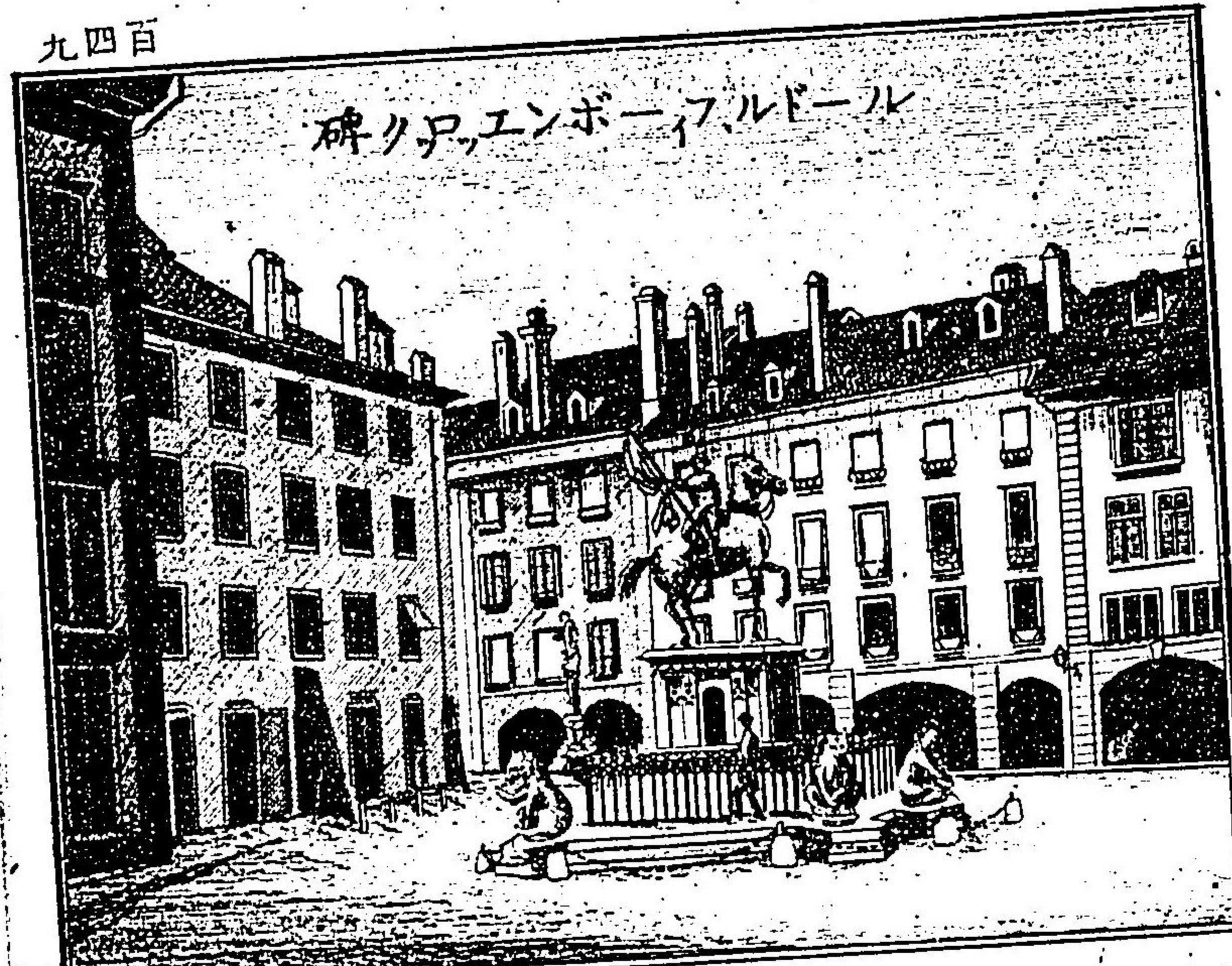
日耳曼國の屬地たり・全國帝はアルベルト
 第一世と謂へるあり・威權を以て此國の
 民を虐げ壓抑し・苛法重斂限りなく
 加之此國を・管轄せるの鎮臺は
 暴威を以て民を御し・官吏の拮克堪へ難し
 殊にジエスレルてふ官吏・己の帽を竿頭懸け
 民を命じて拜跪しむ・民皆怨恨を吞つても
 時機の到るを待居れり・時農民中の義士
 維廉テルと云へる人・虐吏の帽を拜跪せず
 ジエスレル・テルに命令し・其子の頭上を林擒をば
 置きて以て射せしめり・テルは其子に傷けず
 林擒を射たり其後義を唱へフシワイッ郡
 ユンテルワーデン及びテ・三郡を説き兵を擧げ



右岸はストツクホルン山、両山對して奇を競ふ此兩峯の間には湖水濤々波紋あり三面山嶺群をふし後ユリの高嶽は雪白尖を突出し傾きつ又歌てり雪峯最高なるものをシヨングヒルの嶽と云ふ高さ一万三千尺山頂一白なるものは太古以來の雪として融解するの遠かり故に雪降てふ名あり此邊湖景の鼻目たり船上光景眺めつ進航すせばチユン村の津頭より着すべしサルノン村より当所迄行程五十六英里蓋し此地はチユン湖のアル河とかり流き去る河口よりありて人口は四千五百余人あり兵學校を設置して



精神を常に養成す瑞西蘭の強固なる原因なきは非ずし
 ○サルノン村を發車し西南方へ進走しブルニグの山路を経てトラチユ村より船を乗りプリンズル湖を打渡りウイテルセンの岸より着き是所より馬車に乗り移りインテルラケン村より着き再びチユン湖の船を乗り進んで行程百白峯翠嶺環拱す一鏡面を行を如し青空倒浸雲日と共に清く湖水面緑色をば鑑みる白峯青峯晶美あり湖山峰頂突兀と奇嶺を争ひ兀立す近々見ゆるは峻嶮と遠々眺むは嶺巉とり左に当るはネヒン山高さ七千二百尺あり



碑クア、エンボ、アルドール

人道全を覆ひとり、兩時の行歩は便利とす。製造品の産物は、スリッセルワテ、議せど、九樂番は二府に優るべし。

市内の中真府廳あり、構造甚だ美を盡す。書庫、博物館、兵學校、ルドルフ、ポンエ、ログ、碑、時計の塔、泉水等、當府中の美觀あり。

○府中各所の製造場、水力を據り、火力を代ふ。蓋し當國鐵石炭、産出無数あるに因る。唯急流の河多し、國人水力を利用して、機械を運轉するを以、水輪の製奇工あり。巨大の馬力を起さしむ、工省きて巧をみす。甚だ敏かり、上帝が利益を与ふる賜りあり。此恩恵を利用するは、各人々の腦あり。

景全府ンルマ

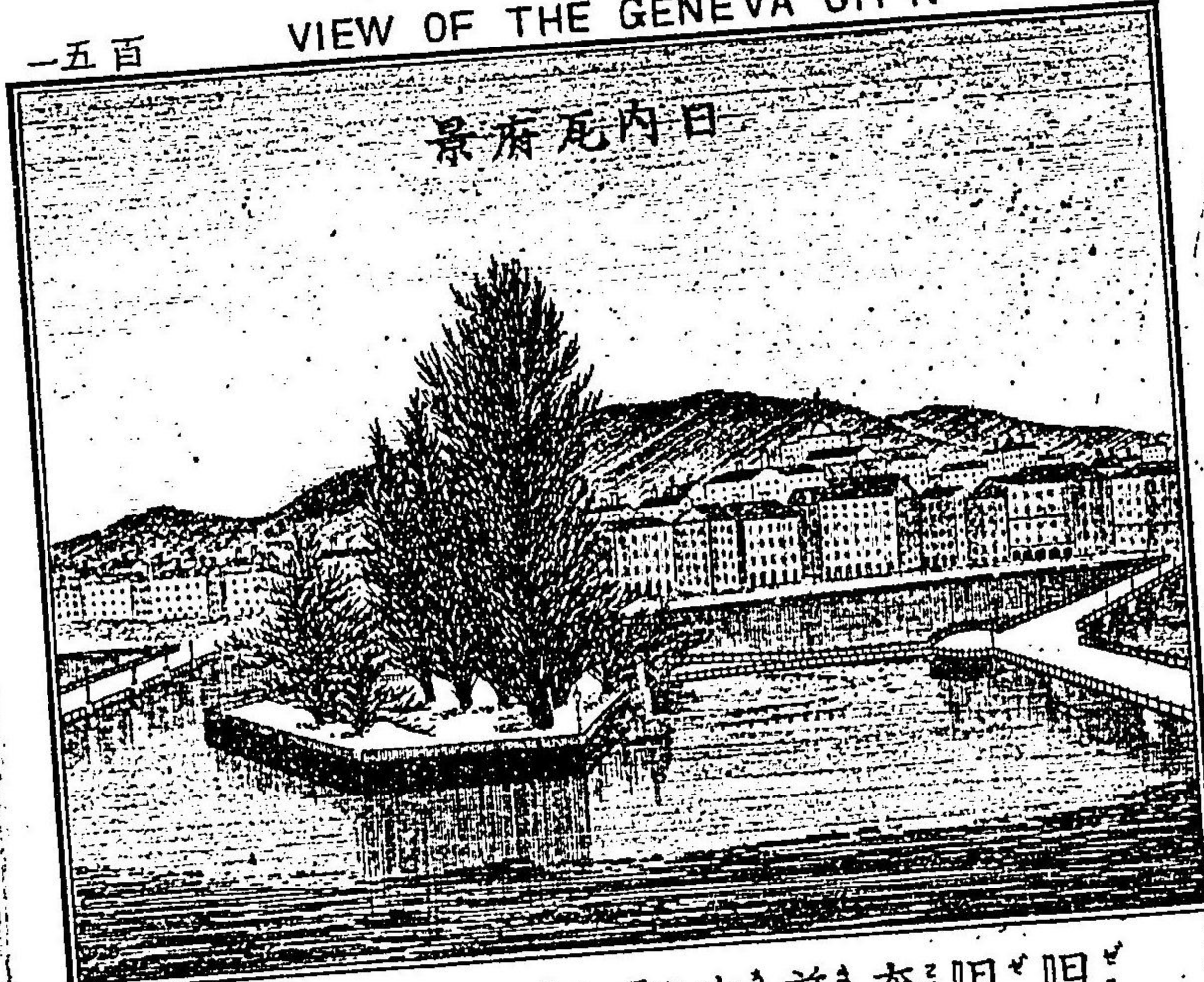


操練場の設けあり、年々歳々一回は郡民此處に集合し、必ず軍事を講究す。當村にて又瀧車を乗り、二十英里を疾走し、遂に當國首府ある。ベルンの府に着き得べし。

ベルン府之記

ベルンて、府はスリッセルの西南方に位して、鐵路八十七英里、大政府のある土地、人口三萬六千余アル、河の巴字となる。岡角上都會なり、市座楯比し二橋あり、向ふの岸に連接す。地勢は一の臺面の平坦あるが如く、よて岡坡を起昂し、流水は二百尺の下にあり、岨岸岨岸森攫す。街衢清潔、登石し、兩側市座に虚廊あり。

一五百 VIEW OF THE GENEVA CITY.



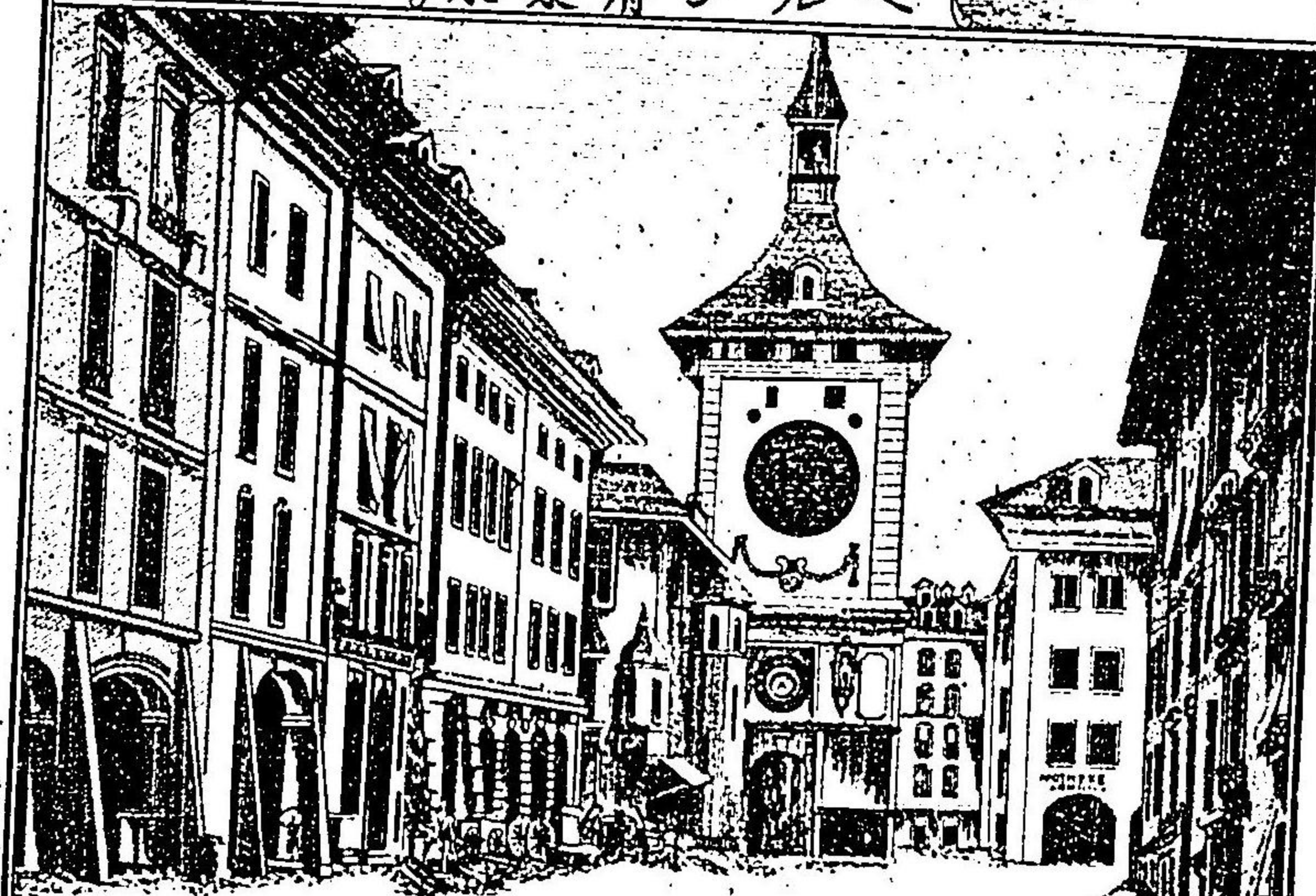
日内瓦府景

日内瓦府之記
 日内瓦はベルンの西南へ九十六英里余りあり
 日内瓦湖は濱臨しローン河の流出る口あり
 本國第壹の都會なり人口四万七千余
 前は湖水を扣へつゝ左右に峯巒層接し
 中央大河の流きありモンブランの大山は
 雪色皓々輝かし湖上立つ其風光
 畫をも易き事ならず市塵安麗清楚あり
 市民温和に勉勵す遠近杖を曳く者は
 故郷に歸るを忘るゝ
 当府は佛に隣接し旅人の往來絶間ふし
 故に風雅の旅館あり又遊苑の設けあり
 製造場は時辰儀や金銀飾具樂器等

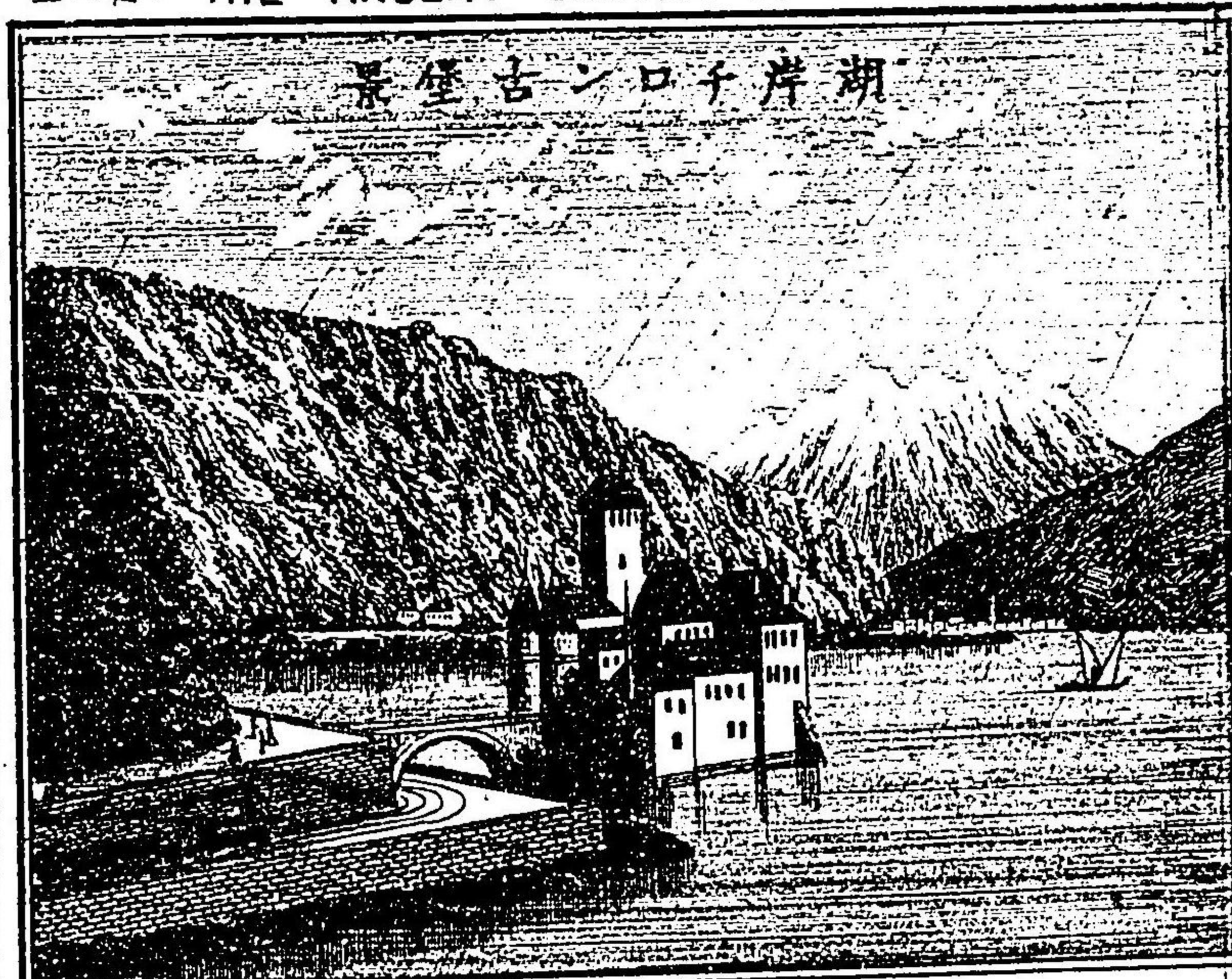
THE FOUNTAIN, BERN.
 THE TOWER OF CLOCK, BERN.



水泉府ンルベ



塔ノ計時全

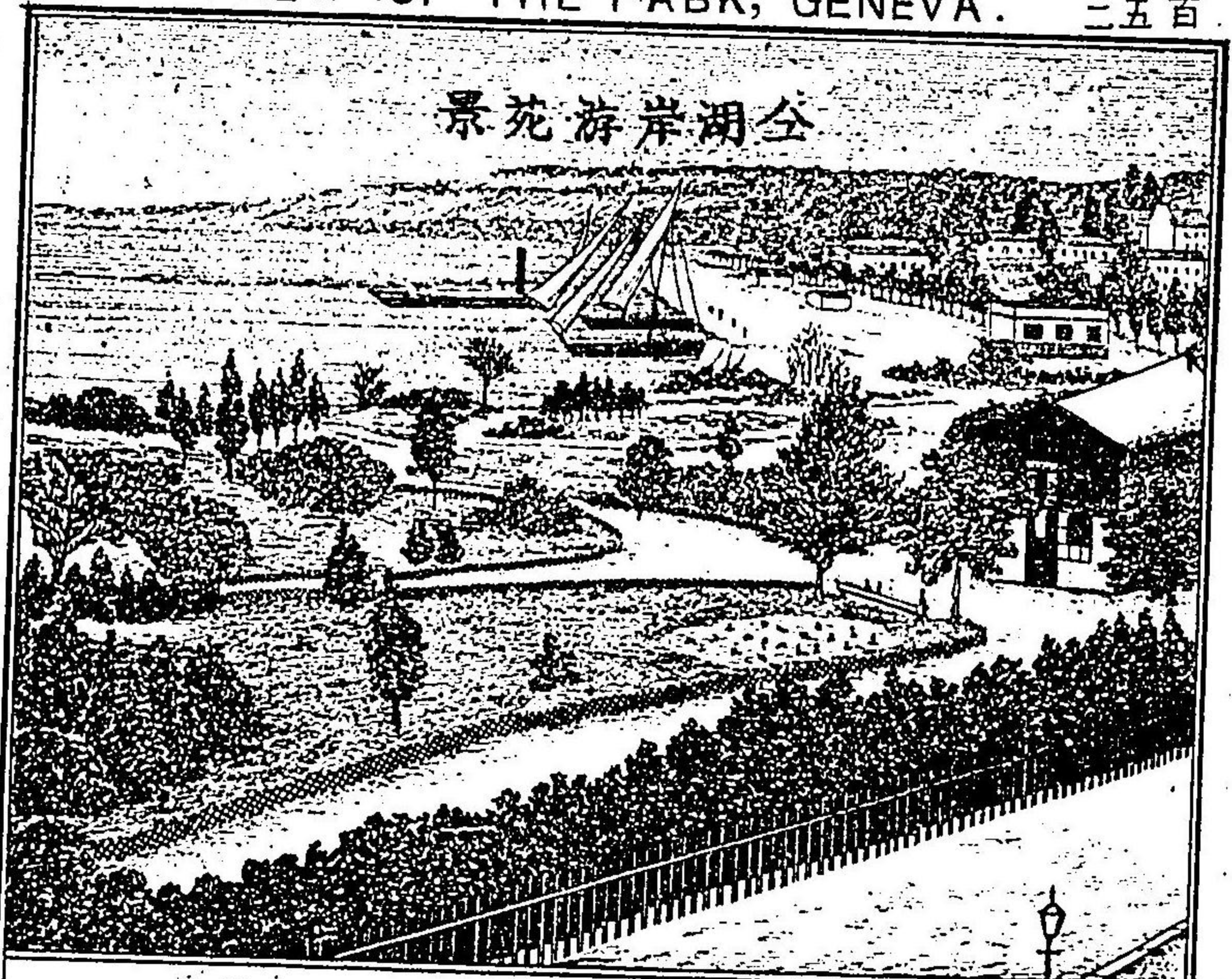


湖岸ロシ古堡景

其方法は、秋時計をば、水中に置く二十四時
再び之を寒暖計百二十度の温箱に
蓄ふる事又二十四時、其微差をも生ぜぬを
真に成就せしと為す。

此府の湖岸の景色も甚だ美し、して名勝や
旧跡も又多けきと、逐一記載せず。

○当府の瀛車は、打乘りて、ロオン河に沿ひて走る事
九十八英里、隧道あり、三ヶ所を潜り、抜り
尚し進めば、佛蘭西の里昂府に着すべし。
又し、發車し、飛行する、二百英里、馬耳塞府
以上の二府は、第二巻に詳し。是は、着車し、瀬船を待ち
亞非利加洲の埃及のアレキサンドリア港に着く
是を以て、四巻は終りなり、五巻の大略左の如し。



全湖岸游苑景

吐月館

輸出品も名高し。

○時計は、当國産品中、名譽高きものにして、
地球上無比なき、精緻の物を製造す。
製作機械の巧みなる感ぜざるものあらぬし。
職工各自、雙眼、凸鏡を嵌め、工を爲す。
工成る時は、査驗あり、時候寒温變より、
輪、漲縮し、差を生ず、之を平均する爲め、
鐵と眞鍮合裝し、以て造せり、眞鍮は、
冷氣之爲め、漲し、かつ、暖氣の爲め、縮むなり。
鐵は、之より反す故、鐵輪を削り、其中に、
眞鍮を嵌め、輪となす。如斯に注意す、
廉價のものは、保証せず。大約二百回以上の
品に至れば、寒暑の變差を生ぜざる試験せり。

阿非利加洲は未開あり内状知る人鮮矣今日世界の人人が亞非利加内地の景状を見物せんと欲するは劇場の開幕俟つ如し然るは頃日子が友人談地へ行て實際の景状報じ來りたり一讀するに酋長が政治並に宗教や商業家政に至るまで有形無形一として珍奇あらざるものはなし熱帯地方多き故氣候甚異よして天然物も又異に廣漠無邊の沙漠あり近年西人のセツプス亞非利加洲と亞細亞洲の地續きありスエスをば人の力て掘割し東西洋の航路をば短縮したる美事奇談写真を掲げて詳述す彼の地球上に名も高きピラミッドは驚き登り四方を眺し記事もあり蒙昧野蠻黒奴が同胞兄弟賣買し貿易品の一となす都府の市場は行時は人の屍を堆積し是を料理し肉を賣り上流下流の人々が常食へり其由来を學問上より詳解す一夫多妻を娶るあり嫉妬娘を妻とあす其婚札や親と子の關係並に葬式の奇談等述洩す多く至大の禽獸草木や魚鳥等も至る迄写真を掲げて詳悉す亞非利加回覽終りおは次は渡航す大洋洲數百千の島廻り觀るべきものや又多し呂宋の日本街杯は知るや議らずや吾國人

総て五卷は文明の區域を脱して野蠻なる蒙昧社會の事柄を仔細に陳述し者おは前の卷とはこと變り野蠻の驚く事多し一二三四と諸ともは續閱せらるる事を請ふ
 世界萬國名所圖繪第四卷終
 旅行萬國名所圖繪

世界萬國名所圖繪 全六冊

- 一ノ卷 亞米利加洲の部 合衆國 英吉利 葡萄牙 西班牙
- 二ノ卷 歐羅巴洲の上 佛蘭西 比耳義 和蘭
- 三ノ卷 歐羅巴洲の中 佛蘭西 日耳曼 比耳義 馬 北洋
- 四ノ卷 歐羅巴洲の下 佛蘭西 日耳曼 比耳義 馬 北洋
- 五ノ卷 亞非利加洲阿西亞尼兩洲之部 近日出版
- 六ノ卷 亞細亞洲之部 近日出版

明治十七年十二月二日版權免許
明治十九年一月 刺成出版

定價金五十錢

編輯兼
出版人

大阪府平民

青木恒三郎

南區安堂寺橋通四丁目
六十一番地

製本發賣所

上田屋

青木嵩山堂

大阪心齋橋筋安堂寺町
南二八西側

發 行 行 肆

大阪心齋橋筋博勞町	中川勘助
大阪心齋橋南一丁目	松村九兵衛
大阪心齋橋南詰	東京屋
大阪心齋橋北詰	驥々堂
大阪心齋橋筋順慶町	うさぎ屋支店
大阪心齋橋筋順慶町	此村庄助
全 南久室寺町	前川善兵衛
全 北久太郎町	柳原喜兵衛
全 本 町	岡島真七
全 本 町	赤志忠七
全 安土町	北尾禹三郎
全 安土町	華井卯助
全 備後町	吉岡平助

發 行 書 肆

全 淡 路 町

大 阪 天 神 橋 南 詰

大 阪 京 町 堀 西 國 橋

西 京 寺 町 四 條 上 儿

西 京 四 條 小 橋

西 京 寺 町 三 條

西 京 寺 町

西 京 下 京 區 升 屋 町

西 京 下 京 區 第 五 組 中 の 町

東 京 々 橋 區 銀 座 四 丁 目

東 京 南 傳 馬 町 一 丁 目

東 京 南 鍋 町 一 丁 目

東 京 神 田 表 神 保 町

中 村 正 兵 衛

湯 川 孫 兵 衛

平 野 藤 七

田 中 治 兵 衛

澤 寅 吉

杉 本 甚 助

川 勝 德 治 郎

舟 橋 茂 七

辻 本 文 四 郎

博 聞 本 社

叢 書 閣

兔 屋 誠

中 西 屋 邦 太

大日本教育會館
函
架
號
五
五
冊

